

結果の概要

－ 主な用語 －

- 1 次 活 動 ……睡眠, 食事など生理的に必要な活動
- 2 次 活 動 ……仕事, 家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3 次 活 動 ……1次活動, 2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動
- 総 平 均 時 間 ……該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均
- 行動者平均時間 ……該当する種類の行動をした人のみについての平均

－ 利用上の注意 －

- ・ この結果の概要では, 特に断りのない限り, 総平均時間の数値を記載している。
- ・ 統計表中「－」は, 該当数字のない箇所である。

1 1日の生活時間の配分

(1) 概観

① 1次活動時間及び3次活動時間は増加、2次活動時間は減少

我が国に住んでいる10歳以上の人について、1日の生活時間（週全体平均。以下「週全体」という。）をみると、1次活動¹⁾時間が10時間40分、2次活動²⁾時間が6時間53分、3次活動³⁾時間が6時間27分となっている。

平成18年と比べると、1次活動時間は3分の増加、2次活動時間は7分の減少、3次活動時間は4分の増加となっている。（表1-1）

② 1次活動時間、2次活動時間及び3次活動時間の男女の差は拡大

生活時間を男女別にみると、男性は1次活動時間が10時間33分、2次活動時間が6時間49分、3次活動時間が6時間38分、女性は1次活動時間が10時間46分、2次活動時間が6時間57分、3次活動時間が6時間16分となっており、1次活動時間及び2次活動時間は女性が長く、3次活動時間は男性が長くなっている。

平成18年と比べると、男性は1次活動時間が2分の増加、2次活動時間が9分の減少、3次活動時間が7分の増加、女性は1次活動時間が4分の増加、2次活動時間が6分の減少、3次活動時間が1分の増加となっている。

生活時間の男女の差を平成18年と比べると、1次活動時間は11分差が13分差に、2次活動時間は5分差が8分差に、3次活動時間は16分差が22分差になっており、全ての活動時間で差が拡大している。（表1-1）

③ 平日及び土曜日で1次活動時間及び3次活動時間が増加、2次活動時間が減少

生活時間を曜日別にみると、平日は1次活動時間が10時間27分、2次活動時間が7時間45分、3次活動時間が5時間48分、土曜日は1次活動時間が11時間2分、2次活動時間が5時間13分、3次活動時間が7時間45分、日曜日は1次活動時間が11時間22分、2次活動時間が4時間13分、3次活動時間が8時間25分となっており、1次活動時間及び3次活動時間は日曜日が最も長く、2次活動時間は平日が最も長くなっている。

平成18年と比べると、平日及び土曜日は1次及び3次活動時間が増加、2次活動時間が減少となっている。日曜日は2次活動時間が増加、1次活動時間が減少となっている。（表1-2）

④ 1次活動時間及び3次活動時間は増加傾向、2次活動時間は減少傾向

比較可能な年齢区分である15歳以上の人について、過去25年間の生活時間の推移をみると、1次活動時間は増加傾向、2次活動時間は平成18年で増加となっているが減少傾向、3次活動時間は平成18年で減少となっているが増加傾向となっている。（図1-1、表1-3）

1) 睡眠、食事など生理的に必要な活動

2) 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3) 1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

表1-1 男女、行動の種類別生活時間（平成18年、23年）一週全体

	総数			男			女		
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減
1次活動	10.37	10.40	0.03	10.31	10.33	0.02	10.42	10.46	0.04
睡眠	7.42	7.42	0.00	7.49	7.49	0.00	7.35	7.36	0.01
身の回りの用事	1.15	1.19	0.04	1.06	1.09	0.03	1.25	1.29	0.04
食事	1.39	1.39	0.00	1.36	1.36	0.00	1.42	1.42	0.00
2次活動	7.00	6.53	-0.07	6.58	6.49	-0.09	7.03	6.57	-0.06
通勤・通学	0.31	0.31	0.00	0.41	0.40	-0.01	0.22	0.23	0.01
仕事	3.44	3.33	-0.11	4.59	4.46	-0.13	2.32	2.23	-0.09
学業	0.37	0.39	0.02	0.40	0.42	0.02	0.35	0.37	0.02
家事	1.27	1.27	0.00	0.17	0.18	0.01	2.34	2.32	-0.02
介護・看護	0.03	0.03	0.00	0.02	0.02	0.00	0.05	0.05	0.00
育児	0.14	0.14	0.00	0.04	0.05	0.01	0.22	0.23	0.01
買い物	0.24	0.26	0.02	0.15	0.17	0.02	0.34	0.35	0.01
3次活動	6.23	6.27	0.04	6.31	6.38	0.07	6.15	6.16	0.01
移動（通勤・通学を除く）	0.30	0.30	0.00	0.29	0.29	0.00	0.32	0.30	-0.02
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.24	2.27	0.03	2.28	2.31	0.03	2.21	2.24	0.03
休養・くつろぎ	1.25	1.31	0.06	1.23	1.31	0.08	1.26	1.31	0.05
学習・自己啓発・訓練（学業以外）1)	0.12	0.12	0.00	0.13	0.13	0.00	0.12	0.12	0.00
趣味・娯楽	0.45	0.44	-0.01	0.51	0.53	0.02	0.38	0.37	-0.01
スポーツ	0.15	0.14	-0.01	0.19	0.18	-0.01	0.11	0.11	0.00
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.04	-0.01	0.05	0.04	-0.01	0.05	0.04	-0.01
交際・付き合い	0.22	0.19	-0.03	0.20	0.18	-0.02	0.24	0.20	-0.04
受診・療養	0.09	0.08	-0.01	0.07	0.07	0.00	0.10	0.10	0.00
その他	0.16	0.17	0.01	0.14	0.15	0.01	0.17	0.18	0.01
(再掲)									
家事関連 2)	2.08	2.10	0.02	0.38	0.42	0.04	3.35	3.35	0.00
休養等自由時間活動 3)	3.49	3.58	0.09	3.51	4.02	0.11	3.47	3.55	0.08
積極的自由時間活動 4)	1.17	1.14	-0.03	1.28	1.28	0.00	1.06	1.04	-0.02

表1-2 男女、行動の種類、曜日別生活時間（平成18年、23年）

		平成18年			平成23年		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	1次活動	10.24	10.55	11.25	10.27	11.02	11.22
	2次活動	7.53	5.25	4.10	7.45	5.13	4.13
	3次活動	5.43	7.40	8.25	5.48	7.45	8.25
男	1次活動	10.17	10.50	11.24	10.19	10.57	11.20
	2次活動	8.06	4.58	3.15	7.56	4.43	3.19
	3次活動	5.36	8.12	9.21	5.45	8.20	9.21
女	1次活動	10.30	11.01	11.26	10.35	11.07	11.24
	2次活動	7.41	5.50	5.02	7.36	5.41	5.04
	3次活動	5.49	7.10	7.32	5.50	7.12	7.33

図1-1 行動の種類別生活時間の推移（昭和61年～平成23年）一週全体、15歳以上

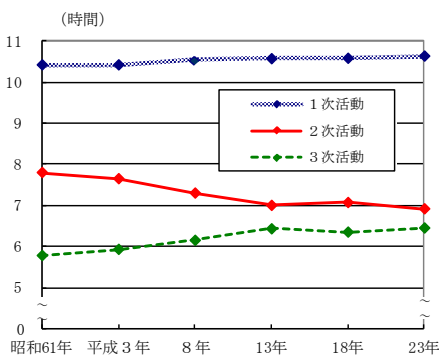


表1-3 行動の種類別生活時間の推移（昭和61年～平成23年）一週全体、15歳以上

	1次活動	2次活動	3次活動
昭和61年	10.25	7.48	5.47
平成3年	10.25	7.39	5.56
平成8年	10.32	7.18	6.09
平成13年	10.34	7.00	6.26
平成18年	10.35	7.04	6.21
平成23年	10.38	6.55	6.27

- 1) 平成18年の調査項目名は「学習・研究（学業以外）」
- 2) 家事、介護・看護、育児及び買い物
- 3) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ
- 4) 学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

(2) 年齢階級別にみる生活時間

① 2次活動時間は、男性は35～39歳、女性は40～44歳が最も長い

生活時間を年齢階級別にみると、1次活動時間は、男性は35～39歳（9時間54分）、女性は45～49歳（9時間51分）が最も短く、男性は10～14歳及び65歳以上で、女性は10～14歳、20～24歳及び65歳以上で長くなっている。

2次活動時間は、男性は35～39歳（8時間55分）、女性は40～44歳（8時間40分）が最も長く、これより年齢階級が低くなるほど及び高くなるほど短くなる傾向となっている。

3次活動時間は、男性は35～39歳及び40～44歳（5時間11分）、女性は30～34歳（4時間56分）が最も短く、これより年齢階級が低くなるほど及び高くなるほど長くなる傾向となっている。（図1-3）

② 男女共に10～19歳で2次活動時間は増加、3次活動時間は減少

生活時間を平成18年と比べると、1次活動時間は、男性は2分の増加、女性は4分の増加となっている。

年齢階級別にみると、男性は10～34歳及び40～49歳で増加、それ以外では減少となっている。女性は、15～49歳で増加、それ以外では減少又は横ばいとなっている。

2次活動時間は、男性は9分、女性は6分減少となっている。

年齢階級別にみると、男性は10～19歳及び60～64歳で大幅に増加し、20～29歳で大幅に減少となっている。女性は10～19歳、60～64歳及び80歳以上で大幅に増加し、20～24歳、40～44歳及び65～69歳で大幅に減少となっている。

3次活動時間は、男性は7分、女性は1分増加となっている。

年齢階級別にみると、男性は20～29歳及び75～79歳で大幅に増加し、10～19歳及び60～64歳で大幅な減少となっている。女性は20～24歳及び65～69歳で大幅に増加し、10～19歳、30～34歳及び85歳以上で大幅な減少となっている。（図1-2、表1-1）

図1-2 男女、年齢階級、行動の種類別生活時間の増減（平成18年～23年）一週全体

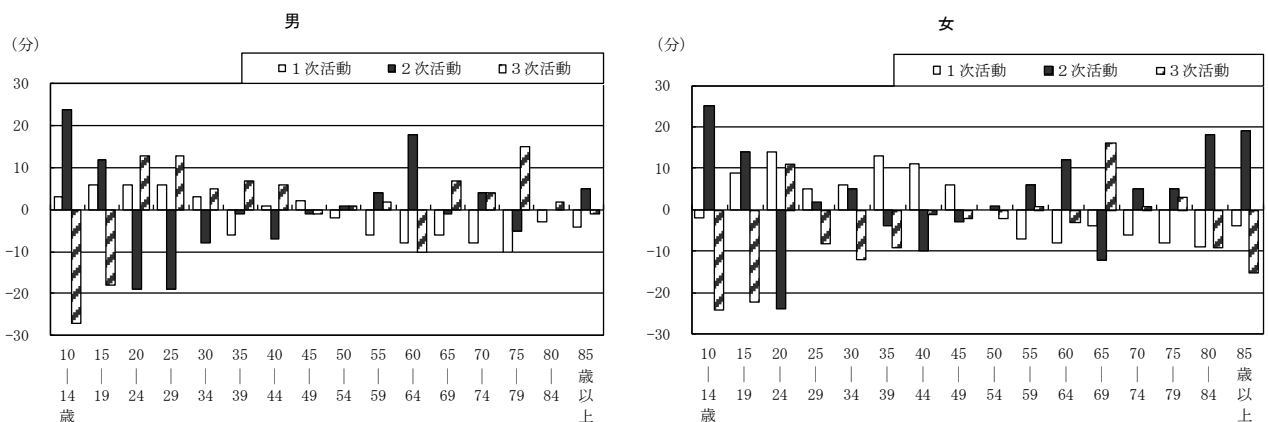
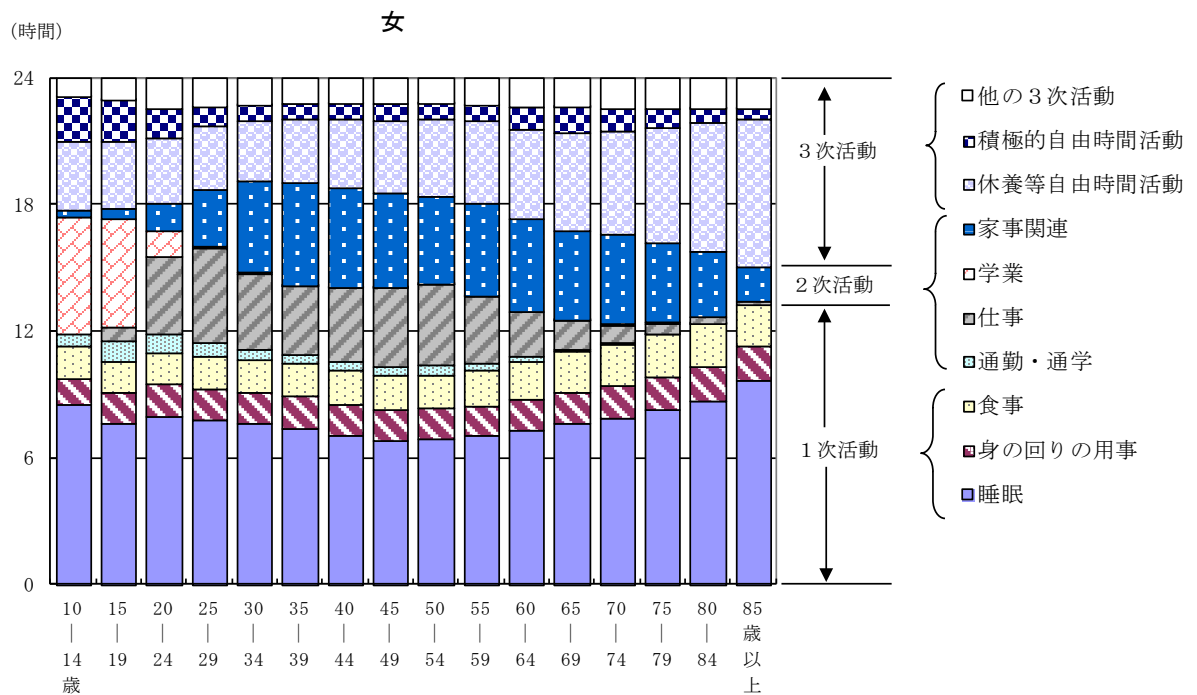
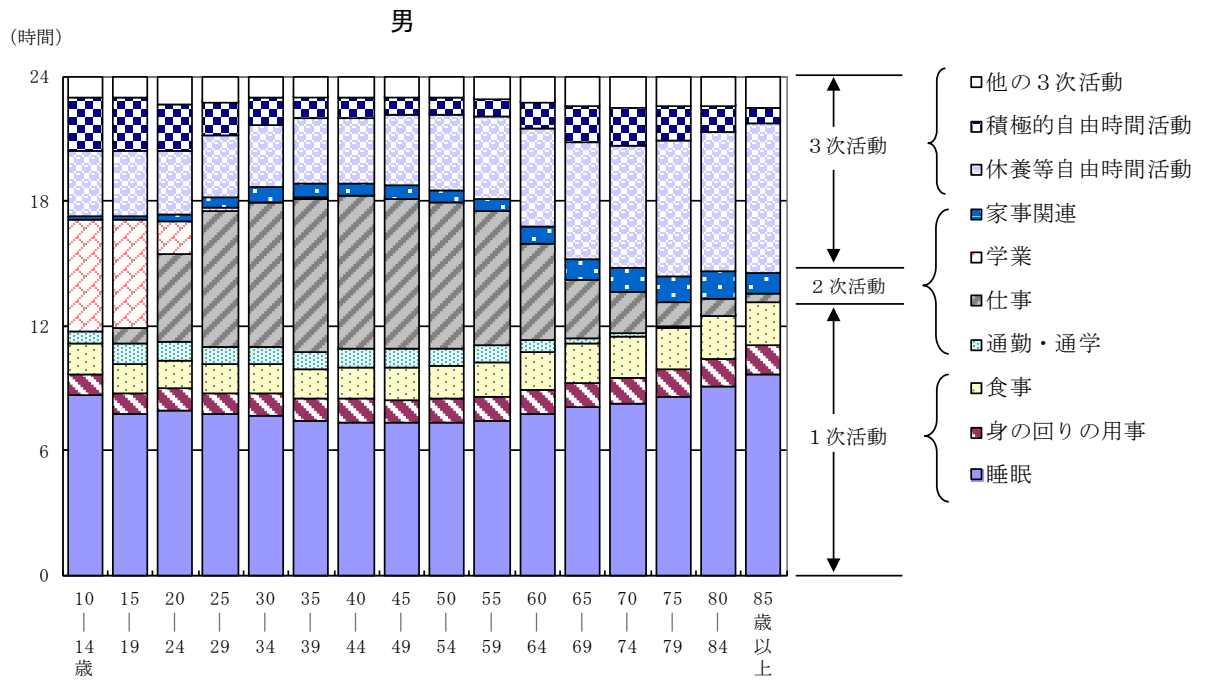


図1-3 男女、年齢階級、行動の種類別生活時間一週全体

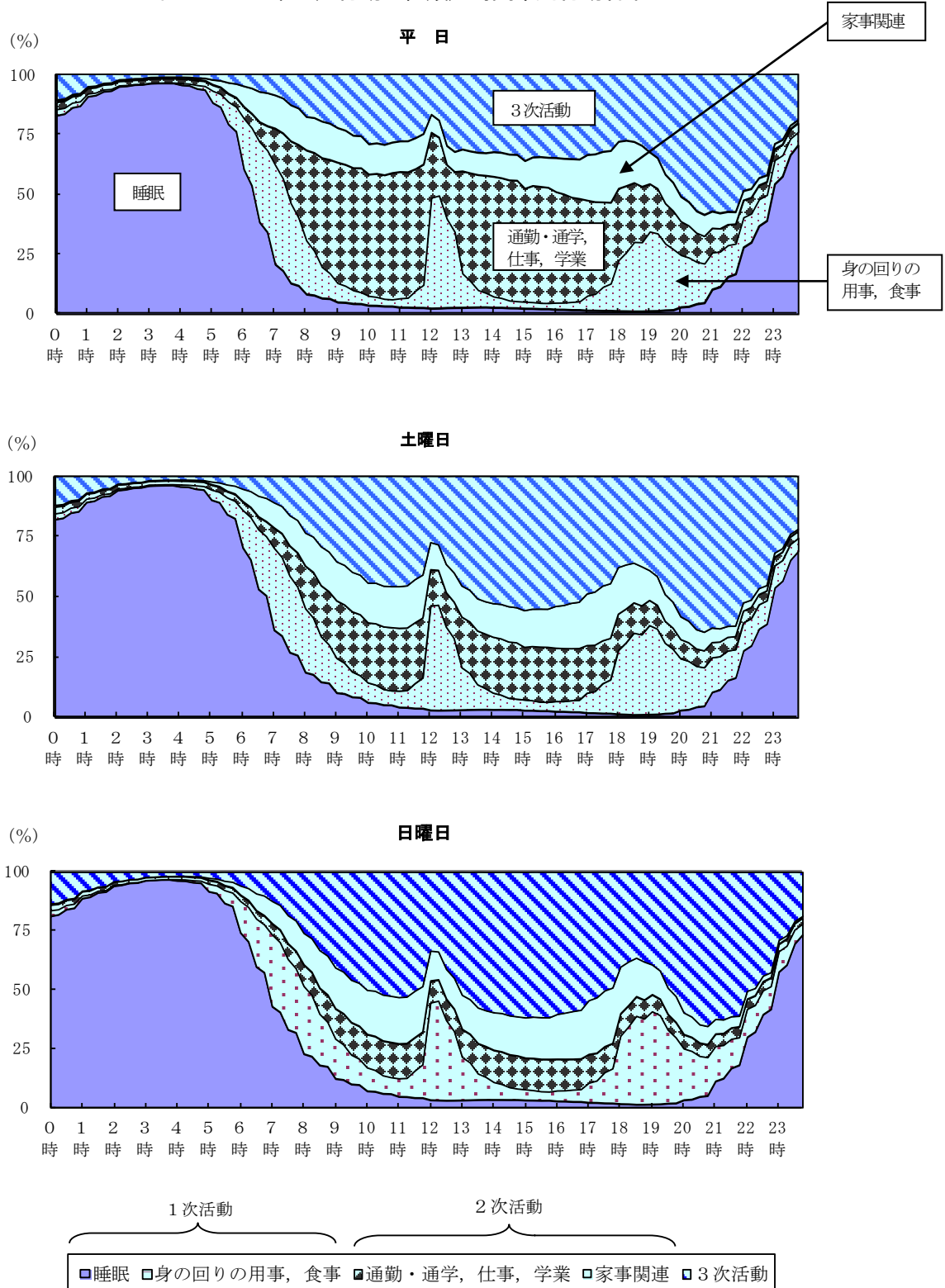


(3) 時間帯別にみる行動者率

平日に3次活動の行動者率が5割を超えるのは20時から22時までの間

行動者率（人口に占める行動者数の割合）を曜日、時間帯別にみると、3次活動の行動者率が5割を超えるのは、平日は20時から22時までの間、土曜日は13時30分から17時までの間及び19時45分から22時30分までの間、日曜日は10時から11時45分までの間、13時から17時45分までの間及び19時45分から22時15分までの間となっている。（図1-4）

図1-4 曜日、行動の種類、時間帯別行動者率



2 1次活動

(1) 睡眠

①睡眠時間は45～54歳で短い

睡眠時間は7時間42分で、男性は7時間49分、女性は7時間36分と男性が13分長くなっている。

年齢階級別にみると、45～49歳が7時間3分と最も短く、次いで50～54歳が7時間6分などとなっており、85歳以上が9時間40分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、25～29歳を除く全ての年齢階級で男性が長く、特に45～84歳で女性より20分以上長くなっている。(図2-1、表2-1)

②睡眠時間は15～44歳で増加、45歳以上で減少

睡眠時間を平成18年と比べると横ばいとなっているが、年齢階級別にみると、15～44歳で増加し、45歳以上で減少となっている。(図2-2、表2-1)

図2-1 男女、年齢階級別睡眠時間
一週全体

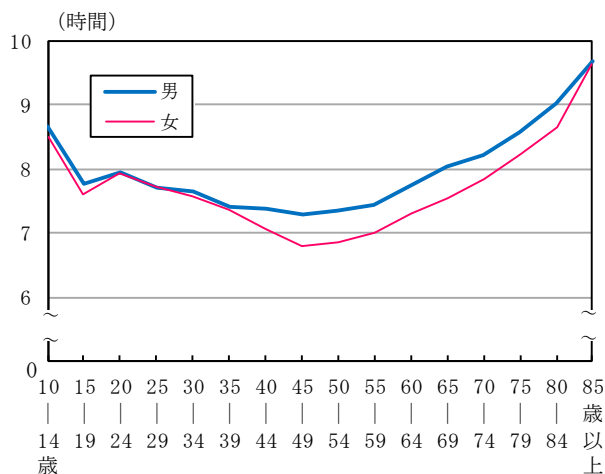


図2-2 年齢階級別睡眠時間(平成18年, 23年) 一週全体

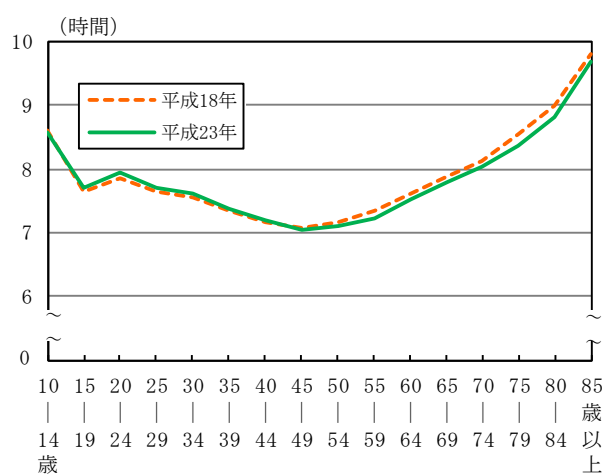


表2-1 男女、年齢階級別睡眠時間(平成18年, 23年) 一週全体

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	7.42	7.42	0.00	7.49	7.49	0.00	7.35	7.36	0.01	0.13
10～14歳	8.36	8.35	-0.01	8.38	8.40	0.02	8.33	8.30	-0.03	0.10
15～19歳	7.39	7.42	0.03	7.43	7.46	0.03	7.34	7.37	0.03	0.09
20～24歳	7.51	7.56	0.05	7.55	7.56	0.01	7.46	7.55	0.09	0.01
25～29歳	7.39	7.43	0.04	7.40	7.43	0.03	7.39	7.44	0.05	-0.01
30～34歳	7.33	7.37	0.04	7.37	7.39	0.02	7.28	7.34	0.06	0.05
35～39歳	7.21	7.23	0.02	7.28	7.24	-0.04	7.15	7.22	0.07	0.02
40～44歳	7.09	7.12	0.03	7.22	7.22	0.00	6.56	7.03	0.07	0.19
45～49歳	7.05	7.03	-0.02	7.19	7.18	-0.01	6.51	6.48	-0.03	0.30
50～54歳	7.09	7.06	-0.03	7.23	7.21	-0.02	6.55	6.51	-0.04	0.30
55～59歳	7.21	7.14	-0.07	7.35	7.27	-0.08	7.08	7.01	-0.07	0.26
60～64歳	7.37	7.31	-0.06	7.50	7.44	-0.06	7.25	7.18	-0.07	0.26
65～69歳	7.53	7.48	-0.05	8.06	8.03	-0.03	7.40	7.33	-0.07	0.30
70～74歳	8.08	8.01	-0.07	8.21	8.13	-0.08	7.57	7.50	-0.07	0.23
75～79歳	8.32	8.22	-0.10	8.46	8.35	-0.11	8.21	8.13	-0.08	0.22
80～84歳	8.59	8.48	-0.11	9.08	9.02	-0.06	8.53	8.39	-0.14	0.23
85歳以上	9.47	9.40	-0.07	9.51	9.40	-0.11	9.46	9.39	-0.07	0.01

③睡眠時間は男女共に土曜日が増加、日曜日が減少

睡眠時間を曜日別にみると、1日（午前0時から起算する24時間）のうち、平日が7時間31分、土曜日が8時間2分、日曜日が8時間16分となっており、平日に比べ日曜日は45分長くなっている。

これを男女別に平成18年と比べると、男女共に土曜日は増加し、日曜日は減少となっている。

(図2-3, 表2-2)

図2-3 男女、曜日別睡眠時間（平成18年, 23年）

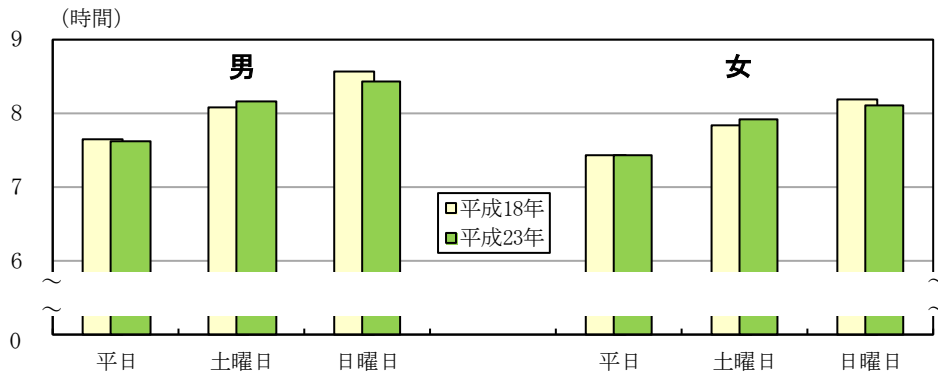


表2-2 男女、曜日別睡眠時間（平成18年, 23年）

	(時間.分)					
	総数		男		女	
	平成18年	平成23年	平成18年	平成23年	平成18年	平成23年
平日	7.31	7.31	7.38	7.37	7.25	7.26
土曜日	7.57	8.02	8.05	8.10	7.50	7.54
日曜日	8.21	8.16	8.33	8.26	8.11	8.06

④睡眠時間は過去25年間で男女共に減少傾向

比較可能な年齢区分である15歳以上の人について、過去25年間の睡眠時間の推移を男女別にみると、男女共に減少傾向となっており、昭和61年と比べると、男性は10分、女性は6分の減少となっている。

(図2-4, 表2-3)

図2-4 男女別睡眠時間の推移（昭和61年～平成23年）一週全体、15歳以上

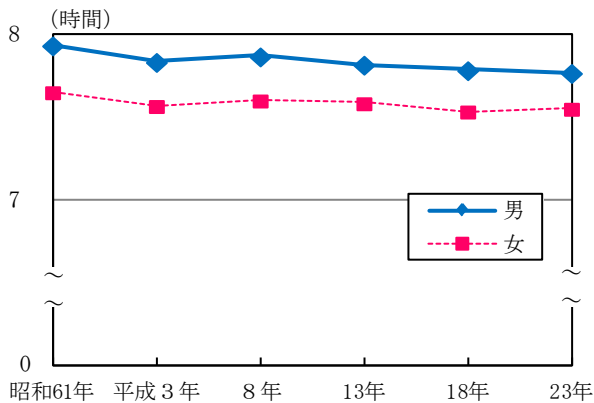


表2-3 男女別睡眠時間の推移（昭和61年～平成23年）一週全体、15歳以上

	(時間.分)	
	男	女
昭和61年	7.56	7.39
平成3年	7.50	7.34
平成8年	7.52	7.36
平成13年	7.49	7.35
平成18年	7.47	7.32
平成23年	7.46	7.33

(2) 身の回りの用事

①身の回りの用事の時間は全ての年齢階級で女性の方が長い

身の回りの用事の時間は1時間19分で、男性は1時間9分、女性は1時間29分と女性が20分長くなっている。

年齢階級別にみると、10～14歳が1時間6分と最も短く、80～84歳及び85歳以上が1時間32分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、全ての年齢階級で女性の方が長く、特に20～24歳では32分の差が見られる。(図2-5、表2-4)

②身の回りの用事の時間は全ての年齢階級で増加

身の回りの用事の時間を平成18年と比べると、4分の増加となっている。

年齢階級別にみると、全ての年齢階級で増加となっている。(図2-6、表2-4)

図2-5 男女、年齢階級別身の回りの用事の時間一週全体

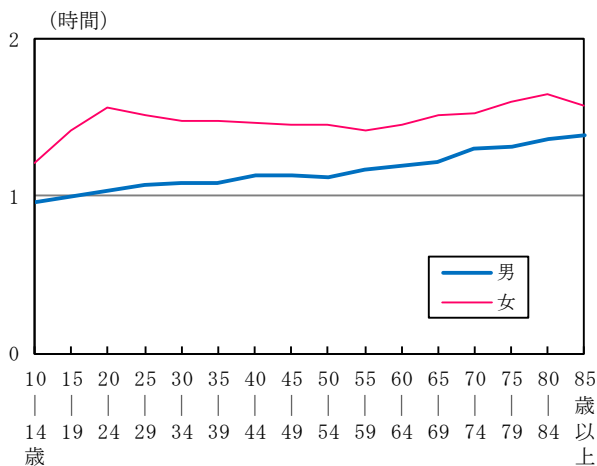


図2-6 年齢階級別身の回りの用事の時間(平成18年, 23年)一週全体

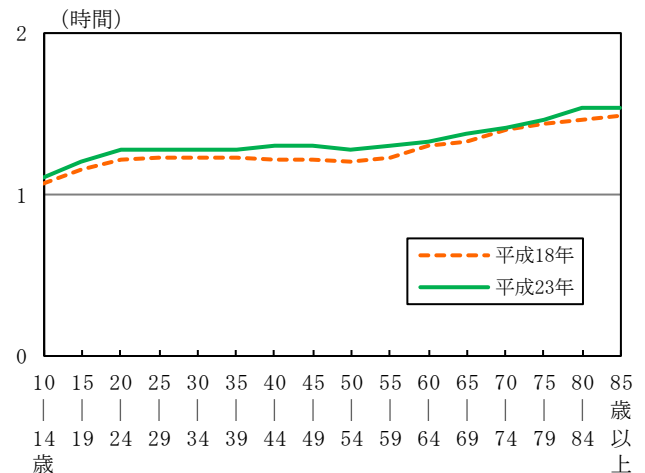


表2-4 男女、年齢階級別身の回りの用事の時間(平成18年, 23年)一週全体

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	1.15	1.19	0.04	1.06	1.09	0.03	1.25	1.29	0.04	-0.20
10～14歳	1.04	1.06	0.02	0.58	0.58	0.00	1.11	1.13	0.02	-0.15
15～19歳	1.09	1.12	0.03	0.58	1.00	0.02	1.21	1.25	0.04	-0.25
20～24歳	1.13	1.17	0.04	0.57	1.02	0.05	1.29	1.34	0.05	-0.32
25～29歳	1.14	1.17	0.03	1.00	1.04	0.04	1.29	1.31	0.02	-0.27
30～34歳	1.14	1.17	0.03	1.02	1.05	0.03	1.26	1.29	0.03	-0.24
35～39歳	1.14	1.17	0.03	1.04	1.05	0.01	1.24	1.29	0.05	-0.24
40～44歳	1.13	1.18	0.05	1.04	1.08	0.04	1.22	1.28	0.06	-0.20
45～49歳	1.13	1.18	0.05	1.06	1.08	0.02	1.19	1.27	0.08	-0.19
50～54歳	1.12	1.17	0.05	1.04	1.07	0.03	1.20	1.27	0.07	-0.20
55～59歳	1.14	1.18	0.04	1.06	1.10	0.04	1.22	1.25	0.03	-0.15
60～64歳	1.18	1.20	0.02	1.11	1.12	0.01	1.25	1.27	0.02	-0.15
65～69歳	1.20	1.23	0.03	1.13	1.13	0.00	1.27	1.31	0.04	-0.18
70～74歳	1.24	1.25	0.01	1.17	1.18	0.01	1.31	1.32	0.01	-0.14
75～79歳	1.26	1.28	0.02	1.17	1.19	0.02	1.33	1.36	0.03	-0.17
80～84歳	1.28	1.32	0.04	1.18	1.22	0.04	1.34	1.39	0.05	-0.17
85歳以上	1.29	1.32	0.03	1.19	1.23	0.04	1.33	1.35	0.02	-0.12

③身の回りの用事の時間は過去 25 年間で男性は 18 分、女性は 20 分増加

比較可能な年齢区分である 15 歳以上の人について、過去 25 年間の身の回りの用事の時間の推移を男女別にみると、男女共に増加しており、昭和 61 年と比べると、男性は 18 分、女性は 20 分の増加となっている。(図 2-7、表 2-5)

図 2-7 男女別身の回りの用事の時間の推移 (昭和 61 年～平成 23 年)
一週全体、15 歳以上

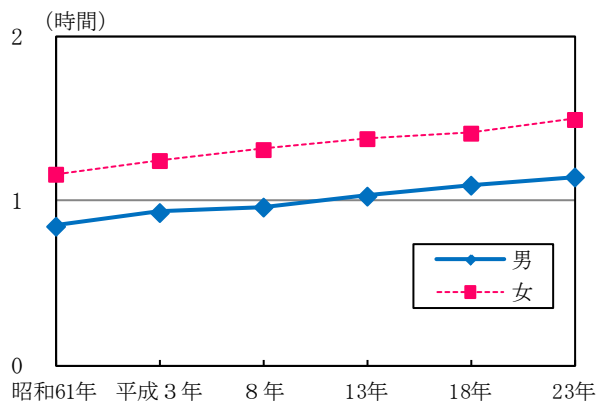


表 2-5 男女別身の回りの用事の時間の推移 (昭和 61 年～平成 23 年)
一週全体、15 歳以上

	(時間.分)	
	男	女
昭和61年	0.51	1.10
平成3年	0.56	1.15
平成8年	0.58	1.19
平成13年	1.02	1.23
平成18年	1.06	1.25
平成23年	1.09	1.30

(3) 食事

①食事時間は高齢層で長い

食事時間は1時間39分で、男性は1時間36分、女性は1時間42分と女性が6分長くなっている。

年齢階級別にみると、20～24歳が1時間24分と最も短く、80～84歳が2時間1分と最も長くなっており、20歳以上は年齢階級が高くなるほど長くなる傾向となっている。

これを男女別にみると、15～74歳で女性が長く、特に35～39歳で男性より11分長くなっている。一方、75歳以上では、男性の方が長くなっている。(表2-6)

②食事時間は25～79歳でおおむね減少

食事時間を平成18年と比べると横ばいとなっているが、年齢階級別にみると、25～79歳でおおむね減少となっている。(表2-6)

表2-6 男女、年齢階級別食事時間(平成18年、23年)一週全体

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	1.39	1.39	0.00	1.36	1.36	0.00	1.42	1.42	0.00	-0.06
10～14歳	1.32	1.32	0.00	1.31	1.32	0.01	1.33	1.32	-0.01	0.00
15～19歳	1.24	1.25	0.01	1.22	1.23	0.01	1.26	1.27	0.01	-0.04
20～24歳	1.24	1.24	0.00	1.19	1.20	0.01	1.28	1.28	0.00	-0.08
25～29歳	1.28	1.27	-0.01	1.23	1.22	-0.01	1.33	1.32	-0.01	-0.10
30～34歳	1.31	1.29	-0.02	1.26	1.24	-0.02	1.36	1.33	-0.03	-0.09
35～39歳	1.32	1.30	-0.02	1.28	1.25	-0.03	1.36	1.36	0.00	-0.11
40～44歳	1.34	1.31	-0.03	1.30	1.27	-0.03	1.37	1.35	-0.02	-0.08
45～49歳	1.34	1.34	0.00	1.32	1.33	0.01	1.35	1.35	0.00	-0.02
50～54歳	1.37	1.35	-0.02	1.36	1.34	-0.02	1.38	1.36	-0.02	-0.02
55～59歳	1.42	1.40	-0.02	1.41	1.39	-0.02	1.43	1.40	-0.03	-0.01
60～64歳	1.50	1.46	-0.04	1.49	1.46	-0.03	1.52	1.47	-0.05	-0.01
65～69歳	1.55	1.52	-0.03	1.54	1.51	-0.03	1.55	1.54	-0.01	-0.03
70～74歳	1.58	1.57	-0.01	1.57	1.55	-0.02	1.59	1.59	0.00	-0.04
75～79歳	2.02	2.00	-0.02	2.01	2.01	0.00	2.03	1.59	-0.04	0.02
80～84歳	2.01	2.01	0.00	2.03	2.03	0.00	2.00	2.01	0.01	0.02
85歳以上	1.59	2.00	0.01	2.01	2.04	0.03	1.58	1.59	0.01	0.05

③食事時間は過去25年間で男女共におおむね横ばい

比較可能な年齢区分である15歳以上の人について、過去25年間の食事時間の推移を男女別にみると、男女共に数分の増減はあるが、おおむね横ばいとなっている。(図2-8、表2-7)

図2-8 男女別食事時間の推移(昭和61年～平成23年)一週全体、15歳以上

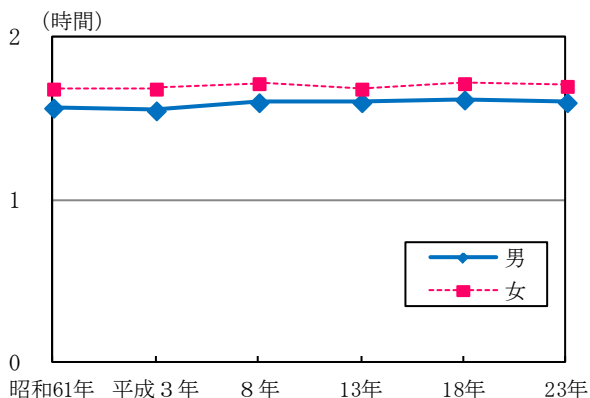


表2-7 男女別食事時間の推移(昭和61年～平成23年)一週全体、15歳以上

	(時間.分)	
	男	女
昭和61年	1.34	1.41
平成3年	1.33	1.41
平成8年	1.36	1.43
平成13年	1.36	1.41
平成18年	1.37	1.43
平成23年	1.36	1.42

3 2次活動

(1) 仕事

①仕事時間は男性は40～44歳、女性は25～29歳で最も長い

有業者（15歳以上、以下同じ。）は6666万4千人（有業率（15歳以上人口に占める有業者の割合）61.7%）で、男性は3797万5千人（同72.6%）、女性は2868万8千人（同51.6%）となっている。（表3-1）

有業者の仕事時間は6時間2分で、男性は6時間56分、女性は4時間50分となっている。

男女、年齢階級別にみると、男性は40～44歳が7時間49分と最も長く、女性は25～29歳が5時間46分と最も長くなっている。（図3-1、表3-2）

②仕事時間は男女共に15～24歳で大幅に減少

有業者について仕事時間を平成18年と比べると、7分の減少となっており、男性は4分、女性は10分の減少となっている。

男女、年齢階級別にみると、男女共に15～24歳で20分以上の減少となっている。（図3-1、表3-2）

表3-1 男女別有業者数及び有業率
(平成18年、23年)

		平成18年	平成23年	増減
有業者数 (千人)	総数	68176	66664	-1512
	男	39191	37975	-1216
	女	28984	28688	-296
有業率 (%, 増減は ポイント)	総数	63.5	61.7	-1.8
	男	75.3	72.6	-2.7
	女	52.4	51.6	-0.9

注) 有業率は、ふだんの就業状態不詳を除き算出。

図3-1 男女、年齢階級別仕事時間（平成18年、23年）一週全体、有業者

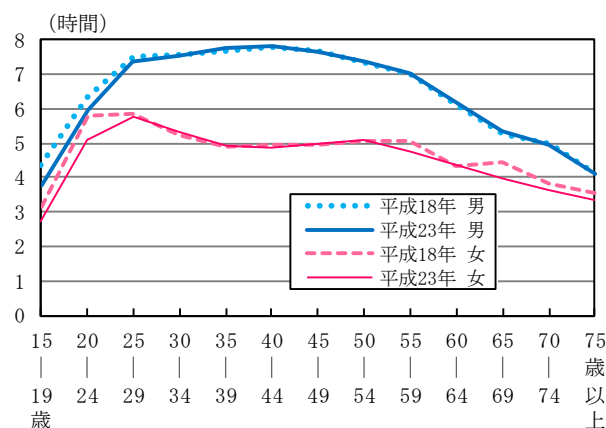


表3-2 男女、年齢階級別仕事時間（平成18年、23年）一週全体、有業者

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	6.09	6.02	-0.07	7.00	6.56	-0.04	5.00	4.50	-0.10	2.06
15～19歳	3.44	3.11	-0.33	4.23	3.45	-0.38	3.09	2.44	-0.25	1.01
20～24歳	6.04	5.32	-0.32	6.18	5.57	-0.21	5.49	5.06	-0.43	0.51
25～29歳	6.46	6.38	-0.08	7.29	7.22	-0.07	5.51	5.46	-0.05	1.36
30～34歳	6.38	6.37	-0.01	7.33	7.33	0.00	5.13	5.19	0.06	2.14
35～39歳	6.34	6.36	0.02	7.42	7.44	0.02	4.54	4.55	0.01	2.49
40～44歳	6.33	6.33	0.00	7.47	7.49	0.02	4.56	4.52	-0.04	2.57
45～49歳	6.30	6.27	-0.03	7.41	7.38	-0.03	4.58	4.57	-0.01	2.41
50～54歳	6.21	6.21	0.00	7.21	7.22	0.01	5.03	5.05	0.02	2.17
55～59歳	6.12	6.03	-0.09	7.00	7.01	0.01	5.04	4.45	-0.19	2.16
60～64歳	5.23	5.27	0.04	6.06	6.12	0.06	4.19	4.20	0.01	1.52
65～69歳	4.56	4.46	-0.10	5.17	5.20	0.03	4.25	3.58	-0.27	1.22
70～74歳	4.29	4.25	-0.04	4.58	4.56	-0.02	3.48	3.39	-0.09	1.17
75歳以上	3.53	3.49	-0.04	4.08	4.07	-0.01	3.33	3.21	-0.12	0.46

③仕事時間は全ての曜日で減少

有業者の仕事時間を曜日別にみると、平日は7時間9分、土曜日は4時間1分、日曜日は2時間24分となっている。

平成18年と比べると、全ての曜日で減少となっている。

有業者について仕事の行動者率を曜日別に平成18年と比べると、平日は1.4ポイント、土曜日は3.3ポイント、日曜日は0.7ポイント低下となっている。(表3-3)

表3-3 曜日別仕事時間及び仕事の行動者率(平成18年, 23年) - 有業者

	時間(時間.分)		行動者率(%)	
	平成18年	平成23年	平成18年	平成23年
平日	7.16	7.09	86.5	85.1
土曜日	4.15	4.01	55.7	52.4
日曜日	2.25	2.24	34.0	33.3

④仕事時間は男女共に平成18年で増加したが、23年で再び減少

有業者について、過去25年間の仕事時間の推移を男女別にみると、男女共に平成13年まで減少が続き、18年は増加に転じたが、23年は再び減少となっている。(図3-2, 表3-4)

図3-2 男女別仕事時間の推移(昭和61年~平成23年) - 週全体, 有業者

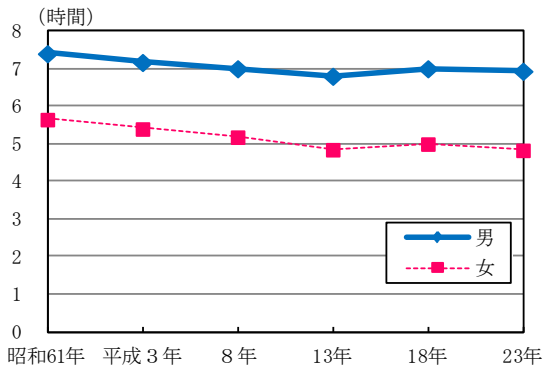


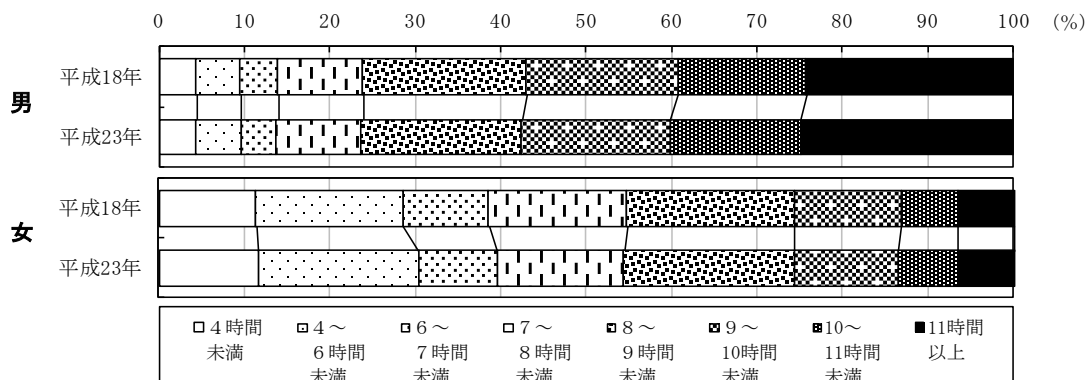
表3-4 男女別仕事時間の推移(昭和61年~平成23年) - 週全体, 有業者

	(時間.分)		
	総数	男	女
昭和61年	6.41	7.24	5.39
平成3年	6.26	7.10	5.24
平成8年	6.15	7.00	5.11
平成13年	5.59	6.48	4.51
平成18年	6.09	7.00	5.00
平成23年	6.02	6.56	4.50

⑤平日の仕事時間は、男性は11時間以上、女性は4時間以上6時間未満の割合が上昇

有業者について平日における仕事の行動者割合を仕事時間階級別に平成18年と比べると、男性は11時間以上で0.6ポイント上昇となっている。一方、女性は4時間以上6時間未満で1.5ポイントの上昇となっている。(図3-3, 表3-5)

図3-3 男女, 仕事時間階級別行動者割合(平成18年, 23年) - 平日, 有業者



注) 調査日に仕事をしなかった人を除く。

表3-5 男女、仕事時間階級別行動者割合（平成18年、23年）—平日、有業者

(%, 増減はポイント)

	男			女		
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減
総数	100.0	100.0		100.0	100.0	
4時間未満	4.3	4.3	0.0	11.4	11.7	0.3
4～6時間未満	5.2	5.3	0.1	17.2	18.7	1.5
6～7時間未満	4.4	4.2	-0.2	10.0	9.2	-0.8
7～8時間未満	10.0	9.9	-0.1	16.2	14.8	-1.4
8～9時間未満	19.1	18.8	-0.3	19.6	20.1	0.5
9～10時間未満	17.8	17.4	-0.4	12.4	12.0	-0.4
10～11時間未満	15.0	15.3	0.3	6.6	7.0	0.4
11時間以上	24.2	24.9	0.6	6.5	6.5	0.0

注) 調査日に仕事をしなかった人を除く。

⑥「正規の職員・従業員」及び「正規の職員・従業員以外」共に仕事時間が増加

仕事時間を従業上の地位別にみると、雇人のある業主が7時間22分と最も長く、次いで会社などの役員、雇用されている人（会社などの役員を除く。以下同じ。）などとなっている。（図3-4、表3-6）

雇用されている人の仕事時間を雇用形態別にみると、「正規の職員・従業員」が7時間13分、「正規の職員・従業員以外」が4時間29分となっている。平成18年と比べると、共に2分の増加となっている。一方、雇用されている人に占める「正規の職員・従業員以外」の割合は40.2%となり、平成18年と比べると4.9ポイント上昇となっている。仕事時間の長い「正規の職員・従業員」の構成割合が低下したことにより、雇用されている人の仕事時間は、平成18年と比べ6分の減少となっている。（図3-5、図3-6、表3-7）

仕事時間に当該人口を掛け合わせた仕事時間総量を平成18年と比べると、「正規の職員・従業員」は減少し、「正規の職員・従業員以外」は増加となっている。

これを男女別にみると、男女共に「正規の職員・従業員」が減少し、「正規の職員・従業員以外」が増加となっている。（図3-7、表3-7）

図3-4 従業上の地位別仕事時間（平成18年、23年）—週全体、有業者

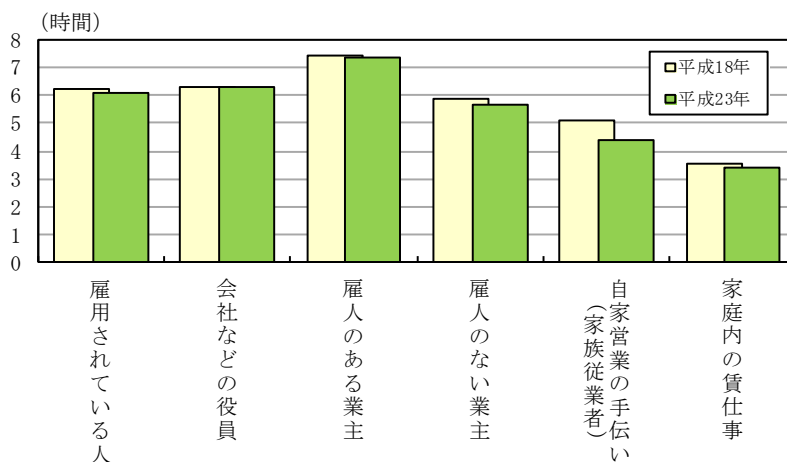
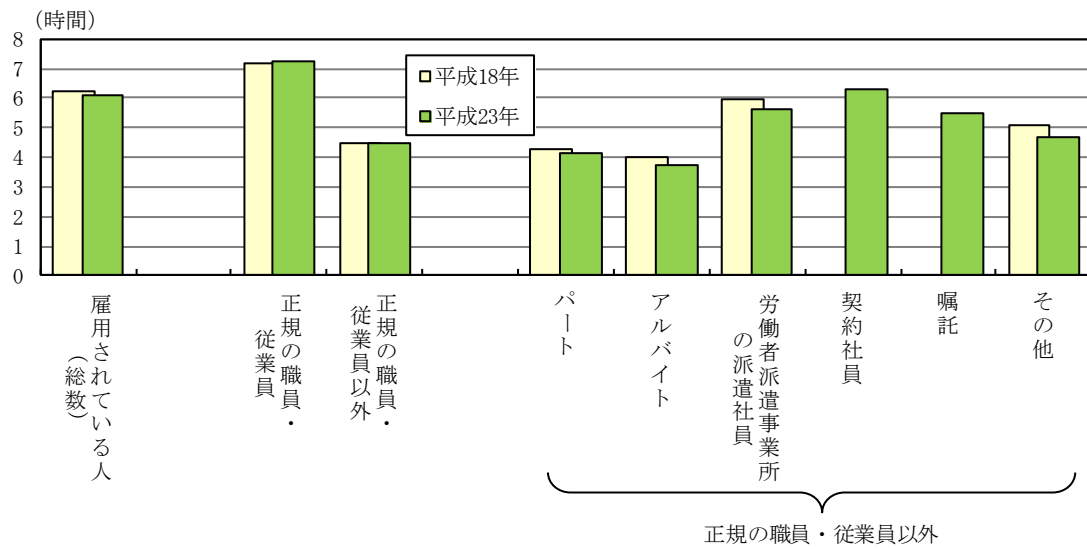


表3-6 男女、従業上の地位別仕事時間（平成18年、23年）—週全体、有業者

(時間.分)

	総数			男			女		
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減
有業者	6.09	6.02	-0.07	7.00	6.56	-0.04	5.00	4.50	-0.10
雇用されている人	6.13	6.07	-0.06	7.04	7.02	-0.02	5.08	4.59	-0.09
会社などの役員	6.16	6.16	0.00	6.53	6.54	0.01	4.00	4.11	0.11
雇人のある業主	7.24	7.22	-0.02	7.38	7.39	0.01	6.16	5.48	-0.28
雇人のない業主	5.51	5.38	-0.13	6.24	6.09	-0.15	4.11	3.53	-0.18
自家営業の手伝い(家族従業者)	5.06	4.23	-0.43	6.47	5.55	-0.52	4.33	3.55	-0.38
家庭内の賃仕事	3.32	3.23	-0.09	3.33	3.52	0.19	3.32	3.18	-0.14

図3-5 雇用形態別仕事時間（平成18年、23年）一週全体、雇用されている人



注)「契約社員」及び「嘱託」は平成23年調査から追加された区分であり、平成18年調査では「その他」に含まれる。

図3-6 雇用形態別構成割合（平成18年、23年）

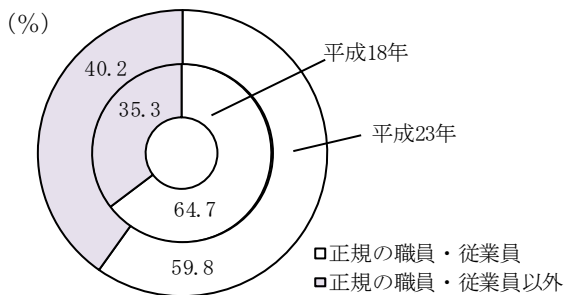


図3-7 男女、雇用形態別仕事時間総量（平成18年、23年）一週全体、雇用されている人

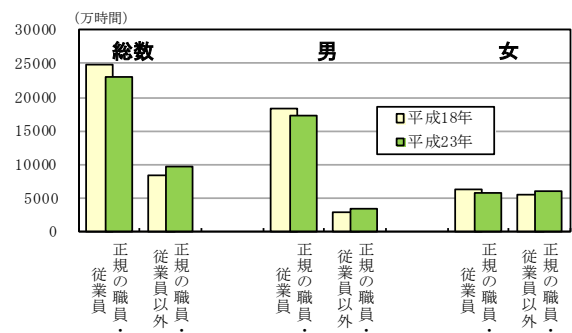


表3-7 男女、雇用形態別仕事時間及び仕事時間総量（平成18年、23年）一週全体、雇用されている人

	平成18年			平成23年			増減			
	人口 (千人)	仕事時間 (時間・分)	仕事時間 総量 (万時間)	人口 (千人)	仕事時間 (時間・分)	仕事時間 総量 (万時間)	人口 (千人)	仕事時間 (時間・分)	仕事時間 総量 (万時間)	
総数	雇用されている人	53445	6.13	33225	53455	6.07	32697	10	-0.06	-528
	正規の職員・従業員	34567	7.11	24831	31992	7.13	23088	-2575	0.02	-1743
	正規の職員・従業員以外	18879	4.27	8395	21463	4.29	9623	2584	0.02	1227
	パート	9696	4.17	4153	9848	4.09	4087	152	-0.08	-66
	アルバイト	5550	4.01	2229	5434	3.44	2029	-116	-0.17	-201
	労働者派遣事業所の派遣社員	1917	5.57	1141	1104	5.36	618	-813	-0.21	-522
	契約社員	-	-	-	2661	6.18	1676	-	-	-
	嘱託	-	-	-	1208	5.29	662	-	-	-
その他	1716	5.05	872	1209	4.39	562	-	-	-	
男	雇用されている人	30095	7.04	21267	29549	7.02	20783	-546	-0.02	-484
	正規の職員・従業員	24511	7.30	18383	22718	7.35	17228	-1793	0.05	-1155
	正規の職員・従業員以外	5583	5.10	2885	6831	5.14	3575	1248	0.04	690
	パート	967	5.00	484	977	5.01	490	10	0.01	7
	アルバイト	2911	4.39	1354	2694	4.11	1127	-217	-0.28	-227
	労働者派遣事業所の派遣社員	837	6.32	547	450	6.02	272	-387	-0.30	-275
	契約社員	-	-	-	1388	6.46	939	-	-	-
	嘱託	-	-	-	778	5.45	447	-	-	-
その他	868	5.46	501	544	5.22	292	-	-	-	
女	雇用されている人	23351	5.08	11987	23906	4.59	11913	555	-0.09	-74
	正規の職員・従業員	10056	6.25	6453	9274	6.18	5843	-782	-0.07	-610
	正規の職員・従業員以外	13295	4.09	5507	14633	4.09	6073	1338	0.00	566
	パート	8729	4.12	3666	8871	4.03	3593	142	-0.09	-73
	アルバイト	2638	3.19	875	2739	3.18	904	101	-0.01	29
	労働者派遣事業所の派遣社員	1080	5.30	594	654	5.18	347	-426	-0.12	-247
	契約社員	-	-	-	1274	5.47	737	-	-	-
	嘱託	-	-	-	430	4.59	214	-	-	-
その他	848	4.23	372	664	4.03	269	-	-	-	

注)「契約社員」及び「嘱託」は、平成18年調査では「その他」に含まれていることにより「契約社員」、「嘱託」及び「その他」については前回比較ができないため、増減は「-」表示とする。

(2) 家事関連

①家事関連時間は35～39歳の女性が最も長い

家事関連時間は2時間10分で、男性は42分、女性は3時間35分と男女の間に依然として大きな差が見られる。

男女、年齢階級別にみると、男性は65～84歳で1時間以上と長くなっている。一方、女性は30～74歳で4時間以上と長く、特に35～39歳で4時間54分と最も長くなっている。(図3-8、表3-8)

②家事関連時間は男性はほとんどの年齢階級で増加

家事関連時間を男女別に平成18年と比べると、男性は4分の増加、女性は横ばいとなっている。

男女、年齢階級別にみると、男性は70～79歳を除く全ての年齢階級で増加となっている。一方、女性は15～54歳でおおむね減少し、30～34歳及び50～54歳で15分以上と減少幅が大きくなっている。(図3-8、表3-8)

図3-8 男女、年齢階級別家事関連時間(平成18年、23年)一週全体

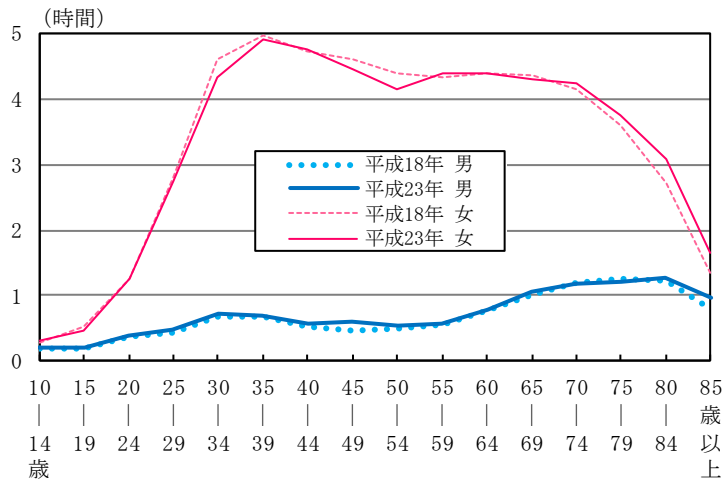


表3-8 男女、年齢階級別家事関連時間(平成18年、23年)一週全体

	総数			男			女			男女差	
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年
総数	2.08	2.10	0.02	0.38	0.42	0.04	3.35	3.35	0.00	-2.57	-2.53
10～14歳	0.14	0.16	0.02	0.11	0.13	0.02	0.17	0.19	0.02	-0.06	-0.06
15～19歳	0.21	0.21	0.00	0.11	0.13	0.02	0.31	0.28	-0.03	-0.20	-0.15
20～24歳	0.49	0.48	-0.01	0.22	0.23	0.01	1.15	1.15	0.00	-0.53	-0.52
25～29歳	1.37	1.35	-0.02	0.27	0.29	0.02	2.49	2.44	-0.05	-2.22	-2.15
30～34歳	2.36	2.30	-0.06	0.40	0.44	0.04	4.36	4.19	-0.17	-3.56	-3.35
35～39歳	2.48	2.46	-0.02	0.40	0.41	0.01	4.57	4.54	-0.03	-4.17	-4.13
40～44歳	2.36	2.39	0.03	0.32	0.35	0.03	4.44	4.45	0.01	-4.12	-4.10
45～49歳	2.32	2.32	0.00	0.28	0.36	0.08	4.36	4.27	-0.09	-4.08	-3.51
50～54歳	2.28	2.20	-0.08	0.29	0.32	0.03	4.23	4.08	-0.15	-3.54	-3.36
55～59歳	2.27	2.29	0.02	0.33	0.35	0.02	4.19	4.23	0.04	-3.46	-3.48
60～64歳	2.39	2.38	-0.01	0.47	0.47	0.00	4.23	4.24	0.01	-3.36	-3.37
65～69歳	2.46	2.45	-0.01	1.01	1.03	0.02	4.22	4.17	-0.05	-3.21	-3.14
70～74歳	2.48	2.48	0.00	1.11	1.10	-0.01	4.09	4.14	0.05	-2.58	-3.04
75～79歳	2.34	2.39	0.05	1.15	1.13	-0.02	3.36	3.45	0.09	-2.21	-2.32
80～84歳	2.10	2.21	0.11	1.13	1.16	0.03	2.43	3.05	0.22	-1.30	-1.49
85歳以上	1.12	1.28	0.16	0.49	0.58	0.09	1.21	1.40	0.19	-0.32	-0.42

③家事関連時間は男性は全ての曜日で増加、女性は日曜日のみ増加

家事関連時間を曜日別にみると、平日が2時間4分、土曜日が2時間19分、日曜日が2時間27分となっており、平日と比べると日曜日は20分以上長くなっている。

これを男女別に平成18年と比べると、男性は全ての曜日で増加となっているのに対し、女性は平日が横ばい、土曜日が減少、日曜日が増加となっている。(図3-9、表3-9)

図3-9 男女、曜日別家事関連時間
(平成18年、23年)

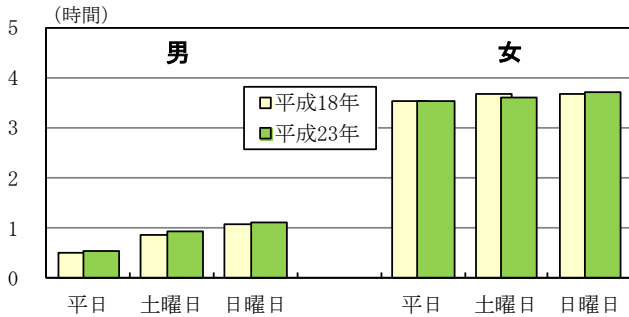


表3-9 男女、曜日別家事関連時間
(平成18年、23年)

	総数		男		女	
	平成18年	平成23年	平成18年	平成23年	平成18年	平成23年
平日	2.02	2.04	0.30	0.33	3.32	3.32
土曜日	2.20	2.19	0.53	0.56	3.40	3.36
日曜日	2.24	2.27	1.04	1.08	3.40	3.43

④家事関連時間の男女の差は縮小しているが依然として大きい

比較可能な年齢区分である15歳以上の人について、過去25年間の家事関連時間の推移を男女別にみると、男性は増加が続き、昭和61年と比べると、25分の増加となっているのに対し、女性は平成8年まで減少が続いたが、その後はおおむね横ばいで、昭和61年と比べると、15分の減少にとどまり、男女の差は縮小しているが、依然として大きい。(図3-10、表3-10)

図3-10 男女別家事関連時間の推移 (昭和61年～平成23年) 一週全体、15歳以上

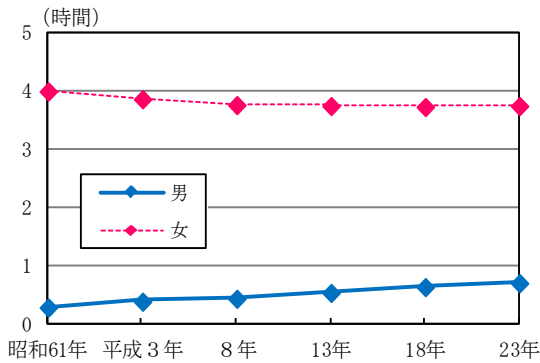


表3-10 男女別家事関連時間の推移 (昭和61年～平成23年) 一週全体、15歳以上

	男	女
昭和61年	0.18	4.00
平成3年	0.24	3.52
平成8年	0.27	3.46
平成13年	0.33	3.45
平成18年	0.39	3.44
平成23年	0.43	3.45

⑤家事関連時間は有配偶女性が未婚女性より3時間56分長い

15歳以上の人について、配偶関係別に家事関連時間をみると、有配偶男性は47分、未婚男性は27分と、有配偶男性が20分長くなっている。一方、有配偶女性は5時間2分、未婚女性は1時間6分と、有配偶女性が3時間56分長くなっている。(図3-11、表3-11)

図3-11 男女、配偶関係別家事関連時間
一週全体、15歳以上

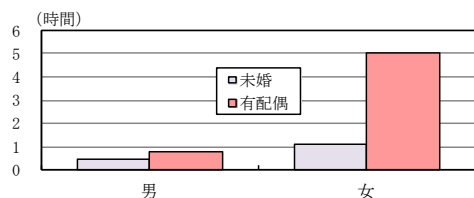


表3-11 男女、配偶関係別家事関連時間
一週全体、15歳以上

	男	女
未婚	0.27	1.06
有配偶	0.47	5.02

⑥30～54歳の女性の家事時間は過去10年間で大幅に減少

家事関連時間のうち炊事・掃除・洗濯等の家事時間について、過去10年間の推移を男女、年齢階級別にみると、男性はおおむね横ばいとなっているが、女性は55歳未満で減少傾向にあり、特に30～54歳で大幅な減少が見られ、男女の差は縮小している。(図3-12、表3-12、図3-13)

図3-12 男女、年齢階級別家事時間（平成13年、18年、23年）一週全体

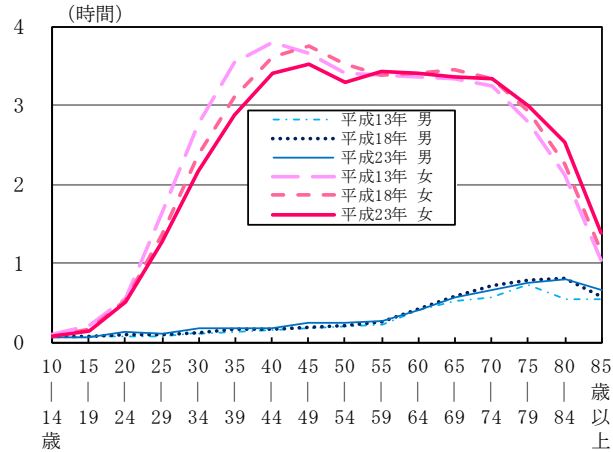
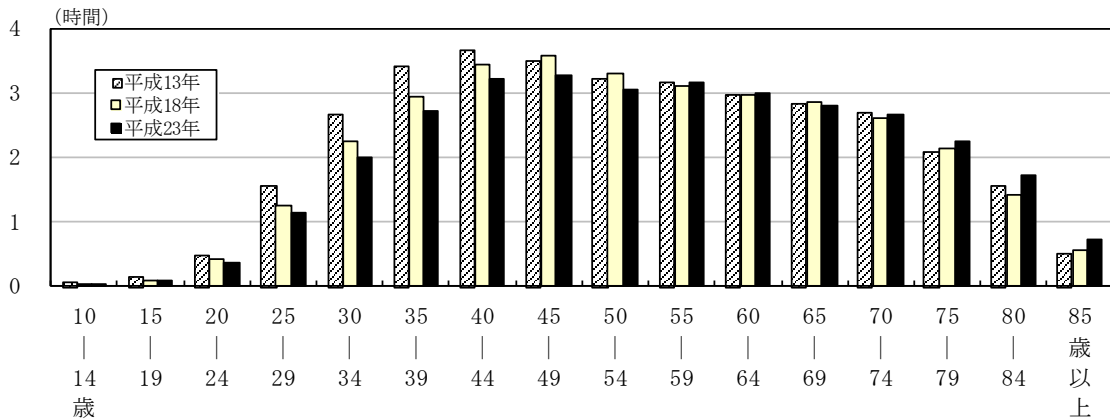


表3-12 男女、年齢階級別家事時間（平成13年、18年、23年）一週全体

	男				女				男女差		
	平成13年	平成18年	平成23年	増減	平成13年	平成18年	平成23年	増減	平成13年	平成18年	平成23年
				H23-H18				H23-H18			
総数	0.13	0.17	0.18	0.01	2.34	2.34	2.32	-0.02	-2.21	-2.17	-2.14
10～14歳	0.03	0.04	0.04	0.00	0.06	0.05	0.05	0.00	-0.03	-0.01	-0.01
15～19歳	0.04	0.04	0.04	0.00	0.12	0.10	0.09	-0.01	-0.08	-0.06	-0.05
20～24歳	0.05	0.06	0.08	0.02	0.34	0.32	0.31	-0.01	-0.29	-0.26	-0.23
25～29歳	0.05	0.06	0.07	0.01	1.38	1.22	1.16	-0.06	-1.33	-1.16	-1.09
30～34歳	0.07	0.07	0.10	0.03	2.46	2.22	2.10	-0.12	-2.39	-2.15	-2.00
35～39歳	0.08	0.10	0.10	0.00	3.33	3.07	2.53	-0.14	-3.25	-2.57	-2.43
40～44歳	0.09	0.10	0.11	0.01	3.48	3.37	3.24	-0.13	-3.39	-3.27	-3.13
45～49歳	0.11	0.11	0.14	0.03	3.40	3.46	3.31	-0.15	-3.29	-3.35	-3.17
50～54歳	0.12	0.13	0.14	0.01	3.24	3.31	3.18	-0.13	-3.12	-3.18	-3.04
55～59歳	0.13	0.16	0.16	0.00	3.23	3.23	3.26	0.03	-3.10	-3.07	-3.10
60～64歳	0.24	0.25	0.24	-0.01	3.22	3.24	3.24	0.00	-2.58	-2.59	-3.00
65～69歳	0.31	0.35	0.34	-0.01	3.21	3.27	3.22	-0.05	-2.50	-2.52	-2.48
70～74歳	0.34	0.43	0.40	-0.03	3.15	3.20	3.20	0.00	-2.41	-2.37	-2.40
75～79歳	0.43	0.47	0.45	-0.02	2.48	2.56	3.00	0.04	-2.05	-2.09	-2.15
80～84歳	0.33	0.49	0.48	-0.01	2.07	2.15	2.32	0.17	-1.34	-1.26	-1.44
85歳以上	0.32	0.35	0.39	0.04	1.02	1.09	1.23	0.14	-0.30	-0.34	-0.44

図3-13 家事時間の男女差の推移（平成13年、18年、23年）一週全体



⑦35～49歳の女性の育児時間は過去10年間で大幅に増加

家事関連時間のうち育児時間について、過去10年間の推移を男女、年齢階級別にみると、女性は35～49歳で大幅な増加が見られる。一方、男性は平成13年と比べると、30～39歳では5分の増加が見られるが、おおむね横ばいとなっている。(図3-14、表3-13、図3-15)

図3-14 男女、年齢階級別育児時間（平成13年、18年、23年）一週全体

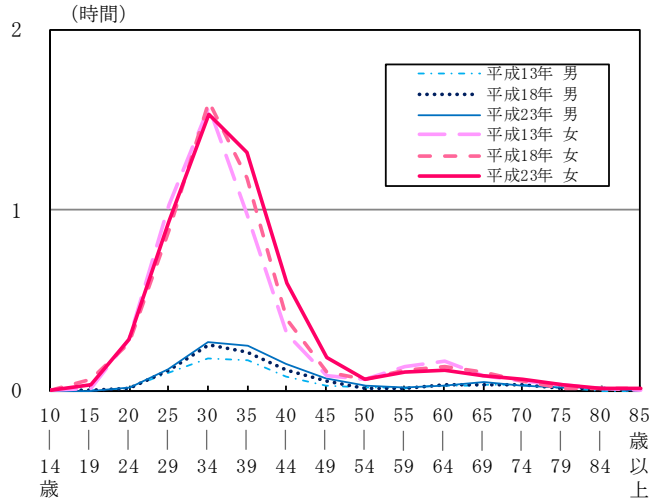
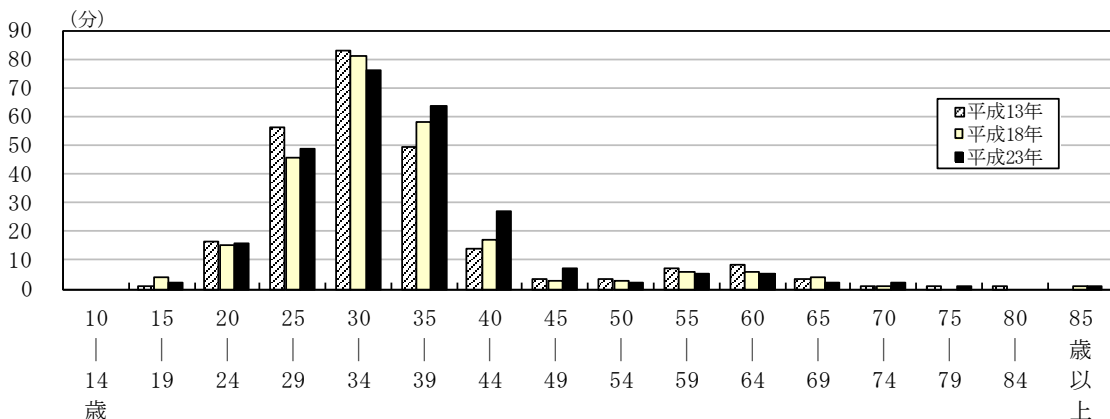


表3-13 男女、年齢階級別育児時間（平成13年、18年、23年）一週全体

	男					女					男女差 平成23年
	平成13年	平成18年	平成23年	増減		平成13年	平成18年	平成23年	増減		
				H18-H13	H23-H18				H18-H13	H23-H18	
総数	0.03	0.04	0.05	0.01	0.01	0.22	0.22	0.23	0.00	0.01	-0.18
10～14歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
15～19歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.04	0.02	0.03	-0.02	-0.02
20～24歳	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.17	0.16	0.17	-0.01	0.01	-0.16
25～29歳	0.06	0.07	0.07	0.01	0.00	1.02	0.53	0.56	-0.09	0.03	-0.49
30～34歳	0.11	0.15	0.16	0.04	0.01	1.34	1.36	1.32	0.02	-0.04	-1.16
35～39歳	0.10	0.13	0.15	0.03	0.02	0.59	1.11	1.19	0.12	0.08	-1.04
40～44歳	0.05	0.07	0.09	0.02	0.02	0.19	0.24	0.36	0.05	0.12	-0.27
45～49歳	0.02	0.03	0.04	0.01	0.01	0.05	0.06	0.11	0.01	0.05	-0.07
50～54歳	0.01	0.01	0.02	0.00	0.01	0.04	0.04	0.04	0.00	0.00	-0.02
55～59歳	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.08	0.07	0.06	-0.01	-0.01	-0.05
60～64歳	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	0.10	0.08	0.07	-0.02	-0.01	-0.05
65～69歳	0.02	0.02	0.03	0.00	0.01	0.05	0.06	0.05	0.01	-0.01	-0.02
70～74歳	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	0.03	0.03	0.04	0.00	0.01	-0.02
75～79歳	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.02	0.01	0.02	-0.01	0.01	-0.01
80～84歳	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00
85歳以上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	-0.01

図3-15 育児時間の男女差の推移（平成13年、18年、23年）一週全体



4 3次活動

(1) 休養等自由時間活動

①休養等自由時間活動の時間は60～84歳で男性が女性より長く、差が大きい

休養等自由時間活動の時間は3時間58分で、このうちテレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間は2時間27分となっている。(表4-1)

男女、年齢階級別にみると、60歳未満では男女の間に大きな差は見られないが、60～84歳では男性が30分以上長く、女性と大きな差が見られる。(図4-1, 表4-1)

②休養等自由時間活動の時間は20～79歳でおおむね増加

休養等自由時間活動の時間を平成18年と比べると、9分の増加となっており、休養・くつろぎの時間は6分の増加となっている。

年齢階級別にみると、20～79歳でおおむね増加となっている。(図4-2, 表4-1)

図4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間一週全体

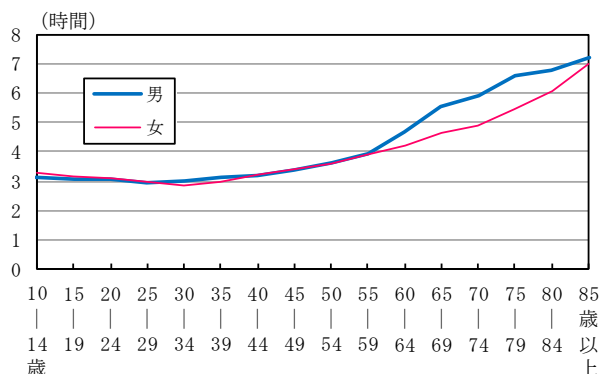


図4-2 年齢階級別休養等自由時間活動の時間(平成18年, 23年)一週全体

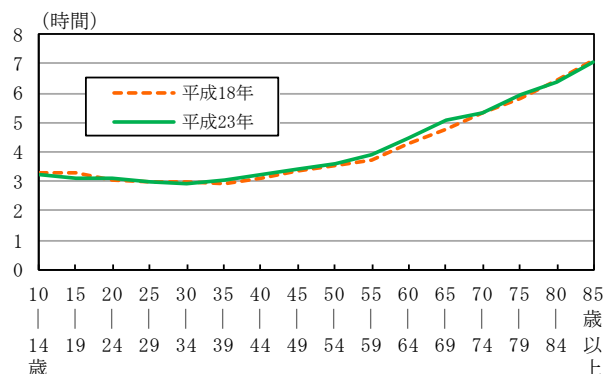


表4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間(平成18年, 23年)一週全体

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
休養等自由時間活動	3.49	3.58	0.09	3.51	4.02	0.11	3.47	3.55	0.08	0.07
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.24	2.27	0.03	2.28	2.31	0.03	2.21	2.24	0.03	0.07
休養・くつろぎ	1.25	1.31	0.06	1.23	1.31	0.08	1.26	1.31	0.05	0.00
休養等自由時間活動										
10～14歳	3.19	3.13	-0.06	3.15	3.08	-0.07	3.24	3.16	-0.08	-0.08
15～19歳	3.17	3.08	-0.09	3.16	3.06	-0.10	3.18	3.10	-0.08	-0.04
20～24歳	3.04	3.05	0.01	3.03	3.03	0.00	3.07	3.07	0.00	-0.04
25～29歳	2.59	2.59	0.00	2.54	2.58	0.04	3.05	2.59	-0.06	-0.01
30～34歳	2.59	2.57	-0.02	3.02	3.01	-0.01	2.56	2.53	-0.03	0.08
35～39歳	2.57	3.04	0.07	2.59	3.09	0.10	2.53	2.58	0.05	0.11
40～44歳	3.05	3.12	0.07	3.04	3.10	0.06	3.07	3.12	0.05	-0.02
45～49歳	3.22	3.25	0.03	3.16	3.23	0.07	3.27	3.26	-0.01	-0.03
50～54歳	3.33	3.37	0.04	3.34	3.38	0.04	3.32	3.37	0.05	0.01
55～59歳	3.44	3.54	0.10	3.46	3.55	0.09	3.41	3.54	0.13	0.01
60～64歳	4.16	4.26	0.10	4.36	4.42	0.06	3.58	4.12	0.14	0.30
65～69歳	4.45	5.03	0.18	5.16	5.34	0.18	4.18	4.37	0.19	0.57
70～74歳	5.19	5.21	0.02	5.53	5.54	0.01	4.50	4.53	0.03	1.01
75～79歳	5.50	5.56	0.06	6.17	6.34	0.17	5.28	5.27	-0.01	1.07
80～84歳	6.27	6.22	-0.05	6.54	6.46	-0.08	6.10	6.05	-0.05	0.41
85歳以上	7.06	7.04	-0.02	7.15	7.11	-0.04	7.02	6.59	-0.03	0.12

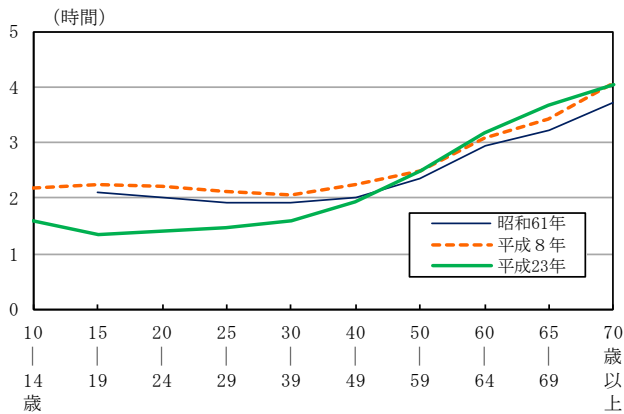
③テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間は過去 25 年間で 50 歳未満で減少傾向、50 歳以上で増加傾向

休養等自由時間活動のうちテレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間について、過去 25 年間の推移を年齢階級別にみると、50 歳未満で平成 8 年に増加となっているが、23 年は減少となっており、特に 15～19 歳で大幅な減少が見られる。一方、50 歳以上では増加傾向となっており、若年層と高齢層の差は拡大している。(図 4-3、表 4-2)

④休養・くつろぎの時間は過去 25 年間で 60 歳未満で増加傾向、60 歳以上で減少傾向

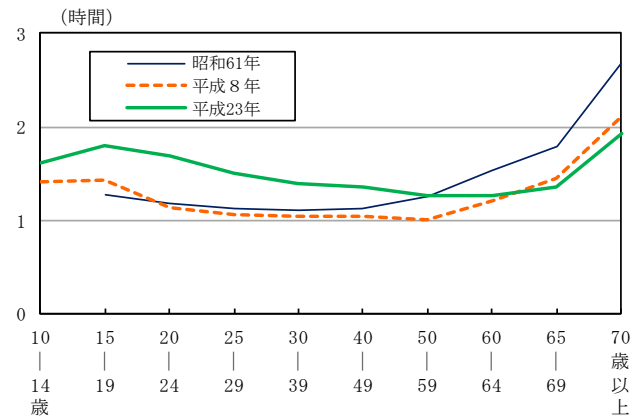
休養等自由時間活動のうち休養・くつろぎの時間について、過去 25 年間の推移を年齢階級別にみると、60 歳未満で平成 8 年におおむね減少となっているが、23 年は増加しており、特に 20～24 歳で大幅な増加が見られる。一方、60 歳以上では昭和 61 年と比べると、大幅な減少となっており、若年層と高齢層の差は縮小している。(図 4-4、表 4-2)

図 4-3 年齢階級別テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間(昭和 61 年, 平成 8 年, 23 年) 一週全体



注) 10～14 歳の年齢階級は、平成 8 年から調査。

図 4-4 年齢階級別休養・くつろぎの時間(昭和 61 年, 平成 8 年, 23 年) 一週全体



注) 10～14 歳の年齢階級は、平成 8 年から調査。

表 4-2 年齢階級別テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎの時間の推移(昭和 61 年, 平成 8 年, 23 年) 一週全体

	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌				休養・くつろぎ			
	昭和 61 年	平成 8 年	平成 23 年	増減	昭和 61 年	平成 8 年	平成 23 年	増減
総数	-	2.33	2.27	-0.06	-	1.15	1.31	0.16
10～14 歳	-	2.10	1.36	-0.34	-	1.25	1.37	0.12
15～19 歳	2.06	2.14	1.20	-0.46	1.17	1.26	1.48	0.31
20～24 歳	2.01	2.12	1.24	-0.37	1.11	1.08	1.41	0.30
25～29 歳	1.55	2.07	1.29	-0.26	1.08	1.04	1.30	0.22
30～39 歳	1.55	2.03	1.36	-0.19	1.07	1.03	1.24	0.17
40～49 歳	2.01	2.15	1.56	-0.05	1.08	1.03	1.22	0.14
50～59 歳	2.22	2.29	2.29	0.07	1.15	1.01	1.16	0.01
60～64 歳	2.56	3.05	3.10	0.14	1.32	1.13	1.16	-0.16
65～69 歳	3.13	3.26	3.41	0.28	1.47	1.27	1.22	-0.25
70 歳以上	3.42	4.04	4.03	0.21	2.41	2.07	1.56	-0.45
(再掲) 15 歳以上	2.18	2.34	2.30	0.12	1.21	1.15	1.30	0.09

注) 「増減」欄は、総数及び 10～14 歳は平成 8 年からの増減、それ以外の年齢階級は昭和 61 年からの増減を表示。

(2) 積極的自由時間活動

①積極的自由時間活動の時間は男性が女性より長い

積極的自由時間活動の時間は1時間14分で、このうち趣味・娯楽の時間は44分と最も長く、次いでスポーツ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）などとなっている。

男女別にみると、男性は1時間28分、女性は1時間4分と男性が24分長くなっている。

これを年齢階級別にみると、男性は45歳未満及び60～84歳で、女性は25歳未満及び60～74歳で1時間以上となっている。（図4-5、表4-3）

②積極的自由時間活動の時間は20～24歳で大幅に増加

積極的自由時間活動の時間を平成18年と比べると、3分の減少となっており、このうち学習・自己啓発・訓練（学業以外）は横ばい、これ以外は全て1分の減少となっている。

年齢階級別にみると、20～24歳で大幅に増加し、15歳未満及び60～64歳で大幅に減少となっている。（図4-6、表4-3）

図4-5 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間一週全体

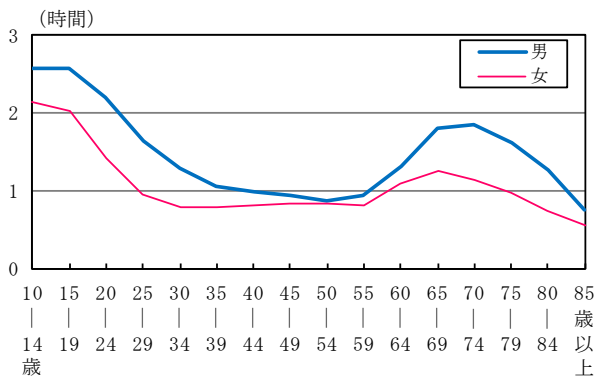


図4-6 年齢階級別積極的自由時間活動の時間（平成18年、23年）一週全体

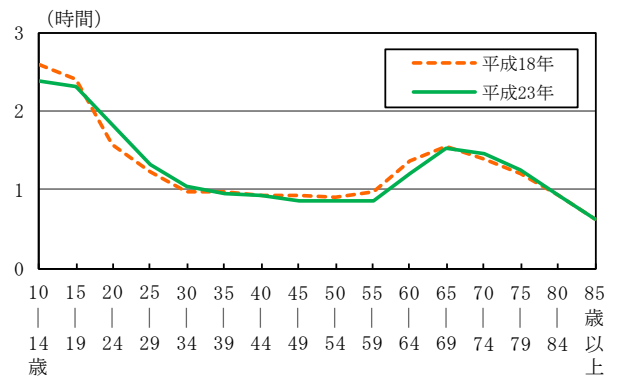


表4-3 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間（平成18年、23年）一週全体

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
積極的自由時間活動	1.17	1.14	-0.03	1.28	1.28	0.00	1.06	1.04	-0.02	0.24
学習・自己啓発・訓練（学業以外）	0.12	0.12	0.00	0.13	0.13	0.00	0.12	0.12	0.00	0.01
趣味・娯楽	0.45	0.44	-0.01	0.51	0.53	0.02	0.38	0.37	-0.01	0.16
スポーツ	0.15	0.14	-0.01	0.19	0.18	-0.01	0.11	0.11	0.00	0.07
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.04	-0.01	0.05	0.04	-0.01	0.05	0.04	-0.01	0.00
積極的自由時間活動										
10～14歳	2.35	2.23	-0.12	2.52	2.34	-0.18	2.18	2.09	-0.09	0.25
15～19歳	2.24	2.18	-0.06	2.41	2.35	-0.06	2.05	2.01	-0.04	0.34
20～24歳	1.35	1.49	0.14	1.56	2.12	0.16	1.12	1.25	0.13	0.47
25～29歳	1.13	1.19	0.06	1.30	1.39	0.09	0.55	0.57	0.02	0.42
30～34歳	0.59	1.03	0.04	1.08	1.18	0.10	0.51	0.47	-0.04	0.31
35～39歳	0.58	0.57	-0.01	1.03	1.04	0.01	0.52	0.48	-0.04	0.16
40～44歳	0.55	0.55	0.00	0.58	1.00	0.02	0.52	0.49	-0.03	0.11
45～49歳	0.56	0.52	-0.04	1.00	0.56	-0.04	0.51	0.50	-0.01	0.06
50～54歳	0.54	0.51	-0.03	0.54	0.53	-0.01	0.53	0.50	-0.03	0.03
55～59歳	0.59	0.52	-0.07	1.00	0.56	-0.04	0.56	0.49	-0.07	0.07
60～64歳	1.22	1.12	-0.10	1.30	1.19	-0.11	1.15	1.05	-0.10	0.14
65～69歳	1.33	1.31	-0.02	1.51	1.48	-0.03	1.14	1.16	0.02	0.32
70～74歳	1.24	1.28	0.04	1.46	1.51	0.05	1.07	1.08	0.01	0.43
75～79歳	1.12	1.15	0.03	1.35	1.37	0.02	0.55	0.58	0.03	0.39
80～84歳	0.56	0.56	0.00	1.06	1.16	0.10	0.49	0.44	-0.05	0.32
85歳以上	0.38	0.38	0.00	0.46	0.46	0.00	0.34	0.33	-0.01	0.13

(3) 交際・付き合い

交際・付き合いの時間はほとんどの年齢階級で減少

交際・付き合いの時間は19分で、男性は18分、女性は20分となっている。

過去10年間の推移を年齢階級別にみると、全ての年齢階級でおおむね減少傾向となっており、特に20～24歳は平成13年と比べると、16分の大幅な減少となっている。(図4-7, 表4-4)

図4-7 年齢階級別交際・付き合いの時間(平成13年, 18年, 23年)一週全体

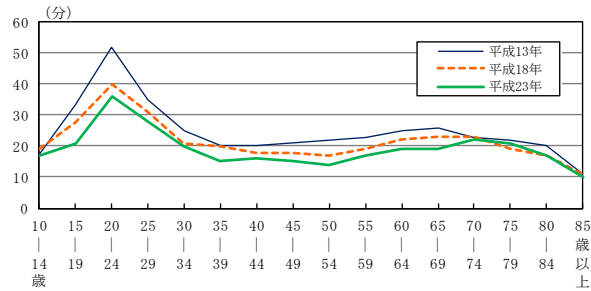


表4-4 男女, 年齢階級別交際・付き合いの時間(平成13年, 18年, 23年)一週全体

	総数						男						女					
	平成13年			平成18年			平成23年			平成13年			平成18年			平成23年		
	平成13年	平成18年	平成23年	増減 H18-H13	増減 H23-H18	増減 H23-H18	平成13年	平成18年	平成23年	増減 H18-H13	増減 H23-H18	増減 H23-H18	平成13年	平成18年	平成23年	増減 H18-H13	増減 H23-H18	
総数	26	22	19	-4	-3	-2	25	20	18	-5	-2	-2	27	24	20	-3	-4	
10～14歳	17	19	17	2	-2	-2	17	20	20	3	0	0	17	18	15	1	-3	
15～19歳	33	28	21	-5	-7	-7	32	27	22	-5	-5	-5	34	28	20	-6	-8	
20～24歳	52	40	36	-12	-4	-4	54	40	33	-14	-7	-7	50	41	39	-9	-2	
25～29歳	35	31	28	-4	-3	-3	35	29	28	-6	-1	-1	35	32	28	-3	-4	
30～34歳	25	21	20	-4	-1	-1	22	18	18	-4	0	0	27	23	23	-4	0	
35～39歳	20	20	15	0	-5	-5	19	17	14	-2	-3	-3	22	24	16	2	-8	
40～44歳	20	18	16	-2	-2	-2	20	16	16	-4	0	0	20	19	16	-1	-3	
45～49歳	21	18	15	-3	-3	-3	22	17	14	-5	-3	-3	21	18	17	-3	-1	
50～54歳	22	17	14	-5	-3	-3	21	15	14	-6	-1	-1	24	19	15	-5	-4	
55～59歳	23	19	17	-4	-2	-2	22	16	15	-6	-1	-1	24	22	18	-2	-4	
60～64歳	25	22	19	-3	-3	-3	23	19	18	-4	-1	-1	27	24	21	-3	-3	
65～69歳	26	23	19	-3	-4	-4	23	22	17	-1	-5	-5	29	25	22	-4	-3	
70～74歳	23	23	22	0	-1	-1	19	20	20	1	0	0	27	25	23	-2	-2	
75～79歳	22	19	21	-3	2	2	19	15	17	-4	2	2	25	21	24	-4	3	
80～84歳	20	17	17	-3	0	0	16	14	14	-2	0	0	23	19	18	-4	-1	
85歳以上	11	11	10	0	-1	-1	12	8	9	-4	1	1	11	13	11	2	-2	

(4) 主な行動の種類別3次活動時間の推移

交際・付き合いの時間は減少傾向

比較可能な年齢区分である15歳以上の人について、過去25年間の3次活動時間の推移を主な行動の種類別にみると、休養等自由時間活動の時間は平成13年まで増加が続き、18年は僅かに減少したが、23年は再び増加に転じた。積極的自由時間活動の時間は平成18年まで増加し23年はおおむね横ばい、交際・付き合いの時間は減少傾向となっている。(図4-8, 表4-5)

図4-8 主な行動の種類別3次活動時間の推移(昭和61年～平成23年)一週全体 15歳以上

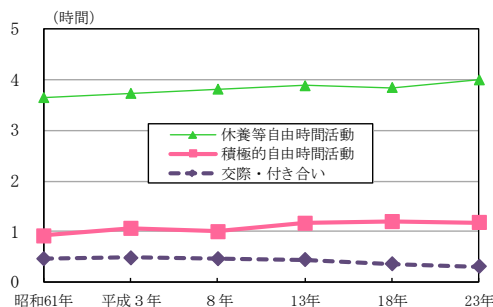


表4-5 主な行動の種類別3次活動時間の推移(昭和61年～平成23年)一週全体 15歳以上

	休養等自由 時間活動	積極的自由 時間活動	交際・ 付き合い
昭和61年	3.39	0.55	0.28
平成3年	3.44	1.04	0.29
平成8年	3.49	1.00	0.28
平成13年	3.53	1.10	0.27
平成18年	3.51	1.12	0.22
平成23年	4.00	1.11	0.19

5 各種属性別にみた生活時間

(1) 在学者

① 2次活動時間が最も長く、3次活動時間が最も短い大学院生

在学者（10歳以上、以下同じ。）について、生活時間を在学する学校の種類・学年別にみると、1次活動時間は、上級の学校・学年になるほど短くなる傾向となっており、最も短いのは高校3年生の10時間5分で、更に上級の学校・学年で長くなっている。

2次活動時間は、最も長いのは大学院生の7時間56分、最も短いのは小学5年生の5時間50分で、3次活動時間は、最も長いのは高校2年生の6時間47分、最も短いのは大学院生の5時間49分となっている。

また、2次活動時間と3次活動時間を比べると、小学生は2次活動時間が3次活動時間より短くなっているが、小学生を除く全ての学校・学年では、2次活動時間が3次活動時間より長くなっている。（図5-1、表5-1）

図5-1 在学する学校の種類・学年，行動の種類別生活時間一週全体，在学者

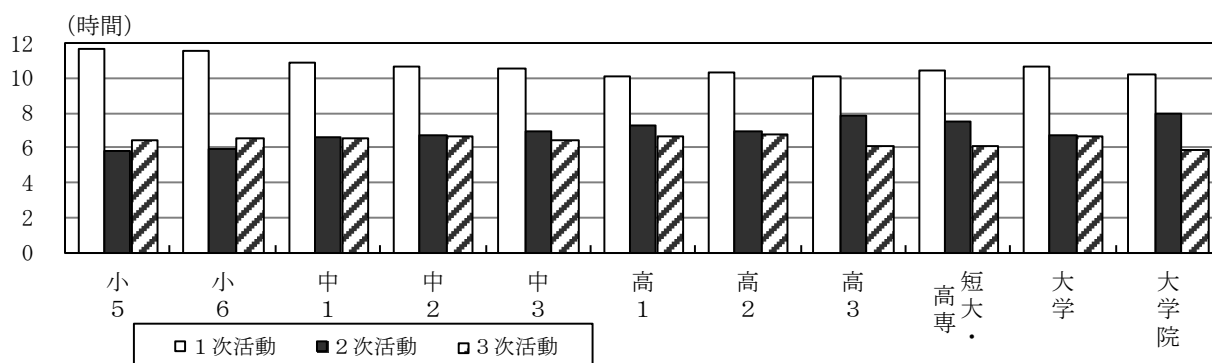


表5-1 行動の種類，在学する学校の種類・学年別生活時間一週全体，在学者

	小学 (10歳以上)			中学			高校			短大・ 高専	大学	大学院		
	うち 5年生	うち 6年生		1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生					
1次活動	11.41	11.44	11.32	10.42	10.51	10.40	10.35	10.11	10.07	10.17	10.05	10.26	10.39	10.15
睡眠	8.58	9.01	8.50	8.09	8.19	8.07	8.00	7.34	7.33	7.37	7.29	7.41	7.54	7.31
身の回りの用事	1.06	1.06	1.06	1.06	1.05	1.06	1.09	1.12	1.08	1.15	1.11	1.20	1.18	1.18
食事	1.37	1.38	1.36	1.27	1.27	1.28	1.26	1.25	1.25	1.26	1.25	1.25	1.27	1.26
2次活動	5.54	5.50	5.57	6.46	6.36	6.44	6.57	7.19	7.16	6.55	7.49	7.30	6.45	7.56
通勤・通学	0.31	0.32	0.30	0.36	0.36	0.37	0.34	1.02	1.06	1.02	1.01	1.11	1.12	1.15
仕事	0.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	0.01	0.19	0.09	0.14	0.15	1.08	1.27	1.48
学業	5.05	5.02	5.10	5.55	5.45	5.52	6.06	5.41	5.47	5.22	6.17	4.22	3.33	4.23
家事関連	0.18	0.17	0.17	0.15	0.14	0.15	0.15	0.18	0.14	0.17	0.16	0.49	0.33	0.30
3次活動	6.25	6.26	6.31	6.32	6.33	6.36	6.28	6.29	6.37	6.47	6.05	6.05	6.36	5.49
休養等自由時間活動	3.20	3.19	3.25	3.08	3.01	3.02	3.20	3.06	3.00	3.13	3.04	3.09	2.56	2.09
積極的自由時間活動	2.02	2.05	2.03	2.36	2.45	2.45	2.14	2.26	2.47	2.29	2.07	1.37	2.12	2.39
学習・自己啓発・訓練（学業以外）	0.36	0.37	0.38	0.51	0.43	0.42	1.07	0.48	0.46	0.46	0.56	0.36	0.29	0.49
趣味・娯楽	0.47	0.46	0.45	0.51	0.48	0.50	0.53	0.58	1.05	0.55	0.55	0.52	1.22	1.35
スポーツ	0.37	0.39	0.38	0.52	1.11	1.12	0.13	0.39	0.55	0.47	0.15	0.06	0.17	0.12
ボランティア活動・社会参加活動	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03	0.04	0.03
交際・付き合い	0.21	0.23	0.20	0.14	0.14	0.14	0.13	0.17	0.14	0.18	0.19	0.31	0.35	0.23
他の3次活動	0.41	0.38	0.43	0.36	0.33	0.35	0.39	0.39	0.36	0.47	0.36	0.48	0.53	0.39

②学業時間は高校3年生が最も長い

在学者の学業時間をみると、高校3年生が6時間17分と最も長く、次いで中学3年生が6時間6分などとなっている。

男女別にみると、男性は5時間4分、女性は5時間9分と女性が5分長くなっている。

これを在学する学校の種類・学年別にみると、中学3年生、短大・高専、大学及び大学院では男性が長く、高校2年生では差が見られず、それ以外では女性が長くなっている。(表5-2)

表5-2 男女、在学する学校の種類・学年別学業時間一週全体、在学者

	総数	小学(10歳以上)			中学	高校			短大・高専	大学	大学院				
		うち5年生	うち6年生	1年生		2年生	3年生								
総数	5.06	5.05	5.02	5.10	5.55	5.45	5.52	6.06	5.41	5.47	5.22	6.17	4.22	3.33	4.23
男	5.04	5.01	4.57	5.08	5.51	5.37	5.47	6.09	5.38	5.46	5.22	6.15	4.49	3.33	4.51
女	5.09	5.10	5.07	5.11	5.59	5.55	5.57	6.03	5.44	5.47	5.22	6.19	4.11	3.32	3.00
男女差	-0.05	-0.09	-0.10	-0.03	-0.08	-0.18	-0.10	0.06	-0.06	-0.01	0.00	-0.04	0.38	0.01	1.51

③学業時間は全体的に増加

在学者について、過去25年間の学業時間の推移を在学する学校の種類別にみると、全体的に減少傾向にあったが、平成18年で増加傾向に転じ、23年は短大・高専を除く全てで増加となっている。(図5-2、表5-3)

図5-2 在学する学校の種類別学業時間の推移(昭和61年~平成23年)一週全体、在学者

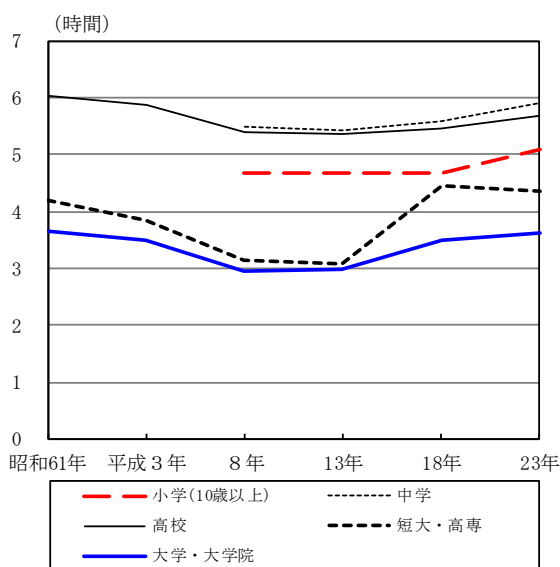


表5-3 在学する学校の種類別学業時間の推移(昭和61年~平成23年)一週全体、在学者

	小学(10歳以上)	中学	高校	短大・高専	大学・大学院
昭和61年	—	—	6.02	4.12	3.40
平成3年	—	—	5.52	3.51	3.29
平成8年	4.40	5.29	5.23	3.09	2.57
平成13年	4.41	5.26	5.21	3.05	2.59
平成18年	4.41	5.35	5.27	4.27	3.30
平成23年	5.05	5.55	5.41	4.22	3.37

注) 小学生及び15歳未満の中学生は平成8年より調査。

昭和61年及び平成3年の高校には、15歳以上の中学生を含む。

平成23年の「大学・大学院」は、「大学」及び「大学院」の数値より算出。

注) 小学生及び15歳未満の中学生は平成8年より調査。

昭和61年及び平成3年の高校には、15歳以上の中学生を含む。

平成23年の「大学・大学院」は、「大学」及び「大学院」の数値より算出。

(2) 夫と妻

①子供の成長過程により、妻の家事関連時間と仕事等の時間は大きく変化

同一世帯の夫と妻の生活時間をみると、夫の1次活動時間は10時間35分、2次活動時間は6時間56分、3次活動時間は6時間29分、妻の1次活動時間は、10時間29分、2次活動時間は7時間35分、3次活動時間は5時間56分となっており、1次活動時間は6分、3次活動時間は33分夫が長くなっており、2次活動時間は39分妻が長くなっている。

ライフステージ¹⁾別にみると、2次活動時間のうち家事関連時間は夫と妻共に子育て期²⁾（末子が就学前）が最も長く、夫が1時間6分、妻が7時間31分となっている。仕事等³⁾の時間は子育て期（末子が就学前）が夫は最も長い、妻は最も短く、夫が8時間52分、妻が1時間54分となっている。妻の2次活動時間をみると、末子が成長するにつれ、家事関連時間は短く、仕事等の時間は長くなる傾向があり、子供の成長過程により家事関連時間と仕事等の時間に大きな変化が見られる。（図5-3、図5-4、表5-4）

図5-3 ライフステージ、行動の種類別生活時間一週全体、夫・妻

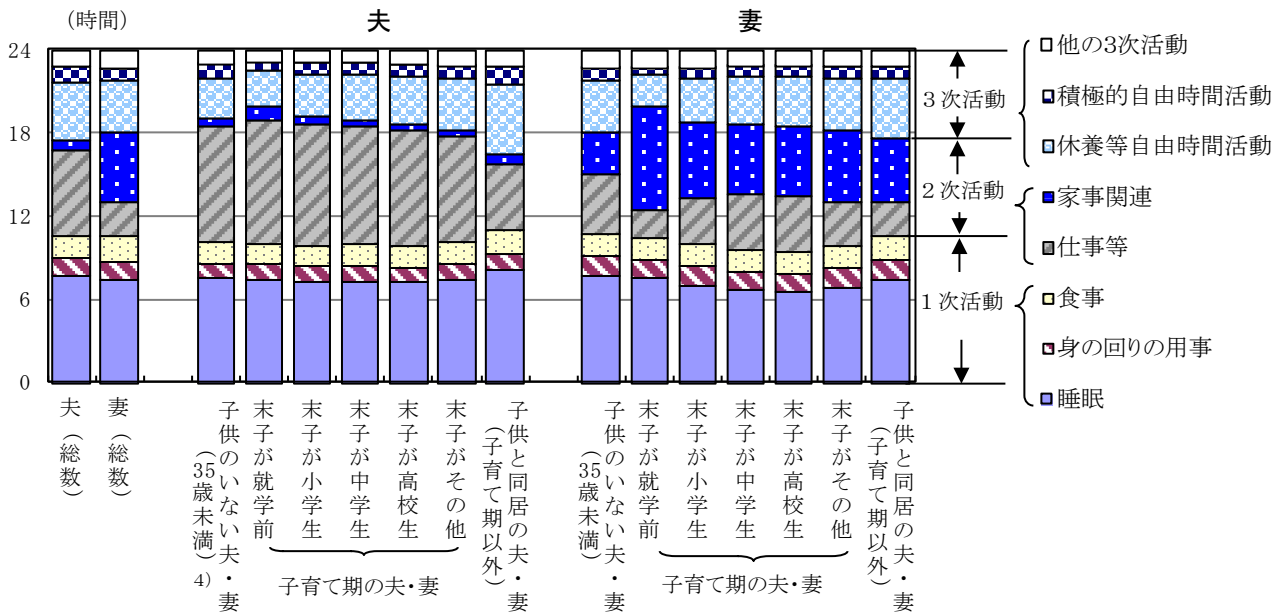
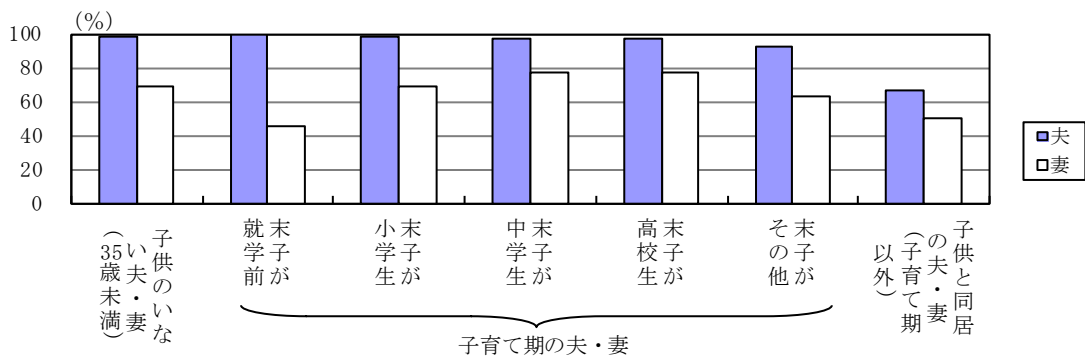


図5-4 ライフステージ別有業率一夫・妻



- 1) 本人の年齢や在学の状態、世帯内に配偶者及び子供がいるか否か、同居の子供の年齢、就学・就業状態等によりライフステージを設定した。なお、家族構成が不明な場合はライフステージを不詳とした。
- 2) 30歳未満の無業の子供と同居している場合をいう。
- 3) 通勤・通学、仕事及び学業
- 4) 同一世帯に子供のいない夫・妻をいう。

表5-4 ライフステージ, 行動の種類別生活時間一週全体, 夫・妻

	総数	子供のいない夫・妻	うち35歳未満	子育て期の夫・妻							子供と同居の夫・妻 (子育て期以外)
				総数	末子の教育						
					就学前	小学生	中学生	高校生	その他		
人口(千人)	32022	12352	836	12555	5353	3388	1523	1263	1028	7114	
人口構成比 (%)	100.0	38.6	2.6	39.2	16.7	10.6	4.8	3.9	3.2	22.2	
有業率 (%)	77.4	62.3	98.1	98.0	99.1	98.5	97.6	97.3	91.9	67.0	
生活時間 (時間.分)											
夫	1次活動	10.35	10.58	10.02	9.56	9.59	9.51	9.56	9.50	10.07	11.03
	睡眠	7.44	7.57	7.34	7.21	7.27	7.17	7.17	7.12	7.24	8.02
	身の回りの用事	1.10	1.12	1.02	1.06	1.05	1.05	1.08	1.06	1.06	1.13
	食事	1.41	1.49	1.27	1.29	1.27	1.29	1.31	1.32	1.36	1.48
	2次活動	6.56	5.18	8.57	9.24	9.57	9.19	8.58	8.49	8.08	5.24
	仕事等	6.09	4.28	8.23	8.40	8.52	8.47	8.32	8.22	7.39	4.40
	家事関連	0.46	0.50	0.35	0.45	1.06	0.33	0.27	0.27	0.29	0.45
	家事	0.19	0.26	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12	0.23
	介護・看護	0.02	0.02	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03
	育児	0.08	0.02	0.01	0.18	0.37	0.06	0.02	0.01	0.01	0.02
	買い物	0.17	0.20	0.22	0.15	0.17	0.15	0.13	0.14	0.14	0.17
	3次活動	6.29	7.44	5.01	4.40	4.05	4.50	5.05	5.21	5.45	7.33
	休養等自由時間活動	4.09	4.56	2.51	2.53	2.30	2.57	3.18	3.24	3.37	5.03
	積極的自由時間活動	1.11	1.29	1.09	0.49	0.43	0.56	0.51	0.54	1.02	1.18
	他の3次活動	1.09	1.20	1.00	0.57	0.53	0.57	0.57	1.04	1.06	1.12
妻	人口(千人)	30945	12158	904	11794	5073	3129	1422	1191	980	6993
	人口構成比 (%)	100.0	39.3	2.9	38.1	16.4	10.1	4.6	3.8	3.2	22.6
	有業率 (%)	51.3	43.4	69.5	60.5	45.9	69.3	77.1	77.2	63.6	49.7
生活時間 (時間.分)											
	1次活動	10.29	10.49	10.40	10.04	10.29	10.01	9.31	9.20	9.52	10.36
	睡眠	7.20	7.32	7.39	7.07	7.33	7.01	6.37	6.28	6.49	7.21
	身の回りの用事	1.24	1.27	1.30	1.20	1.17	1.26	1.20	1.18	1.23	1.26
	食事	1.45	1.50	1.32	1.36	1.38	1.34	1.34	1.34	1.40	1.49
	2次活動	7.35	6.26	7.19	9.05	9.24	8.46	9.05	9.12	8.16	7.03
	仕事等	2.31	2.16	4.19	2.51	1.54	3.17	4.01	4.06	3.10	2.26
	家事関連	5.04	4.11	3.01	6.14	7.31	5.29	5.05	5.06	5.06	4.37
	家事	3.37	3.18	2.18	3.54	3.32	4.11	4.11	4.14	4.03	3.44
	介護・看護	0.06	0.07	0.02	0.04	0.03	0.03	0.03	0.05	0.12	0.08
	育児	0.39	0.05	0.06	1.33	3.15	0.30	0.07	0.02	0.04	0.05
	買い物	0.42	0.41	0.35	0.43	0.41	0.45	0.44	0.45	0.47	0.40
	3次活動	5.56	6.45	6.00	4.51	4.07	5.13	5.24	5.29	5.53	6.21
	休養等自由時間活動	3.45	4.16	3.45	2.56	2.20	3.08	3.29	3.35	3.50	4.17
	積極的自由時間活動	0.53	1.06	0.57	0.40	0.31	0.49	0.47	0.45	0.51	0.51
	他の3次活動	1.18	1.23	1.20	1.14	1.16	1.17	1.09	1.09	1.11	1.13

注) 夫と妻の人口が一致しないのは, 記入不備等により夫又は妻のどちらかを集計から除外した世帯があるため, また推定に用いた基準人口(ベンチマーク)が男女, 年齢階級別人口のために夫と妻で推定乗率が異なるためである。

②共働きか否かにより、妻の生活時間は大きな差が見られる

夫婦と子供の世帯のうち、「共働き世帯」（夫も妻も有業の世帯。以下同じ。）及び「夫が有業で妻が無業の世帯」について、夫と妻の生活時間をみると、「共働き世帯」の夫は1次活動時間が10時間、2次活動時間が9時間9分、3次活動時間が4時間51分で、「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫に比べ、1次活動時間は2分、2次活動時間は1分短く、3次活動時間は3分長くなっている。

「共働き世帯」の妻は1次活動時間が9時間55分、2次活動時間が9時間27分、3次活動時間が4時間38分で、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻に比べ、1次活動時間は23分、3次活動時間は1時間17分短く、2次活動時間は1時間40分長くなっており、妻の生活時間は共働きか否かにより大きな差が見られる。

また、育児時間を末子の年齢階級別にみると、夫と妻共に末子の年齢階級が低くなるほど長くなっている。（表5-5）

表5-5 末子の年齢階級、共働きか否か別生活時間一週全体、夫婦と子供の世帯の夫・妻

(時間、分)

末子の年齢階級	共働き世帯						夫が有業で妻が無業の世帯						
	1次活動	2次活動	仕事等	家事関連	うち育児	3次活動	1次活動	2次活動	仕事等	家事関連	うち育児	3次活動	
夫	総数	10.00	9.09	8.30	0.39	0.12	4.51	10.02	9.10	8.22	0.46	0.19	4.48
	0歳	10.03	10.23	8.38	1.45	1.17	3.34	10.01	10.11	8.49	1.22	0.52	3.48
	1～2歳	9.45	10.26	9.04	1.22	0.46	3.49	9.55	10.14	9.03	1.09	0.42	3.51
	3～5歳	9.56	9.44	8.53	0.49	0.24	4.20	9.59	9.46	8.55	0.52	0.25	4.15
	6～8歳	9.48	9.34	8.57	0.37	0.08	4.38	9.52	9.37	9.03	0.35	0.09	4.32
	9～11歳	9.49	9.29	8.58	0.29	0.04	4.42	9.48	9.30	9.01	0.29	0.07	4.42
	12～14歳	9.53	9.08	8.44	0.23	0.01	4.59	9.55	8.54	8.30	0.24	0.04	5.11
	15歳以上	10.12	8.22	7.56	0.26	0.01	5.26	10.18	7.36	7.04	0.31	0.01	6.06
妻	総数	9.55	9.27	4.34	4.53	0.45	4.38	10.18	7.47	0.04	7.43	2.01	5.55
	0歳	10.01	10.30	1.13	9.17	5.43	3.29	10.06	10.09	0.02	10.06	5.50	3.45
	1～2歳	10.23	10.22	4.23	6.00	2.37	3.15	10.39	9.03	0.00	9.02	4.12	4.18
	3～5歳	10.25	9.44	4.33	5.11	1.26	3.52	10.42	7.59	0.04	7.54	2.34	5.19
	6～8歳	10.07	9.30	4.32	4.58	0.39	4.23	10.22	7.09	0.04	7.04	1.06	6.29
	9～11歳	9.48	9.27	4.39	4.47	0.19	4.46	10.00	7.25	0.05	7.21	0.34	6.35
	12～14歳	9.29	9.36	4.59	4.36	0.06	4.55	9.42	7.19	0.05	7.15	0.13	6.59
	15歳以上	9.47	9.02	4.48	4.15	0.03	5.11	10.04	6.29	0.05	6.25	0.04	7.27

③共働きか否かにかかわらず、夫の家事時間・育児時間は増加傾向

夫婦と子供の世帯のうち、「共働き世帯」及び「夫が有業で妻が無業の世帯」について、過去25年間の夫と妻の生活時間の推移をみると、「共働き世帯」の夫と「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫の仕事等の時間は共に減少が続いていたが、平成18年で増加に転じている。「共働き世帯」の妻の仕事等の時間は減少が続いていたが、18年で増加に転じ、23年は減少となっている。

家事関連時間は、夫と妻共に増加傾向となっているが、家事関連時間のうち家事時間は「共働き世帯」の夫と「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫は共に増加傾向となっている。一方、「共働き世帯」の妻と「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻は共に減少傾向となっている。

家事関連時間のうち育児時間は、「共働き世帯」及び「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫と妻共に増加傾向であり、特に平成13年から大幅な増加となっている。（表5-6、図5-5）

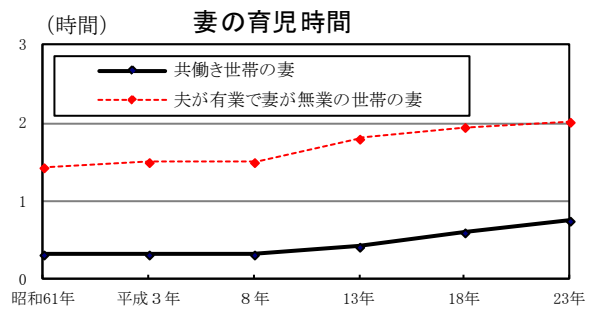
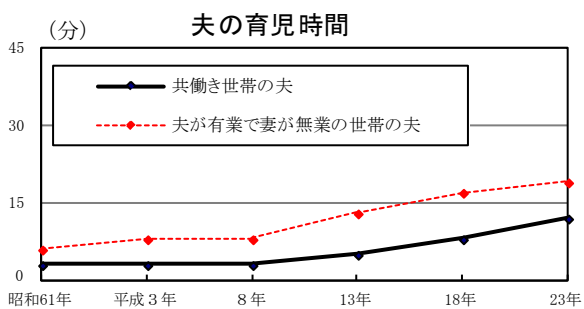
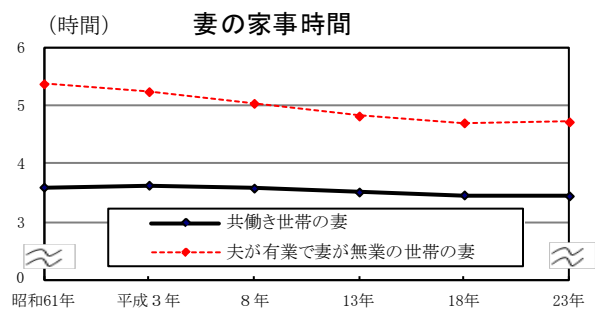
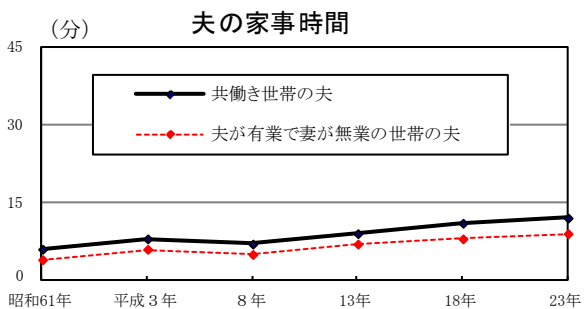
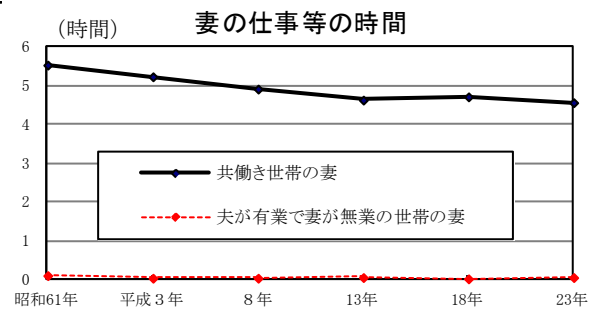
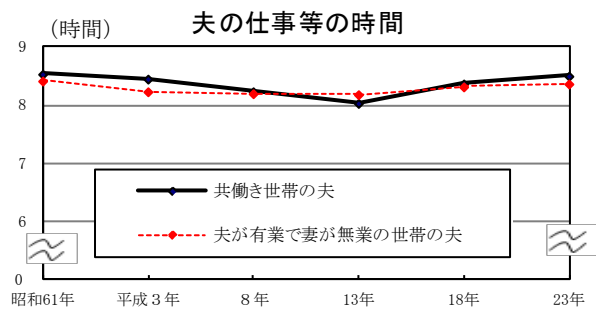
表5-6 共働きか否か、行動の種類別生活時間の推移（昭和61年～平成23年）
一週全体、夫婦と子供の世帯の夫・妻

(時間、分)

		共働き世帯					夫が有業で妻が無業の世帯						
		昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年
夫	1次活動	10.08	10.04	10.09	10.06	10.03	10.00	10.06	10.07	10.08	10.06	10.06	10.02
	2次活動	8.47	8.46	8.34	8.28	8.55	9.09	8.43	8.39	8.39	8.47	9.01	9.10
	仕事等	8.32	8.27	8.14	8.02	8.22	8.30	8.25	8.14	8.12	8.11	8.19	8.22
	家事関連	0.15	0.19	0.20	0.26	0.33	0.39	0.17	0.25	0.27	0.35	0.42	0.46
	うち家事	0.06	0.08	0.07	0.09	0.11	0.12	0.04	0.06	0.05	0.07	0.08	0.09
	育児	0.03	0.03	0.03	0.05	0.08	0.12	0.06	0.08	0.08	0.13	0.17	0.19
	3次活動	5.05	5.11	5.17	5.26	5.02	4.51	5.11	5.15	5.13	5.07	4.52	4.48
妻	1次活動	9.54	9.50	9.58	9.53	9.53	9.55	10.10	10.06	10.14	10.08	10.10	10.18
	2次活動	10.02	9.52	9.28	9.13	9.26	9.27	7.48	7.46	7.34	7.38	7.36	7.47
	仕事等	5.32	5.14	4.55	4.38	4.43	4.34	0.07	0.03	0.03	0.04	0.02	0.04
	家事関連	4.30	4.39	4.33	4.37	4.45	4.53	7.41	7.42	7.30	7.34	7.34	7.43
	うち家事	3.36	3.38	3.35	3.31	3.28	3.27	5.22	5.14	5.02	4.49	4.42	4.43
	育児	0.19	0.19	0.19	0.25	0.36	0.45	1.26	1.30	1.30	1.48	1.57	2.01
	3次活動	4.03	4.18	4.34	4.54	4.40	4.38	6.02	6.09	6.12	6.14	6.13	5.55

注) 昭和61年の「家事」は「介護・看護」を含む。

図5-5 共働きか否か、主要行動の種類別生活時間の推移（昭和61年～平成23年）
一週全体、夫婦と子供の世帯の夫・妻



④6歳未満の子供がいる世帯の約4割が親族（祖父母など）からの育児支援を受けている

夫婦と子供の世帯の6歳未満の子供がいる世帯のうち、世帯外からの育児支援¹⁾を受けている世帯は、約4割でその大半が親族（祖父母など）からとなっている。

6歳未満の子供がいる世帯の夫と妻の生活時間を育児支援の利用の状況別にみると、夫には差がほとんど見られないが、育児支援を受けている世帯の妻は、育児支援を受けていない世帯の妻に比べ、3次活動時間は33分、家事関連時間は36分短く、仕事等の時間は1時間6分長くなっており、2次活動時間は31分長くなっている。（表5-7）

また、過去15年間の6歳未満の子供がいる世帯の夫と妻の生活時間の推移をみると、6歳未満の子供がいる世帯の夫の家事関連時間は増加が続いている。6歳未満の子供がいる世帯の妻の家事関連時間は増加や減少を繰り返しているが、家事時間は減少傾向、育児時間は増加が続いている。（表5-8）

表5-7 6歳未満の子供の有無、育児支援の利用の状況別生活時間一週全体、夫婦と子供の世帯の夫・妻

		総数	6歳未満の子供はいない	6歳未満の子供がいる	育児支援を受けていない	育児支援を受けている	親族(祖父母など)から	近隣の知人・友人などから	その他(ベビシッター・保育ママなど)から	
夫	人口(千人)	14837	10467	4370	2740	1630	1580	103	55	
	人口構成比(%)	100.0	70.5	29.5	18.5	11.0	10.6	0.7	0.4	
	6歳未満の子供がいるを100%とした構成比(%)	-	-	100.0	62.7	37.3	36.2	2.4	1.3	
	生活時間 (時間.分)									
	1次活動	10.11	10.18	9.56	9.56	9.56	9.56	9.16	10.25	
	2次活動	8.19	7.36	10.02	10.02	10.03	10.01	10.00	10.13	
	仕事等	7.34	6.59	8.54	8.54	8.55	8.52	9.10	8.31	
	家事関連	0.46	0.37	1.07	1.07	1.08	1.07	0.51	1.43	
	家事	0.15	0.17	0.12	0.11	0.13	0.13	0.07	0.32	
	介護・看護	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	育児	0.14	0.03	0.39	0.38	0.41	0.40	0.30	0.56	
	買い物	0.16	0.16	0.16	0.18	0.14	0.14	0.14	0.15	
	3次活動	5.30	6.06	4.02	4.02	4.01	4.03	4.44	3.22	
妻	人口(千人)	14085	9954	4131	2596	1535	1488	93	53	
	人口構成比(%)	100.0	70.7	29.3	18.4	10.9	10.6	0.7	0.4	
	6歳未満の子供がいるを100%とした構成比(%)	-	-	100.0	62.8	37.2	36.0	2.3	1.3	
	生活時間 (時間.分)									
	1次活動	10.09	10.02	10.28	10.27	10.29	10.30	10.33	9.54	
	2次活動	8.29	8.06	9.24	9.13	9.44	9.45	8.41	10.15	
	仕事等	2.35	2.57	1.42	1.18	2.24	2.28	1.06	1.21	
	家事関連	5.55	5.10	7.41	7.55	7.19	7.18	7.35	8.54	
	家事	3.58	4.07	3.35	3.45	3.19	3.18	3.47	3.28	
	介護・看護	0.05	0.05	0.03	0.04	0.03	0.03	0.02	0.08	
	育児	1.08	0.13	3.22	3.23	3.18	3.18	3.01	4.24	
	買い物	0.44	0.45	0.41	0.43	0.39	0.39	0.45	0.54	
	3次活動	5.21	5.52	4.08	4.20	3.47	3.46	4.46	3.52	

注) 夫と妻の人口が一致しないのは、記入不備等により夫又は妻のどちらかを集計から除外した世帯があるため、また推定に用いた基準人口(ベンチマーク)が男女、年齢階級別人口のために夫と妻で推定乗率が異なるためである。

表5-8 行動の種類別生活時間の推移(平成8年~平成23年)
一週全体、夫婦と子供の世帯のうち6歳未満の子供がいる夫・妻

	夫				妻			
	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年
1次活動	10.01	10.01	10.04	9.56	10.16	10.14	10.20	10.28
2次活動	9.08	9.23	9.36	10.02	8.55	9.01	9.11	9.24
仕事等	8.30	8.34	8.37	8.54	1.17	1.21	1.43	1.42
家事関連	0.38	0.48	1.00	1.07	7.38	7.41	7.27	7.41
家事	0.05	0.07	0.10	0.12	4.08	3.53	3.35	3.35
介護・看護	0.01	0.01	0.01	0.00	0.03	0.03	0.03	0.03
育児	0.18	0.25	0.33	0.39	2.43	3.03	3.09	3.22
買い物	0.14	0.15	0.16	0.16	0.44	0.42	0.40	0.41
3次活動	4.51	4.36	4.19	4.02	4.49	4.45	4.29	4.08

1) 保育所(園)又は幼稚園を除く、世帯外からの育児支援。複数回答あり。

(3) 高齢者

①男女共に高齢者の睡眠時間は減少が続き、家事関連時間は増加が続く

65歳以上の高齢者について、生活時間を男女別にみると、男性は1次活動時間が11時間43分、2次活動時間が3時間4分、3次活動時間が9時間13分、女性は1次活動時間が11時間45分、2次活動時間が4時間25分、3次活動時間が7時間50分となっている。

過去25年間の生活時間の推移をみると、1次活動時間のうち睡眠時間は、男女共に減少が続き、身の回りの用事の時間は男女共に増加が続いている。

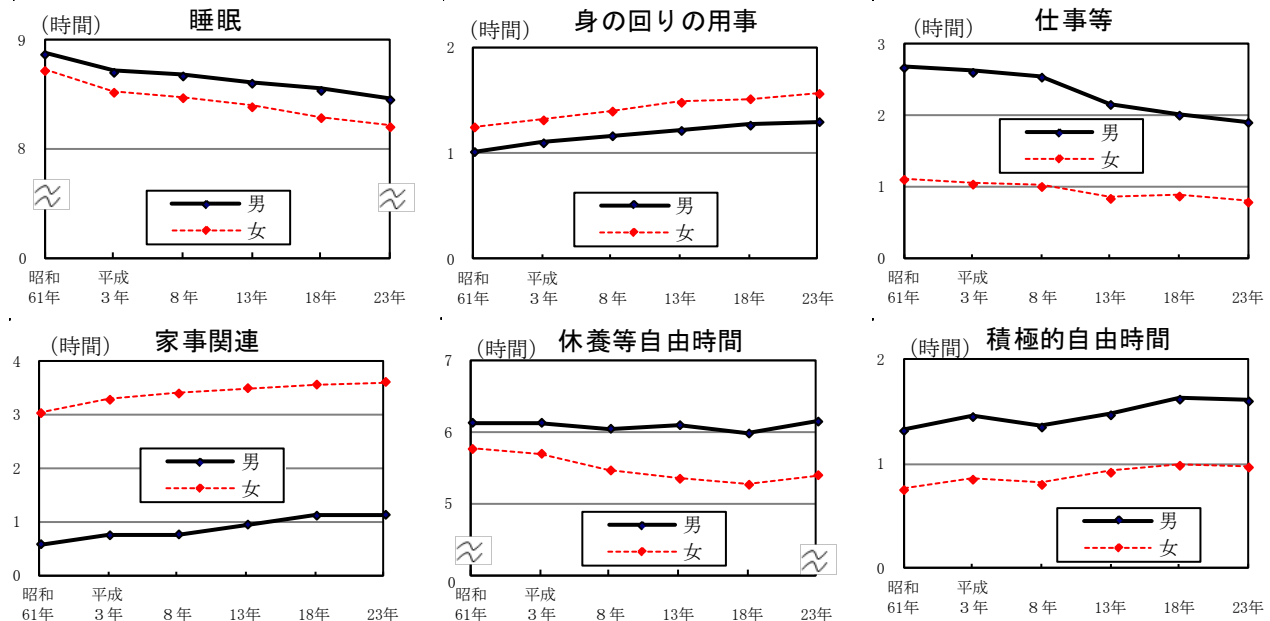
2次活動時間のうち仕事等の時間は、男性は減少が続き、女性は平成13年まで減少が続いていたが、18年で増加に転じ、23年は減少となっている。家事関連時間は、男女共に増加が続いている。

3次活動時間のうち休養等自由時間活動は、男性はおおむね横ばい、女性は減少が続いていたが、平成23年は増加に転じた。積極的自由時間活動は、男女共に増加傾向となっている。(表5-9、図5-6)

表5-9 男女、行動の種類別生活時間の推移(昭和61年~平成23年) 一週全体、65歳以上

	男						女					
	昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年
1次活動	11.47	11.44	11.49	11.48	11.46	11.43	11.50	11.47	11.52	11.50	11.48	11.45
睡眠	8.53	8.43	8.41	8.37	8.33	8.28	8.44	8.32	8.29	8.24	8.18	8.13
身の回りの用事	1.01	1.06	1.10	1.13	1.16	1.18	1.15	1.19	1.24	1.29	1.31	1.34
食事	1.52	1.54	1.58	1.58	1.58	1.57	1.52	1.56	1.59	1.57	1.59	1.58
2次活動	3.16	3.21	3.20	3.06	3.08	3.04	4.09	4.22	4.25	4.21	4.27	4.25
仕事等	2.41	2.37	2.33	2.10	2.01	1.55	1.07	1.03	1.01	0.51	0.53	0.48
家事関連	0.35	0.45	0.46	0.57	1.07	1.08	3.02	3.17	3.24	3.30	3.34	3.37
3次活動	8.57	8.55	8.51	9.06	9.06	9.13	8.01	7.51	7.43	7.49	7.46	7.50
休養等自由時間活動	6.08	6.08	6.03	6.06	5.59	6.09	5.46	5.42	5.28	5.21	5.16	5.24
積極的自由時間活動	1.20	1.28	1.22	1.29	1.38	1.37	0.46	0.52	0.49	0.56	1.00	0.59
他の3次活動	1.29	1.20	1.26	1.33	1.30	1.28	1.30	1.19	1.25	1.33	1.30	1.27

図5-6 男女、主な行動の種類別生活時間の推移(昭和61年~平成23年) 一週全体、65歳以上



②高齢者の3次活動時間は「子供のいない夫・妻」の夫が最も長い

高齢者について、生活時間をライフステージ別にみると¹⁾、1次活動時間は、男女共に「子供と同居のひとり親（子育て期以外）」が最も長く、男性が12時間15分、女性が12時間17分となっている。

2次活動時間は、男女共に「子供と同居の夫・妻（子育て期以外）」が最も長く、男性が3時間16分、女性が5時間29分となっている。また、2次活動時間のうち家事関連時間は、男性は「独身期」が最も長く、1時間40分となっている。女性は「子供のいない夫・妻」が最も長く、4時間29分となっている。仕事等の時間は、男女共に「子供と同居の夫・妻（子育て期以外）」が最も長く、男性が2時間17分、女性が1時間9分となっている。

3次活動時間は、男性は「子供のいない夫・妻」が最も長く、9時間24分となっている。女性は「子供と同居のひとり親（子育て期以外）」が最も長く、8時間42分となっている。（図5-7、図5-8、図5-9、表5-10）

図5-7 男女、ライフステージ別生活時間一週全体、65歳以上

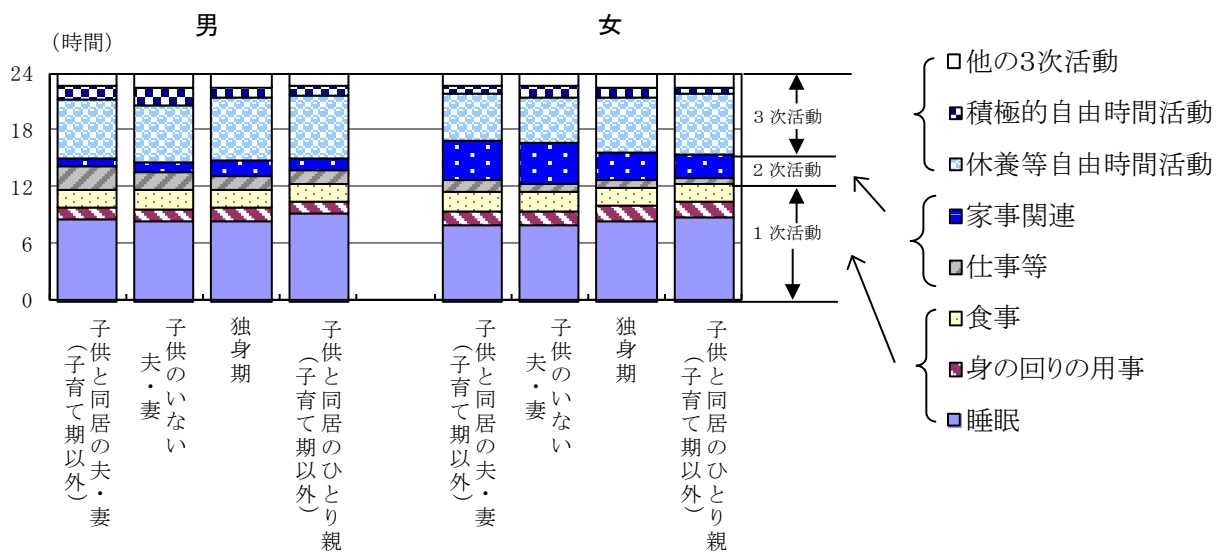


図5-8 男女、ライフステージ別人口 -65歳以上

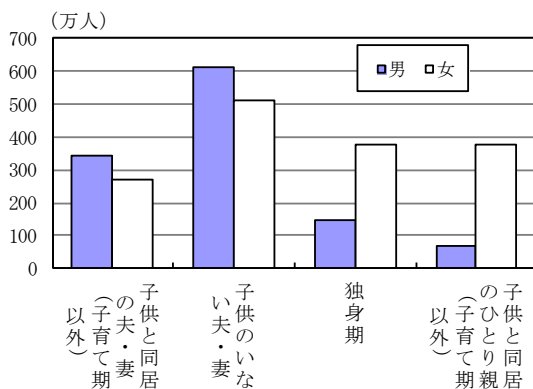
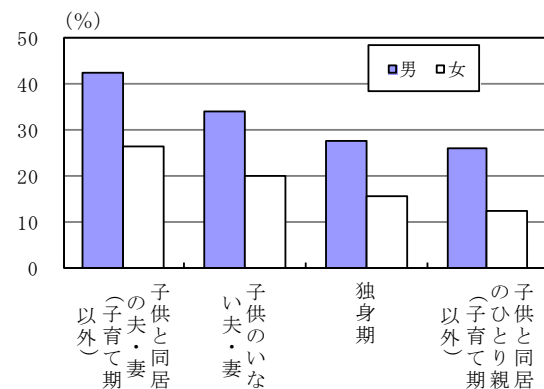


図5-9 男女、ライフステージ別有業率 -65歳以上



1) 高齢者人口が少ない子育て期（30歳未満の無業の子供と同居）を除く。

表5-10 男女、ライフステージ別生活時間一週全体、65歳以上

	総数	子供と同居の夫・妻（子育て期以外）	子供のいない夫・妻	独身期	子供と同居のひとり親（子育て期以外）
人口(千人)	12017	3438	6121	1491	660
人口構成比 (%)	100.0	28.6	50.9	12.4	5.5
有業率 (%)	35.6	42.6	34.3	27.6	26.0
	生活時間 (時間.分)				
1次活動	11.43	11.46	11.39	11.38	12.15
睡眠	8.28	8.33	8.23	8.27	9.05
身の回りの用事	1.18	1.18	1.17	1.20	1.15
食事	1.57	1.55	1.59	1.52	1.55
2次活動	3.04	3.16	2.57	3.05	2.42
仕事等	1.55	2.17	1.51	1.24	1.32
家事関連	1.08	0.58	1.05	1.40	1.10
3次活動	9.13	8.58	9.24	9.17	9.03
移動(通勤・通学を除く)	0.29	0.26	0.32	0.25	0.20
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	4.25	4.12	4.28	4.52	4.23
休養・くつろぎ	1.44	1.53	1.37	1.44	2.14
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.10	0.09	0.12	0.07	0.08
趣味・娯楽	0.56	0.55	1.00	0.49	0.42
スポーツ	0.24	0.20	0.29	0.15	0.16
ボランティア活動・社会参加活動	0.07	0.08	0.08	0.04	0.03
交際・付き合い	0.17	0.15	0.18	0.18	0.13
受診・療養	0.17	0.16	0.16	0.16	0.20
その他	0.25	0.23	0.26	0.27	0.23
(再掲)					
休養等自由時間活動	6.09	6.05	6.05	6.36	6.37
積極的自由時間活動	1.37	1.32	1.49	1.15	1.09
男					
人口(千人)	15588	2693	5125	3756	3776
人口構成比 (%)	100.0	17.3	32.9	24.1	24.2
有業率 (%)	18.3	26.6	20.0	15.8	12.3
	生活時間 (時間.分)				
1次活動	11.45	11.26	11.24	11.55	12.17
睡眠	8.13	7.59	7.54	8.15	8.47
身の回りの用事	1.34	1.29	1.27	1.44	1.37
食事	1.58	1.59	2.02	1.56	1.53
2次活動	4.25	5.29	5.20	3.45	3.01
仕事等	0.48	1.09	0.52	0.42	0.33
家事関連	3.37	4.21	4.29	3.04	2.28
3次活動	7.50	7.04	7.16	8.20	8.42
移動(通勤・通学を除く)	0.25	0.23	0.28	0.27	0.20
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	3.36	3.07	3.22	3.54	3.59
休養・くつろぎ	1.48	1.43	1.22	1.47	2.28
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.06	0.04	0.07	0.07	0.05
趣味・娯楽	0.36	0.36	0.40	0.37	0.31
スポーツ	0.12	0.09	0.16	0.14	0.07
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.05	0.07	0.05	0.03
交際・付き合い	0.20	0.18	0.20	0.27	0.16
受診・療養	0.20	0.17	0.15	0.20	0.27
その他	0.22	0.21	0.19	0.23	0.25
(再掲)					
休養等自由時間活動	5.24	4.50	4.44	5.41	6.27
積極的自由時間活動	0.59	0.54	1.10	1.03	0.46
女					

注) ライフステージの総数には、子育て期の夫・妻、子育て期のひとり親及びライフステージ不詳を含む。

③ 1日の大半を一人で過ごす単身高齢者

高齢者について、生活時間（睡眠時間を除く。以下同じ。）を一緒にいた人別にみると、家族¹⁾と一緒にいた時間は6時間46分（睡眠を除く生活時間の43.2%）、一人でいた時間は6時間38分（同42.3%）となっている。

高齢者のうち、単身高齢者についてみると、一人でいた時間が12時間（同76.5%）と1日の大半を占めている。

単身高齢者について、生活時間を子の有無・居住地別にみると、子供が近くに住んでいるほど、一人でいる時間が短く、家族と一緒にいた時間が長くなっている。（表5-11、図5-10、図5-11）

表5-11 子の有無・居住地、一緒にいた人別睡眠を除く生活時間及び割合一週全体、65歳以上

	時間（時間.分）					睡眠を除く生活時間に占める割合（%）			
	総数	一人で	家族	学校・職場の人	その他の人	一人で	家族	学校・職場の人	その他の人
高齢者	15.40	6.38	6.46	0.32	1.13	42.3	43.2	3.4	7.8
うち単身高齢者	15.41	12.00	1.00	0.27	1.31	76.5	6.4	2.9	9.7
（子の有無・居住地）									
子はいない	15.51	12.30	0.18	0.33	1.25	78.9	1.9	3.5	8.9
子がいる	15.38	11.52	1.12	0.25	1.33	75.9	7.7	2.7	9.9
同一敷地内	15.27	10.31	2.39	0.06	1.23	68.1	17.2	0.6	9.0
近所	15.35	12.10	1.06	0.18	1.39	78.1	7.1	1.9	10.6
同一市町村	15.38	12.13	0.51	0.28	1.31	78.1	5.4	3.0	9.7
他の地域	15.45	12.20	0.39	0.28	1.39	78.3	4.1	3.0	10.5

注) 一緒にいた人の総数には、一緒にいた人不詳の時間を含む。
一緒にいた人は複数回答あり。

図5-10 睡眠を除く生活時間に占める一人でいた時間の割合一週全体

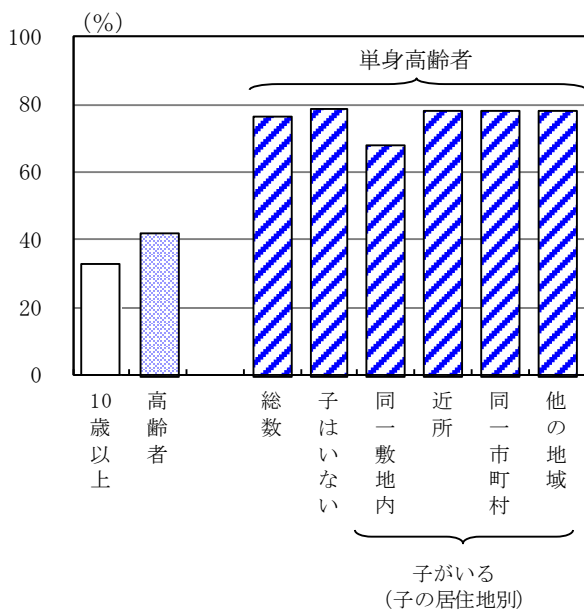
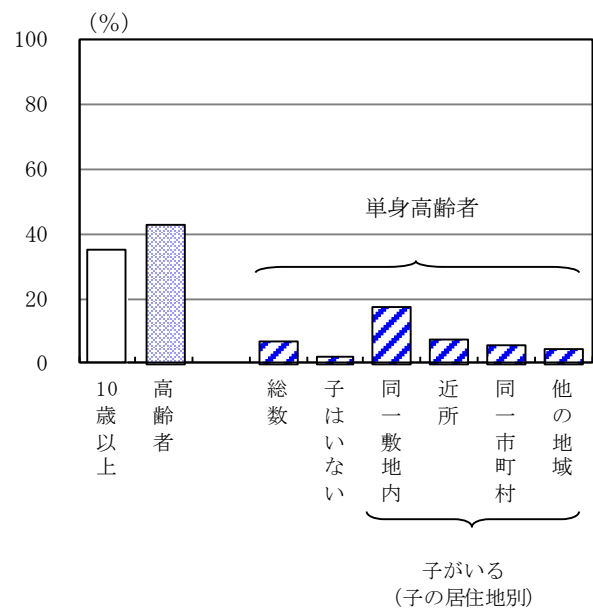


図5-11 睡眠を除く生活時間に占める家族と一緒にいた時間の割合一週全体



1) 世帯外の家族を含む。

(4) ふだん家族を介護している人

①介護者の約3割が50～59歳

15歳以上でふだん家族を介護している人¹⁾（以下「介護者」という。）は682万9千人で、男性が267万5千人、女性が415万4千人と女性が多くなっている。

年齢階級別にみると、50～59歳が最も多く、介護者全体の約3割を占めており、特に女性は50～69歳は全体の1割以上の人々がふだん家族の介護をしている。

介護者について、調査当日に実際に介護・看護を行った人の割合（行動者率）をみると、29.0%となっている。また、介護者の介護・看護時間をみると、介護者全体の平均時間（総平均時間）は40分、調査当日に実際に介護・看護を行った人の平均時間（行動者平均時間）は2時間19分となっている。

男女別にみると、行動者率、総平均時間、行動者平均時間のいずれも女性が男性を上回っており、介護者の介護・看護時間総量でみると、約7割を女性が担っている。（表5-12）

表5-12 男女、年齢階級別介護者数、介護者の介護・看護の行動者率、総平均時間、行動者平均時間及び時間総量一週全体、15歳以上

	介護者数			行動者率 (%)	総平均 時間 (時間.分)	行動者 平均時間 (時間.分)	時間総量	
	実数 (千人)	人口比 (%)	構成比 (%)				(万時間)	構成比 (%)
総数	6829	6.3	100.0	29.0	0.40	2.19	455	100.0
30歳未満	399	2.0	5.8	12.6	0.12	1.25	8	1.8
30～39歳	487	2.8	7.1	20.8	0.22	1.47	18	3.9
40～49歳	925	5.4	13.5	24.7	0.30	2.00	46	10.2
50～59歳	1989	12.6	29.1	27.3	0.35	2.07	116	25.5
60～69歳	1821	10.0	26.7	32.7	0.42	2.14	127	28.0
70歳以上	1208	6.1	17.7	38.4	1.10	3.01	141	31.0
男	2675	5.1	39.2	18.8	0.25	2.17	111	24.5
30歳未満	162	1.6	2.4	7.0	0.07	1.46	2	0.4
30～39歳	154	1.7	2.3	10.1	0.07	1.15	2	0.4
40～49歳	355	4.1	5.2	10.7	0.10	1.33	6	1.3
50～59歳	709	9.1	10.4	13.9	0.17	1.59	20	4.4
60～69歳	778	8.9	11.4	22.6	0.27	2.09	35	7.7
70歳以上	517	6.2	7.6	31.7	0.58	3.01	50	11.0
女	4154	7.5	60.8	35.6	0.49	2.20	339	74.5
30歳未満	237	2.5	3.5	16.5	0.16	1.23	6	1.4
30～39歳	333	3.8	4.9	25.7	0.28	1.51	16	3.4
40～49歳	570	6.7	8.3	33.5	0.42	2.05	40	8.8
50～59歳	1279	16.1	18.7	34.7	0.44	2.08	94	20.6
60～69歳	1043	11.1	15.3	40.2	0.54	2.17	94	20.6
70歳以上	691	6.0	10.1	43.4	1.19	3.02	91	20.0

注) 時間総量＝介護者数×総平均時間

1) ふだんの状態がはっきり決められない場合は、1年間に30日以上介護をしていれば「ふだん介護をしている」とした。

②介護者数及び介護・看護時間総量は増加が続き、一人当たり介護・看護時間は減少が続き

過去 20 年間の介護者数及び介護者の介護・看護時間の推移をみると、介護者数及び介護者の介護・看護時間総量は増加が続いているが、一人当たり介護・看護時間は減少となっている。(図 5-12, 図 5-13, 表 5-13, 表 5-14)

図 5-12 男女別介護者数の推移
(平成 3 年～23 年) -15 歳以上

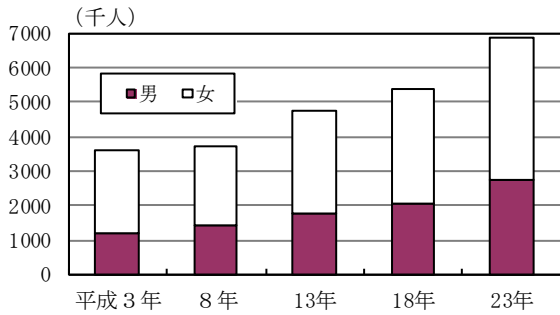


図 5-13 介護者の介護・看護時間の推移
(平成 3 年～23 年) 一週全体, 15 歳以上

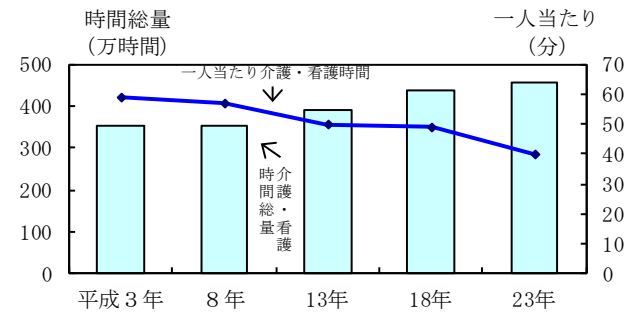


表 5-13 男女別介護者数の推移
(平成 3 年～23 年) -15 歳以上

	(千人)	
	男	女
平成 3 年	1123	2442
平成 8 年	1353	2349
平成 13 年	1721	2982
平成 18 年	2008	3329
平成 23 年	2675	4154

表 5-14 介護者の介護・看護時間の推移
(平成 3 年～23 年) 一週全体, 15 歳以上

	時間総量 (万時間)	一人当たり時間 (分)
平成 3 年	351	59
平成 8 年	352	57
平成 13 年	392	50
平成 18 年	436	49
平成 23 年	455	40

③介護支援の利用は大幅に上昇

介護者のうち、介護支援を利用している人は 200 万 9 千人で、介護者の約 3 割となっている。

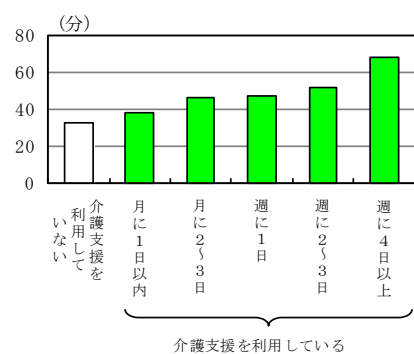
平成 18 年と比べると、37 万 1 千人の増加、増加率は 22.6%と大幅な上昇となっている。(表 5-15)

また、介護・看護時間を介護支援の利用の状況別にみると、利用頻度が多くなるほど、介護・看護時間は長くなっている。(図 5-14)

表 5-15 介護支援の利用の状況別介護者数
(平成 18 年, 23 年)

	実数				構成比	
	平成 18 年 (千人)	平成 23 年 (千人)	増加数 (千人)	増加率 (%)	平成 18 年 (%)	平成 23 年 (%)
総数	5336	6829	1493	28.0	100.0	100.0
介護支援を利用していない	3699	4820	1121	30.3	69.3	70.6
介護支援を利用している	1638	2009	371	22.6	30.7	29.4
(利用頻度)						
月に 1 日以内	34	49	15	44.1	0.6	0.7
月に 2～3 日	96	75	-21	-21.9	1.8	1.1
週に 1 日	249	255	6	2.4	4.7	3.7
週に 2～3 日	714	841	127	17.8	13.4	12.3
週に 4 日以上	546	789	243	44.5	10.2	11.6

図 5-14 介護支援の利用の状況別
介護者の介護・看護時間
一週全体



6 主な行動の平均時刻

(1) 起床

①全ての曜日で女性が男性より早起き

平均起床時刻¹⁾を曜日別にみると、平日が6時37分、土曜日が7時8分、日曜日が7時17分となっており、平日に比べ土曜日は31分、日曜日は40分遅くなっている。

男女別にみると、全ての曜日で女性が早くなっている。

また、15歳以上の人についてふだんの就業状態別にみると、男性は平日で有業者が無業者より早く、土曜日及び日曜日では無業者が早くなっている。女性は全ての曜日で無業者が早くなっている。

平均起床時刻を平成18年と比べると、男女共に平日及び日曜日で早くなっており、土曜日で遅くなっている。(表6-1)

年齢階級別にみると、男女共に全ての曜日で20～24歳が最も遅くなっている。(表6-2)

表6-1 男女、ふだんの就業状態、曜日別平均起床時刻及び起床行動者率(平成18年、23年)

		平成18年						平成23年					
		平均時刻(時:分)			行動者率(%)			平均時刻(時:分)			行動者率(%)		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	総数	6:39	7:07	7:23	99.5	99.3	99.4	6:37	7:08	7:17	99.4	99.4	99.5
	男	6:47	7:17	7:32	99.3	99.0	99.2	6:46	7:19	7:28	99.0	99.1	99.3
	女	6:30	6:57	7:14	99.7	99.6	99.6	6:28	6:59	7:07	99.7	99.7	99.7
有業者	総数	6:39	7:10	7:29	99.3	99.0	99.2	6:38	7:12	7:25	99.0	99.1	99.3
	男	6:45	7:18	7:34	99.1	98.7	99.0	6:46	7:20	7:33	98.6	98.8	99.1
	女	6:31	7:00	7:22	99.6	99.4	99.4	6:28	7:02	7:14	99.5	99.5	99.5
無業者	総数	6:37	6:57	7:07	99.8	99.8	99.7	6:35	6:59	7:03	99.9	99.7	99.7
	男	6:53	7:13	7:24	99.7	99.8	99.7	6:48	7:13	7:17	99.9	99.6	99.7
	女	6:28	6:50	7:00	99.9	99.8	99.6	6:27	6:51	6:56	99.9	99.8	99.8

注) 有業者及び無業者は15歳未満を除く。

表6-2 男女、年齢階級、曜日別平均起床時刻及び起床行動者率

	平均時刻(時:分)						行動者率(%)					
	男			女			男			女		
	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	6:46	7:19	7:28	6:28	6:59	7:07	99.0	99.1	99.3	99.7	99.7	99.7
10～14歳	6:41	7:22	7:27	6:35	7:37	7:43	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	6:59	8:17	8:30	6:50	8:04	8:15	99.4	99.7	99.4	99.9	99.8	99.8
20～24歳	8:08	9:10	8:56	7:42	8:24	8:34	98.5	97.9	99.4	98.6	99.1	99.0
25～29歳	7:32	8:29	8:45	7:02	7:59	8:08	97.5	97.6	99.3	99.5	99.5	99.2
30～34歳	7:27	8:03	8:29	6:50	7:25	7:45	98.1	98.5	98.2	99.7	99.3	98.6
35～39歳	6:59	7:36	7:56	6:28	7:12	7:20	97.9	98.6	99.2	99.4	99.6	99.6
40～44歳	6:45	7:26	7:33	6:12	6:56	7:06	98.9	98.7	99.1	99.5	99.3	100.0
45～49歳	6:35	7:11	7:24	6:07	6:41	6:53	98.8	98.7	99.3	99.6	99.7	99.9
50～54歳	6:38	6:57	7:01	6:10	6:36	6:47	99.0	99.3	98.8	99.8	99.7	99.8
55～59歳	6:16	6:44	7:05	6:08	6:29	6:46	99.2	99.2	99.2	99.9	99.7	99.9
60～64歳	6:19	6:35	6:36	6:11	6:26	6:36	99.7	99.4	99.2	99.7	99.6	99.8
65～69歳	6:17	6:25	6:34	6:09	6:24	6:21	99.8	99.6	100.0	99.9	99.9	99.7
70～74歳	6:13	6:26	6:33	6:13	6:19	6:21	99.7	99.8	99.8	99.8	99.9	100.0
75歳以上	6:27	6:31	6:32	6:28	6:33	6:32	99.8	99.8	100.0	100.0	99.9	99.9

1) 12時前に始まり、60分を超えて続く最初の睡眠の終了時刻(平均時刻に関する集計上の定義の詳細は「用語と分類」119、120頁参照)

②起床した人の割合が最も高い時刻は、平日が6時、土曜日及び日曜日が7時

起床した人について、行動者割合を曜日、起床時刻別にみると、平日が6時、土曜日及び日曜日が7時で最も高くなっている。(図6-1)

また、起床した人が5割を超える時刻は平日が6時30分、土曜日及び日曜日が7時、8割を超える時刻は平日が7時15分、土曜日が8時、日曜日が8時30分となっている。(図6-2)

図6-1 曜日、起床時刻別行動者割合

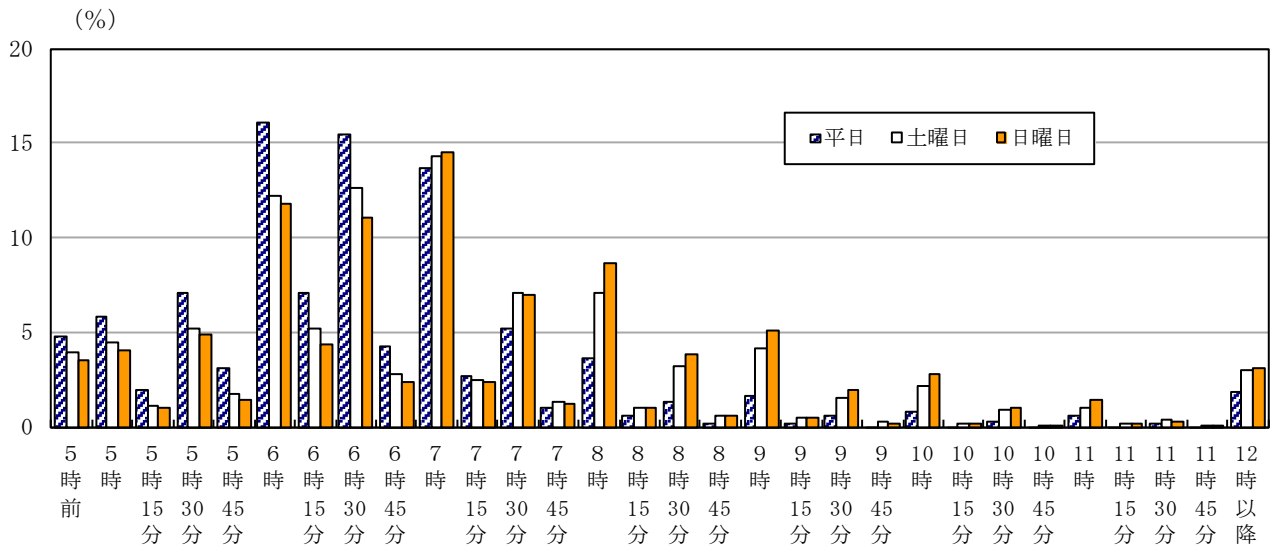
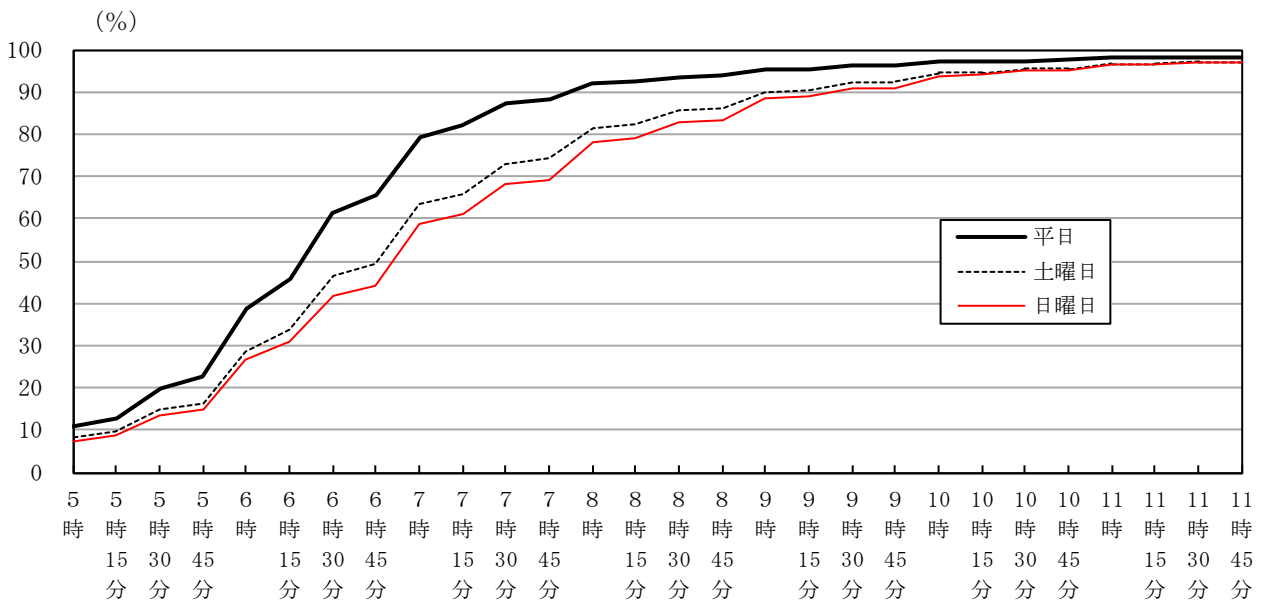


図6-2 曜日、起床時刻別累積行動者割合



(2) 朝食開始

全ての曜日で男性が女性より早い

平均朝食開始時刻¹⁾を曜日別にみると、平日が7時10分、土曜日が7時33分、日曜日が7時41分となっており、平日に比べ土曜日は23分、日曜日は31分遅くなっている。

男女別にみると、全ての曜日で男性が早くなっている。

また、15歳以上の人についてふだんの就業状態別にみると、男女共に平日及び土曜日で有業者が無業者より早く、日曜日では無業者が早くなっている。

なお、朝食を開始した人の割合（行動者率）は平日が84.0%、土曜日が82.0%、日曜日が82.5%となっており、平日に比べ土曜日及び日曜日で低くなっている。

平均朝食開始時刻を平成18年と比べると、男女共に平日及び日曜日で早くなっている。（表6-3）

年齢階級別にみると、男女共に全ての曜日で20～24歳が最も遅くなっている。（表6-4）

表6-3 男女、ふだんの就業状態、曜日別平均朝食開始時刻及び朝食開始行動者率（平成18年、23年）

		平成18年						平成23年					
		平均時刻（時：分）			行動者率（%）			平均時刻（時：分）			行動者率（%）		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	総数	7:12	7:33	7:46	85.1	82.4	81.9	7:10	7:33	7:41	84.0	82.0	82.5
	男	7:07	7:30	7:44	81.8	78.9	79.2	7:05	7:31	7:38	80.7	78.8	79.4
	女	7:17	7:35	7:48	88.2	85.7	84.5	7:15	7:35	7:43	87.2	85.1	85.4
有業者	総数	7:07	7:30	7:47	80.9	78.1	78.2	7:04	7:31	7:41	78.9	77.3	78.2
	男	7:01	7:28	7:45	78.2	75.6	76.5	6:59	7:30	7:38	76.1	74.9	76.0
	女	7:13	7:33	7:50	84.5	81.6	80.6	7:11	7:34	7:45	82.6	80.6	81.1
無業者	総数	7:23	7:35	7:42	90.8	88.8	87.3	7:22	7:35	7:39	90.6	88.7	88.3
	男	7:23	7:34	7:41	89.3	86.6	85.4	7:21	7:34	7:37	89.5	86.7	86.6
	女	7:23	7:36	7:43	91.5	89.8	88.2	7:22	7:35	7:40	91.2	89.7	89.2

注) 有業者及び無業者は15歳未満を除く。

表6-4 男女、年齢階級、曜日別平均朝食開始時刻及び朝食開始行動者率

	平均時刻（時：分）						行動者率（%）					
	男			女			男			女		
	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	7:05	7:31	7:38	7:15	7:35	7:43	80.7	78.8	79.4	87.2	85.1	85.4
10～14歳	6:54	7:38	7:43	6:50	7:48	8:03	97.0	90.6	89.0	94.7	87.6	89.8
15～19歳	7:00	7:49	8:05	6:59	7:53	8:06	83.9	73.9	74.6	85.9	75.1	74.5
20～24歳	7:35	8:02	8:05	7:39	8:07	8:10	65.5	52.4	58.0	71.1	63.4	63.6
25～29歳	7:18	7:57	7:53	7:27	8:02	8:05	62.6	59.4	59.6	76.7	70.7	69.6
30～34歳	7:16	7:48	7:58	7:29	7:53	8:07	64.8	62.9	63.1	80.1	77.9	74.4
35～39歳	7:04	7:43	7:54	7:14	7:45	8:01	70.3	69.2	71.5	82.9	80.8	78.2
40～44歳	6:59	7:38	7:49	7:09	7:40	7:51	71.2	72.7	73.5	84.5	83.3	83.7
45～49歳	6:53	7:33	7:43	7:11	7:32	7:52	76.9	78.4	78.8	83.6	84.8	85.5
50～54歳	6:53	7:24	7:30	7:09	7:28	7:38	80.7	80.4	83.0	86.0	86.9	87.9
55～59歳	6:49	7:19	7:33	7:10	7:23	7:36	85.4	85.9	84.0	88.8	88.9	90.4
60～64歳	7:00	7:16	7:18	7:11	7:22	7:29	90.1	89.1	90.3	90.4	91.2	91.6
65～69歳	7:08	7:14	7:23	7:13	7:21	7:23	91.9	92.5	93.7	94.0	92.2	94.2
70～74歳	7:10	7:17	7:20	7:17	7:19	7:19	94.4	94.9	92.1	95.0	95.0	95.9
75歳以上	7:19	7:23	7:23	7:25	7:27	7:29	95.6	95.9	95.5	95.6	95.1	96.7

1) 4時以降、11時前に始まる最初の食事開始時刻

(3) 夕食開始

全ての曜日で女性が男性より早い

平均夕食開始時刻¹⁾を曜日別にみると、平日が19時6分、土曜日が18時51分、日曜日が18時44分となっており、平日に比べ土曜日は15分、日曜日は22分早くなっている。

男女別にみると、全ての曜日で女性が早くなっている。

また、15歳以上の人についてふだんの就業状態別にみると、男女共に全ての曜日で無業者が有業者より早くなっている。

なお、夕食を開始した人の割合（行動者率）は平日が90.8%、土曜日が89.8%、日曜日が91.9%となっており、平日に比べ土曜日で低く、日曜日で高くなっている。

平均夕食開始時刻を平成18年と比べると、男女共に全ての曜日で早くなっている。（表6-5）

年齢階級別にみると、男性は平日が40～44歳、土曜日及び日曜日が25～29歳、女性は全ての曜日で20～24歳が最も遅くなっている。（表6-6）

表6-5 男女、ふだんの就業状態、曜日別平均夕食開始時刻及び夕食開始行動者率（平成18年、23年）

		平成18年						平成23年					
		平均時刻（時：分）			行動者率（%）			平均時刻（時：分）			行動者率（%）		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	総数	19:09	18:53	18:46	90.9	90.2	92.4	19:06	18:51	18:44	90.8	89.8	91.9
	男	19:21	18:59	18:50	89.8	89.3	91.4	19:17	18:56	18:49	89.7	88.9	91.0
	女	18:58	18:48	18:42	92.0	91.1	93.3	18:55	18:45	18:41	91.8	90.7	92.7
有業者	総数	19:28	19:05	18:55	88.2	87.5	90.7	19:25	19:03	18:54	87.9	87.0	89.8
	男	19:37	19:08	18:57	87.7	87.2	90.2	19:34	19:06	18:55	87.4	86.8	89.4
	女	19:16	19:01	18:51	88.8	87.9	91.4	19:14	18:59	18:52	88.4	87.2	90.5
無業者	総数	18:40	18:35	18:32	95.0	94.3	94.7	18:36	18:32	18:31	94.7	93.8	94.6
	男	18:42	18:36	18:33	94.4	94.6	94.3	18:38	18:34	18:33	94.2	93.3	94.4
	女	18:39	18:35	18:32	95.3	94.2	95.0	18:36	18:32	18:29	94.9	94.0	94.8

注) 有業者及び無業者は15歳未満を除く。

表6-6 男女、年齢階級、曜日別平均夕食開始時刻及び夕食開始行動者率

	平均時刻（時：分）						行動者率（%）					
	男			女			男			女		
	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	19:17	18:56	18:49	18:55	18:45	18:41	89.7	88.9	91.0	91.8	90.7	92.7
10～14歳	19:04	18:46	18:47	18:59	18:48	18:47	96.7	95.1	96.1	96.1	94.9	94.7
15～19歳	19:28	19:11	19:04	19:19	19:09	19:00	91.3	90.5	90.7	89.9	89.2	87.1
20～24歳	19:40	19:24	19:12	19:31	19:23	19:06	82.5	78.7	83.6	82.0	80.9	80.8
25～29歳	19:45	19:27	19:17	19:21	19:09	19:02	84.9	83.0	84.6	87.2	83.1	91.5
30～34歳	19:43	19:21	18:54	19:12	18:53	18:49	87.4	85.5	84.7	87.9	87.7	91.3
35～39歳	19:52	19:09	19:02	19:05	18:49	18:47	87.0	86.5	91.6	91.4	89.7	94.3
40～44歳	19:53	19:10	19:04	19:08	18:55	18:46	87.2	87.9	91.9	91.3	89.9	92.1
45～49歳	19:51	19:07	18:55	19:13	19:00	18:55	88.9	88.4	90.0	91.8	90.6	95.6
50～54歳	19:32	19:10	18:53	19:11	18:55	18:49	88.8	88.8	93.0	92.2	91.3	94.1
55～59歳	19:17	18:54	18:47	18:57	18:45	18:41	89.6	89.6	89.9	92.0	91.6	93.7
60～64歳	18:52	18:42	18:32	18:44	18:37	18:29	91.0	90.1	93.7	92.7	92.1	92.5
65～69歳	18:38	18:30	18:30	18:31	18:27	18:26	91.7	91.2	93.1	92.7	92.2	93.1
70～74歳	18:25	18:23	18:25	18:24	18:23	18:24	92.1	93.5	94.4	96.0	93.2	94.5
75歳以上	18:16	18:16	18:17	18:19	18:18	18:15	95.9	95.5	95.2	96.0	96.0	96.0

1) 16時以降、24時（翌日0時）前に始まる最初の食事開始時刻

(4) 就寝

①平日及び土曜日は女性が早く、日曜日は男性が早い

平均就寝時刻¹⁾を曜日別にみると、平日が23時15分、土曜日が23時17分、日曜日が23時6分となっており、平日に比べ土曜日は2分遅く、日曜日は9分早くなっている。

男女別にみると、平日及び土曜日は女性が早く、日曜日は男性が早くなっている。

また、15歳以上の人についてふだんの就業状態別にみると、男女共に全ての曜日で無業者が有業者より早くなっている。

平均就寝時刻を平成18年と比べると、男女共に土曜日で早くなっており、日曜日で遅くなっている。(表6-7)

年齢階級別にみると、男女共に全ての曜日で20～24歳が最も遅くなっており、これより年齢階級が低くなるほど及び高くなるほど早くなる傾向となっている。(表6-8)

表6-7 男女、ふだんの就業状態、曜日別平均就寝時刻及び就寝行動者率(平成18年、23年)

		平成18年						平成23年					
		平均時刻(時:分)			行動者率(%)			平均時刻(時:分)			行動者率(%)		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	総数	23:16	23:20	23:04	99.5	99.5	99.5	23:15	23:17	23:06	99.5	99.5	99.5
	男	23:19	23:23	23:03	99.2	99.4	99.4	23:19	23:19	23:06	99.3	99.3	99.3
	女	23:13	23:18	23:05	99.7	99.6	99.7	23:11	23:15	23:07	99.7	99.6	99.8
有業者	総数	23:33	23:38	23:16	99.2	99.3	99.4	23:35	23:35	23:20	99.3	99.2	99.3
	男	23:33	23:37	23:12	99.0	99.2	99.3	23:37	23:34	23:17	99.1	99.1	99.1
	女	23:34	23:39	23:21	99.5	99.4	99.5	23:32	23:36	23:24	99.5	99.5	99.7
無業者	総数	22:53	22:58	22:50	99.8	99.8	99.8	22:50	22:54	22:52	99.9	99.8	99.8
	男	22:50	22:53	22:46	99.6	99.7	99.7	22:47	22:50	22:48	99.8	99.7	99.8
	女	22:55	23:00	22:53	99.9	99.9	99.9	22:52	22:55	22:54	99.9	99.8	99.8

注) 有業者及び無業者は15歳未満を除く。

表6-8 男女、年齢階級、曜日別平均就寝時刻及び就寝行動者率

	平均時刻(時:分)						行動者率(%)					
	男			女			男			女		
	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	23:19	23:19	23:06	23:11	23:15	23:07	99.3	99.3	99.3	99.7	99.6	99.8
10～14歳	22:18	22:27	22:10	22:30	22:37	22:25	100.0	99.9	100.0	99.8	100.0	99.9
15～19歳	23:47	24:00	23:43	23:49	23:57	23:38	99.4	99.5	99.9	99.8	99.9	99.6
20～24歳	24:42	24:57	24:26	24:19	24:29	24:07	98.7	97.8	98.7	99.4	98.8	99.3
25～29歳	24:21	24:39	24:08	23:53	24:05	23:49	98.6	98.3	99.8	99.7	99.2	99.7
30～34歳	24:15	24:05	23:42	23:39	23:41	23:31	98.9	98.5	97.7	99.3	99.7	99.7
35～39歳	24:00	23:55	23:44	23:28	23:34	23:22	98.9	99.3	98.5	99.7	99.5	99.9
40～44歳	23:51	23:41	23:21	23:28	23:37	23:28	98.7	99.3	99.4	99.7	99.3	99.7
45～49歳	23:42	23:37	23:24	23:40	23:42	23:29	99.2	99.2	99.0	99.7	99.5	99.7
50～54歳	23:37	23:24	23:06	23:35	23:36	23:24	99.5	99.3	99.3	99.3	99.7	99.7
55～59歳	23:05	23:06	23:00	23:21	23:17	23:17	99.4	99.5	99.4	99.8	99.9	99.8
60～64歳	22:47	22:42	22:34	23:00	23:05	23:02	99.7	99.7	99.3	99.9	99.8	99.9
65～69歳	22:28	22:27	22:28	22:46	22:44	22:48	99.7	99.7	100.0	99.9	99.7	99.9
70～74歳	22:10	22:15	22:12	22:34	22:33	22:28	99.9	99.8	99.8	99.9	99.9	100.0
75歳以上	21:48	21:47	21:49	21:54	21:59	21:59	99.8	99.9	99.9	99.9	99.9	99.7

1) 17時以降、36時(翌日12時)前に始まり、60分を超えて続く睡眠の開始時刻

②就寝した人の割合が最も高い時刻は、全ての曜日で23時

就寝した人について、行動者割合を曜日、就寝時刻別にみると、全ての曜日で23時が最も高くなっている。(図6-3)

また、就寝した人が5割を超える時刻は、全ての曜日で23時となっており、8割を超える時刻は全ての曜日で翌日の0時となっている。(図6-4)

図6-3 曜日、就寝時刻別行動者割合

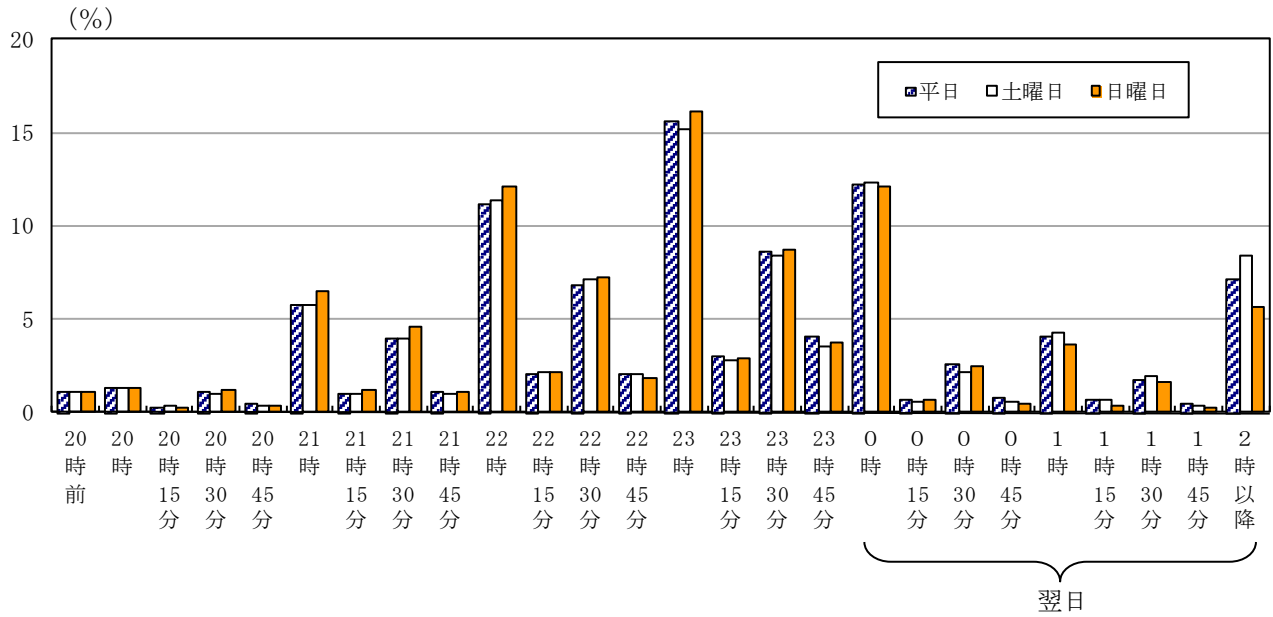
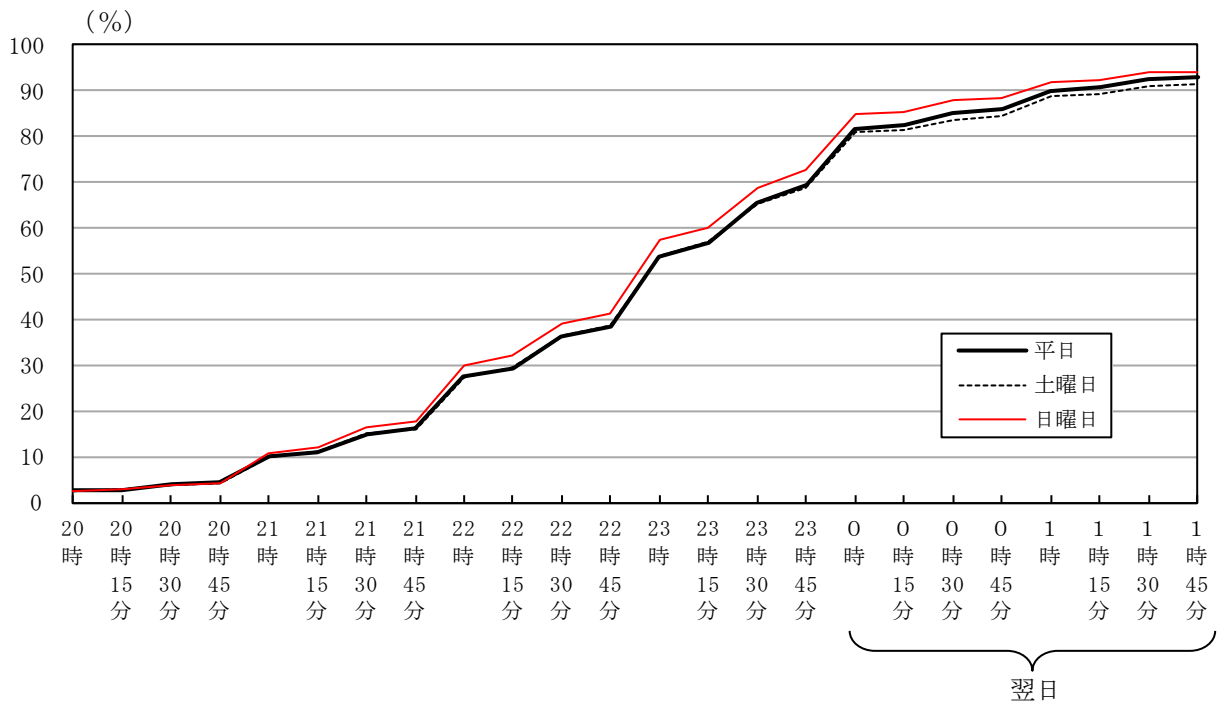


図6-4 曜日、就寝時刻別累積行動者割合



(5) 出勤及び仕事からの帰宅

①平日の有業者の平均出勤時刻は8時26分

平日における有業者の平均出勤時刻¹⁾は8時26分で、男性は8時6分、女性は8時55分と男性が女性より早くなっている。

主な従業上の地位、雇用形態別にみると、男女共に正規の職員・従業員が最も早く、アルバイトで最も遅くなっている。

職業別にみると、男性が建設・採掘従事者、女性が保安職業従事者で最も早く、男女共にサービス職業従事者で最も遅くなっている。(表6-9)

②平日の有業者の仕事からの平均帰宅時刻は18時56分

平日における有業者の仕事からの平均帰宅時刻²⁾は18時56分で、男性は19時37分、女性は17時56分と女性が男性より早くなっている。

主な従業上の地位、雇用形態別にみると、男女共にパートが最も早く、男性が正規の職員・従業員、女性が雇人のある業主で最も遅くなっている。

職業別にみると、男性が農林漁業従事者、女性が運搬・清掃・包装等従事者で最も早く、男性がサービス職業従事者、女性が保安職業従事者で最も遅くなっている。(表6-9)

表6-9 男女、主な従業上の地位、雇用形態・職業別平均出勤時刻、仕事からの平均帰宅時刻及び出勤・帰宅行動者率—平日、有業者

	平均出勤時刻 (時:分)			仕事からの平均帰宅時刻 (時:分)			行動者率 (%)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	8:26	8:06	8:55	18:56	19:37	17:56	84.7	88.6	79.5
(従業上の地位、雇用形態)									
雇用されている人	8:21	8:05	8:44	19:07	19:55	18:01	84.5	88.3	79.9
うち正規の職員・従業員	7:53	7:48	8:07	19:48	20:05	19:01	90.8	92.4	86.8
パート	8:56	8:36	8:58	16:48	17:57	16:40	78.2	77.2	78.3
アルバイト	11:04	11:06	11:01	19:16	19:53	18:38	60.0	61.6	58.3
契約社員	8:26	8:34	8:19	19:12	19:56	18:25	86.2	87.8	84.7
嘱託	8:02	7:51	8:24	18:22	18:33	18:00	85.6	87.2	82.8
労働者派遣事業所の派遣社員	8:29	8:32	8:27	18:57	19:57	18:21	82.7	80.7	84.0
会社などの役員	8:07	7:49	9:18	18:31	18:48	17:23	90.2	93.4	79.6
雇人のある業主	8:26	8:01	10:43	19:08	19:03	19:36	92.9	94.2	86.4
雇人のない業主	8:56	8:27	10:45	18:20	18:21	18:17	84.6	87.0	76.7
(職業)									
管理的職業従事者	7:56	7:48	9:08	18:53	18:57	18:24	89.3	91.4	74.4
専門的・技術的職業従事者	8:25	8:05	8:54	19:30	20:00	18:48	86.5	91.0	80.8
事務従事者	8:09	7:41	8:28	18:39	19:35	18:01	86.6	91.0	83.8
販売従事者	8:44	8:18	9:23	19:12	19:49	18:14	80.7	85.8	74.0
サービス職業従事者	9:52	10:00	9:48	19:24	21:24	18:20	75.6	78.9	74.0
保安職業従事者	8:01	8:03	7:30	20:25	20:31	19:04	80.9	81.0	79.6
農林漁業従事者	8:07	7:49	8:40	16:52	17:05	16:28	84.3	86.8	80.2
生産工程従事者	8:23	8:21	8:28	19:02	19:43	17:18	90.7	92.3	87.0
輸送・機械運転従事者	7:49	7:50	7:32	20:06	20:08	18:30	85.5	85.4	90.8
建設・採掘従事者	7:10	7:10	7:41	18:50	18:51	16:56	93.7	93.9	80.4
運搬・清掃・包装等従事者	8:03	7:44	8:24	17:16	18:29	15:54	82.7	85.4	79.8

1) 0時15分以降、24時(翌日0時)前に始まる最初の仕事の前にある通勤・通学の開始時刻

2) 0時15分以降、24時(翌日0時)前に始まる最後の仕事の後にある通勤・通学の終了時刻

③正規の職員・従業員の出勤時刻別の行動者割合は7時台が最も高く、次いで8時台が高い

有業者のうち雇用されている人について、行動者割合を雇用形態、平日の出勤時刻別にみると、正規の職員・従業員は7時台が最も高く、次いで8時台などとなっている。パートは8時台が最も高くなっており、正規の職員・従業員に比べ遅くなっている。アルバイトは8時台が最も高くなっているが、午後からの出勤も含め、広い時間帯に分散している。契約社員、嘱託及び労働者派遣事業所の派遣社員は、正規の職員・従業員と同様に7時台が最も高く、次いで8時台などとなっている。

(図6-5、表6-10)

図6-5 雇用形態、出勤時刻別行動者割合—平日、雇用されている人

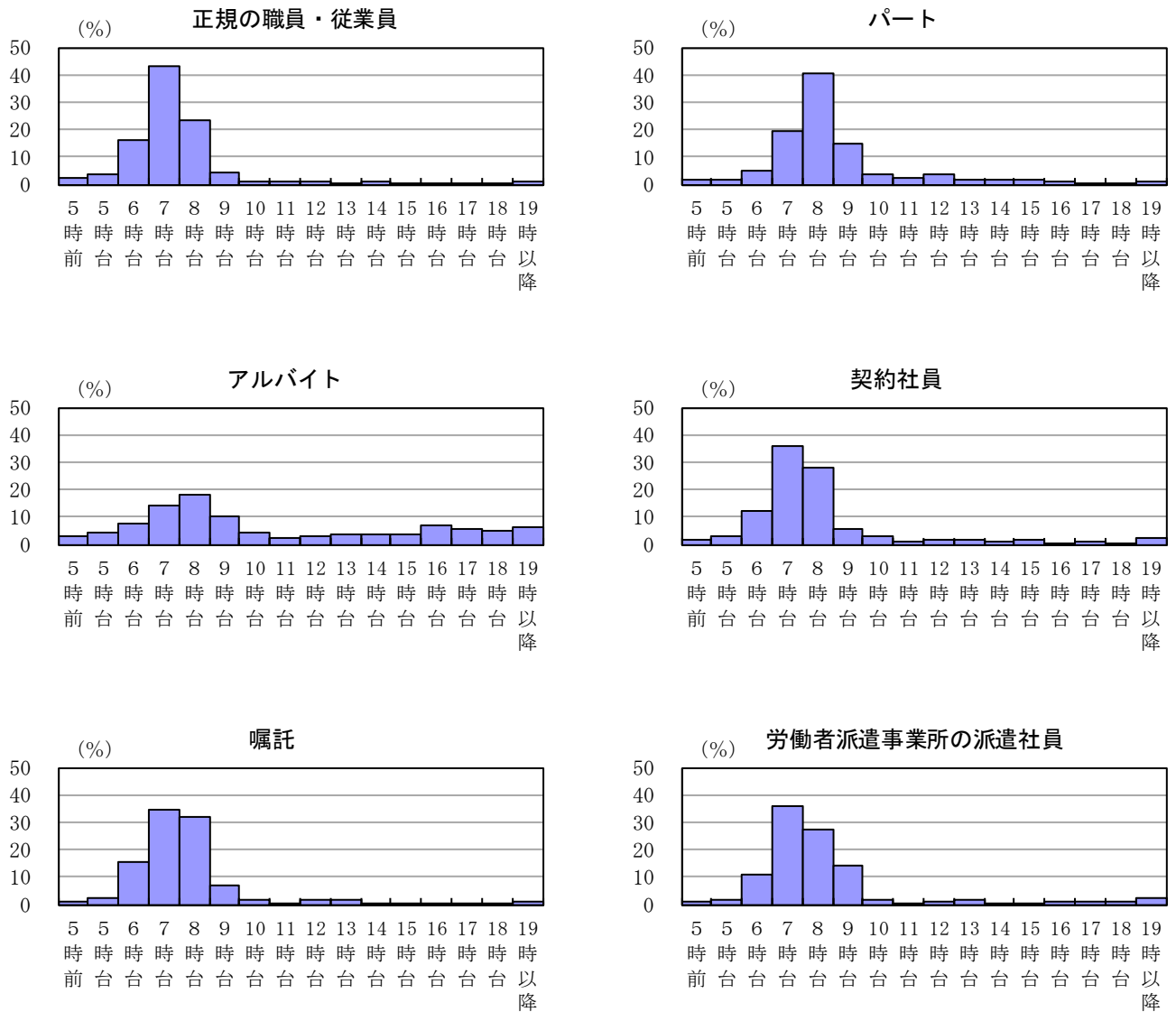


表6-10 雇用形態、出勤時刻別行動者割合—平日、雇用されている人

	(%)															
	5時前	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降
(雇用形態)																
正規の職員・従業員	2.21	3.51	16.11	43.15	23.40	4.10	1.28	0.80	0.86	0.62	0.77	0.65	0.51	0.30	0.45	1.29
パート	1.51	1.91	5.00	19.12	40.48	14.58	3.67	2.11	3.92	1.67	1.86	1.70	0.90	0.46	0.42	0.68
アルバイト	2.66	4.19	7.69	13.82	18.32	10.08	4.29	2.25	2.79	3.42	3.43	3.64	7.19	5.34	4.97	5.93
契約社員	1.48	3.15	12.05	36.18	27.88	5.87	2.64	0.99	1.51	1.70	1.17	1.83	0.58	0.66	0.34	1.98
嘱託	1.26	2.32	15.64	34.60	31.65	6.82	1.46	0.65	1.33	1.81	0.59	0.20	0.08	0.30	0.14	1.16
労働者派遣事業所の派遣社員	0.93	1.35	10.77	35.59	27.39	14.18	1.48	0.38	0.85	1.37	0.62	0.09	1.07	1.21	0.71	1.98

④仕事からの帰宅時刻は広い時間帯に分散

有業者のうち雇用されている人について、行動者割合を雇用形態、平日の帰宅時刻別にみると、正規の職員・従業員は18時台が最も高く、次いで19時台などとなっている。パートは17時台が最も高く、次いで14時前などとなっており、比較的早い時間帯となっている。アルバイトは17時台が最も高くなっており、14時前及び2時以降を含め広い時間帯に分散している。契約社員、嘱託及び労働者派遣事業所の派遣社員は、正規の職員・従業員と同様に18時台が最も高く、次に高いのは17時台などとなっている。

なお、いずれの雇用形態も出勤時刻に比べ広い時間帯に分散している。(図6-6, 表6-11)

図6-6 雇用形態、仕事からの帰宅時刻別行動者割合—平日、雇用されている人

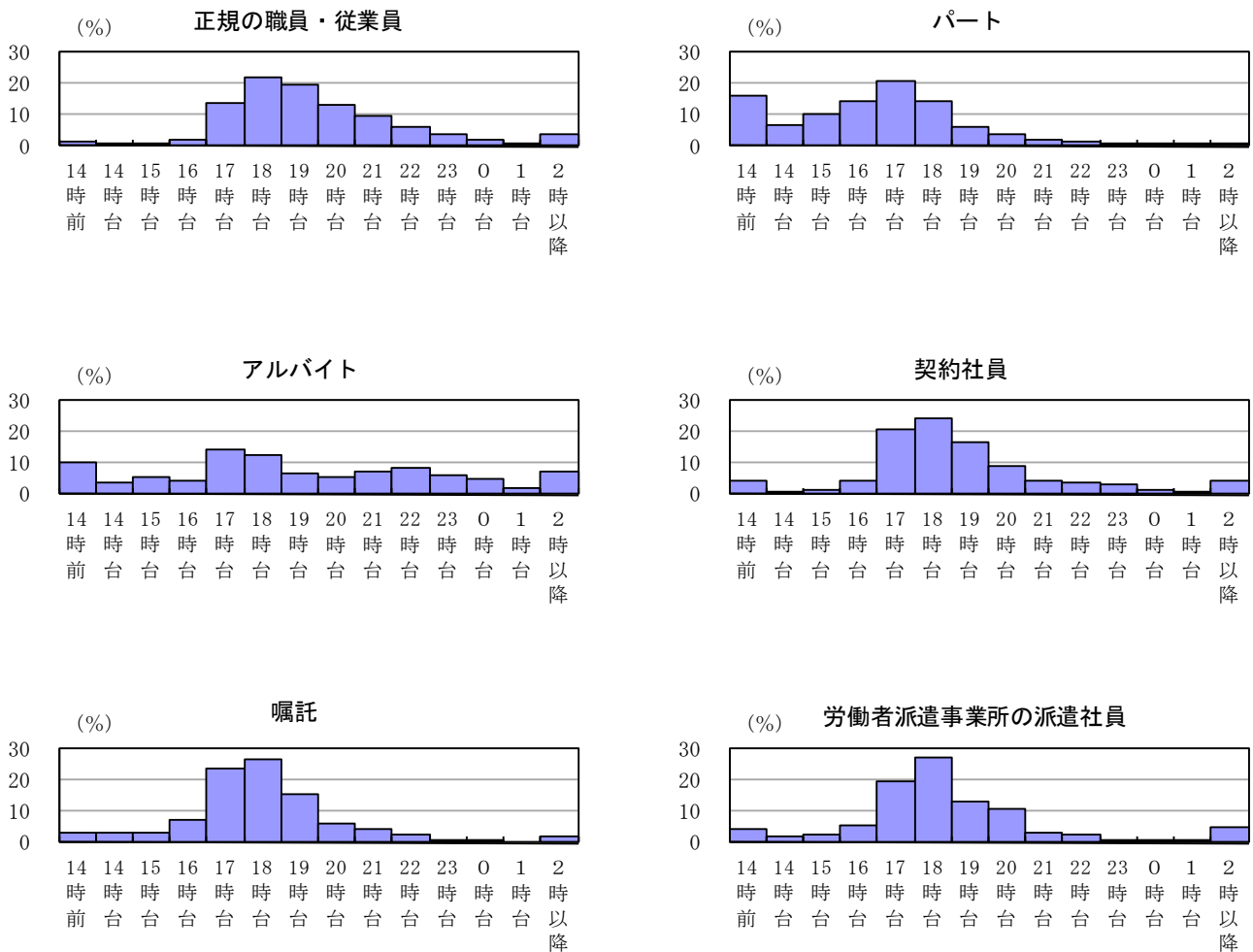


表6-11 雇用形態、仕事からの帰宅時刻別行動者割合—平日、雇用されている人

	(%)													
(雇用形態)	14時前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台	0時台	1時台	2時以降
正規の職員・従業員	1.76	0.33	0.89	2.27	13.69	22.03	19.67	13.23	9.49	6.45	3.58	1.95	0.86	3.68
パート	16.03	6.90	10.15	14.31	21.11	14.18	6.38	3.71	2.02	1.76	1.11	0.77	0.37	1.07
アルバイト	10.46	3.93	5.40	4.44	14.21	12.38	6.72	5.87	7.49	8.52	6.04	4.82	2.03	7.13
契約社員	4.15	0.31	1.74	4.25	20.80	24.23	16.80	9.14	4.28	4.09	3.21	1.73	0.77	4.30
嘱託	3.00	3.03	3.52	7.28	24.02	26.88	15.64	6.00	4.24	2.44	1.17	0.58	0.00	2.23
労働者派遣事業所の派遣社員	4.17	2.34	2.78	5.88	19.54	27.46	13.45	10.66	3.45	2.78	1.08	0.82	0.65	4.90

7 地域別にみた生活時間・平均時刻

(1) 1次活動

睡眠時間が長い東北地方

睡眠時間を都道府県別にみると、秋田県が8時間2分と最も長く、次いで青森県が8時間1分などとなっており、東北地方で長くなっている。

一方、睡眠時間は神奈川県が7時間31分と最も短く、次いで奈良県が7時間33分、千葉県及び兵庫県が7時間34分などとなっている。(図7-1, 表7-1)

図7-1 都道府県別睡眠時間一週全体

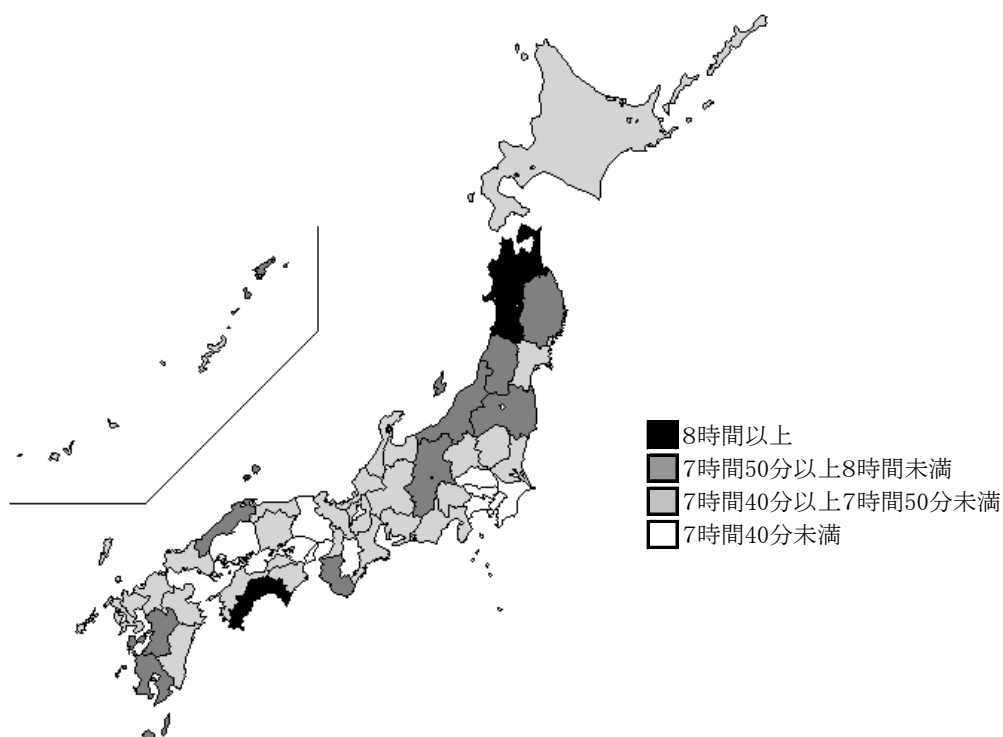


表7-1 14 地域別睡眠時間一週全体

	(時間.分) 睡眠時間
全国	7.42
北海道	7.48
東北	7.55
関東Ⅰ	7.35
関東Ⅱ	7.47
北陸	7.49
東海	7.42
近畿Ⅰ	7.39
近畿Ⅱ	7.41
山陰	7.50
山陽	7.40
四国	7.48
北九州	7.46
南九州	7.50
沖縄	7.42

注) 「東北」…青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
「関東Ⅰ」…埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県
「関東Ⅱ」…茨城県, 栃木県, 群馬県, 山梨県, 長野県
「北陸」…新潟県, 富山県, 石川県, 福井県
「東海」…岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県
「近畿Ⅰ」…京都府, 大阪府, 兵庫県
「近畿Ⅱ」…滋賀県, 奈良県, 和歌山県
「山陰」…鳥取県, 島根県
「山陽」…岡山県, 広島県, 山口県
「四国」…徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
「北九州」…福岡県, 佐賀県, 長崎県, 大分県
「南九州」…熊本県, 宮崎県, 鹿児島県

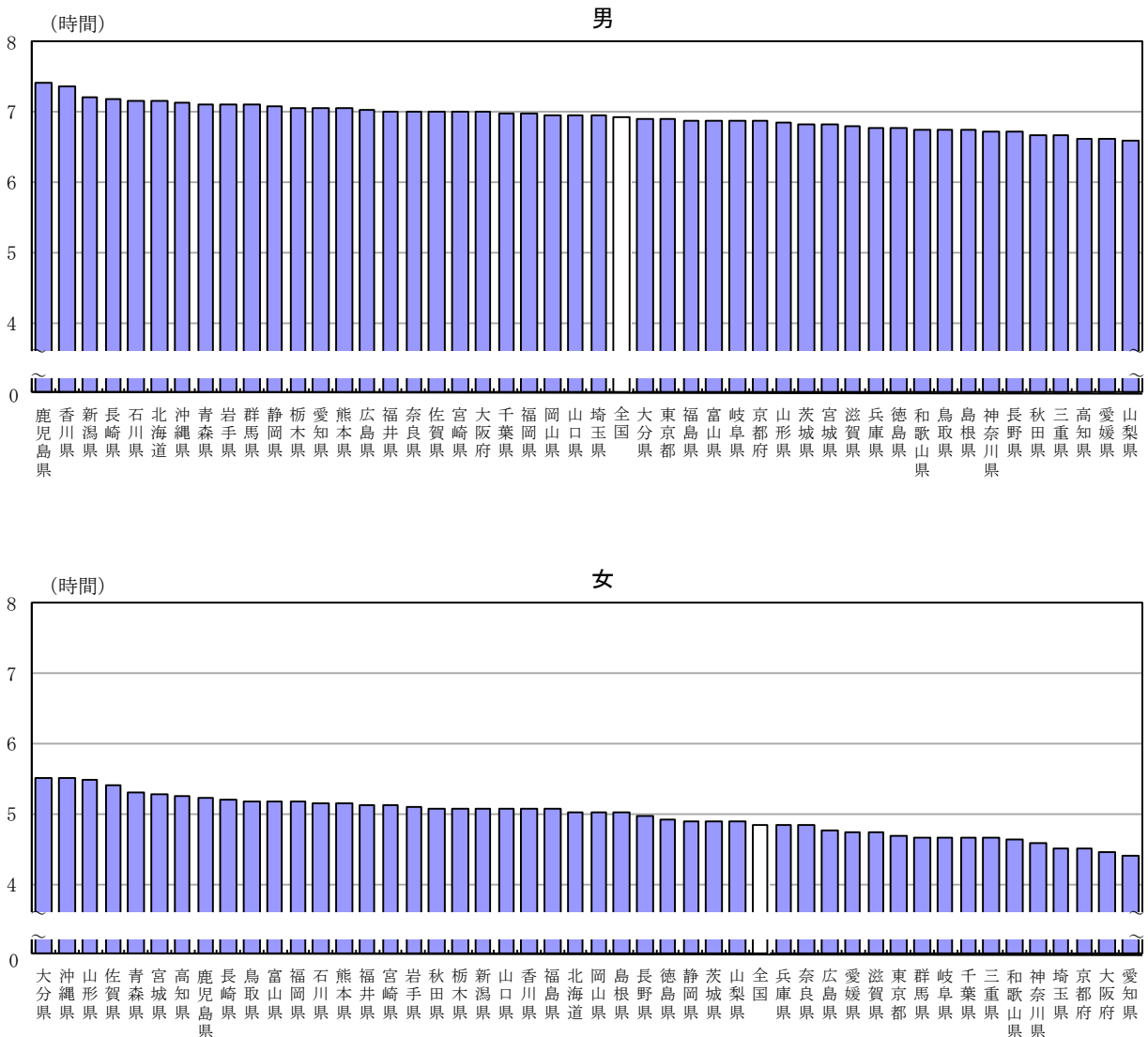
(2) 2次活動

①有業者の仕事時間が長いのは、男性は鹿児島県、女性は大分県

有業者について、仕事時間を都道府県別にみると、男性は鹿児島県が7時間 25 分と最も長く、次いで香川県が7時間 22 分、新潟県が7時間 13 分などとなっている。女性は大分県が5時間 31 分と最も長く、次いで沖縄県が5時間 30 分、山形県が5時間 29 分などとなっている。

一方、仕事時間が短いのは、男性は山梨県が6時間 36 分と最も短く、次いで愛媛県が6時間 37 分、高知県が6時間 38 分などとなっている。女性は愛知県が4時間 25 分と最も短く、次いで大阪府が4時間 27 分、京都府が4時間 31 分などとなっている。(図7-2)

図7-2 男女、都道府県別仕事時間一週全体、有業者



②通勤・通学時間が長い関東大都市圏

平日における雇用されている人について、通勤・通学時間を男女、10 大都市圏・10 大都市圏以外別にみると、男女共に関東大都市圏（男性1時間 32 分、女性1時間4分）が最も長く、次いで近畿大都市圏（男性1時間 18 分、女性54分）などとなっている。

一方、男女共に新潟大都市圏（男性 48 分、女性 38 分）が最も短くなっている。（図7-3、表7-2）

図7-3 男女、10 大都市圏・10 大都市圏以外別通勤・通学時間—平日、雇用されている人

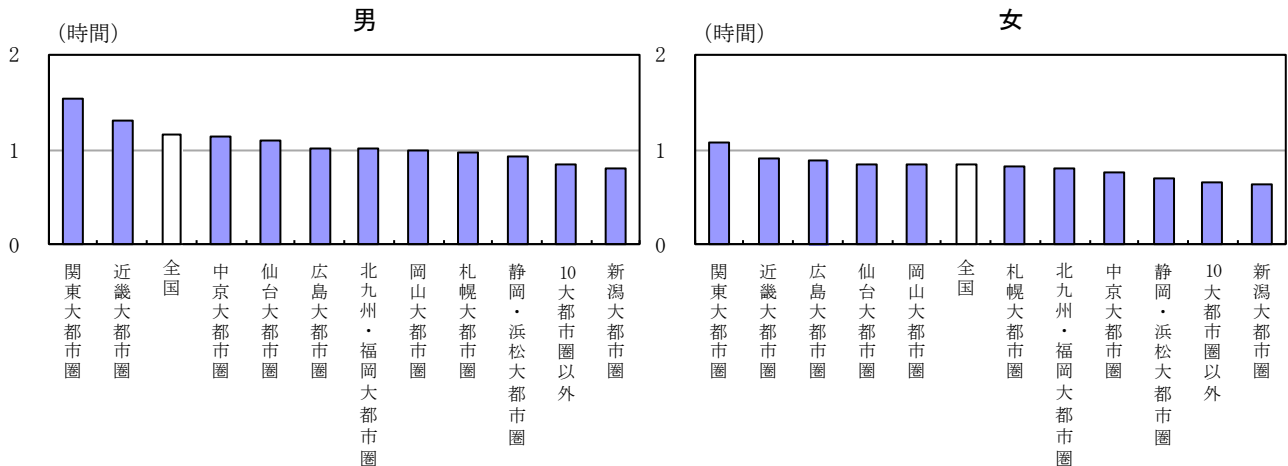


表7-2 男女、10 大都市圏・10 大都市圏以外別通勤・通学時間—平日、雇用されている人

	(時間.分)											
	全国	札幌	仙台	関東	新潟	静岡・浜松	中京	近畿	岡山	広島	北九州・福岡	10大都市圏以外
男	1.10	0.58	1.06	1.32	0.48	0.56	1.08	1.18	0.59	1.01	1.01	0.51
女	0.50	0.49	0.51	1.04	0.38	0.42	0.45	0.54	0.51	0.53	0.48	0.39

③6歳未満の子供がいる夫（夫婦と子供の世帯）の家事関連時間は秋田県が最も長い

6歳未満の子供がいる夫（夫婦と子供の世帯）について、家事関連時間を都道府県別にみると、秋田県が1時間 44 分と最も長く、次いで岩手県及び埼玉県が1時間 37 分、島根県が1時間 36 分などとなっている。（表7-3）

表7-3 都道府県別夫と妻の家事関連時間
一週全体、6歳未満の子供がいる夫・妻（夫婦と子供の世帯）

		夫	妻
順位	都道府県	家事 関連時間 (時間.分)	家事 関連時間 (時間.分)
	全国	1.07	7.41
1	秋田県	1.44	7.37
2	岩手県	1.37	8.10
2	埼玉県	1.37	8.06
4	島根県	1.36	6.43
5	徳島県	1.33	7.28

(3) 3次活動

テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が長い北海道

テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間を都道府県別にみると、北海道が2時間47分と最も長く、次いで青森県及び徳島県が2時間43分、愛媛県が2時間42分、福島県が2時間40分などとなっている。

一方、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間は東京都が2時間10分と最も短く、次いで滋賀県が2時間12分、福井県が2時間18分、埼玉県及び長野県が2時間19分などとなっている。(表7-4)

表7-4 都道府県別テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間一週全体

順位	都道府県	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌時間 (時間.分)	順位	都道府県	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌時間 (時間.分)
	全国	2.27	24	岐阜県	2.28
1	北海道	2.47	24	香川県	2.28
2	青森県	2.43	26	栃木県	2.27
2	徳島県	2.43	26	石川県	2.27
4	愛媛県	2.42	26	広島県	2.27
5	福島県	2.40	26	鹿児島県	2.27
6	大分県	2.39	30	宮城県	2.26
7	三重県	2.38	30	秋田県	2.26
7	長崎県	2.38	30	奈良県	2.26
9	和歌山県	2.36	33	岩手県	2.25
9	高知県	2.36	33	山梨県	2.25
11	大阪府	2.35	33	岡山県	2.25
11	山口県	2.35	36	茨城県	2.24
13	静岡県	2.34	36	千葉県	2.24
14	山形県	2.33	36	京都府	2.24
14	新潟県	2.33	39	群馬県	2.23
14	福岡県	2.33	40	神奈川県	2.22
17	愛知県	2.32	40	島根県	2.22
18	富山県	2.31	40	沖縄県	2.22
18	鳥取県	2.31	43	埼玉県	2.19
18	宮崎県	2.31	43	長野県	2.19
21	兵庫県	2.30	45	福井県	2.18
21	佐賀県	2.30	46	滋賀県	2.12
21	熊本県	2.30	47	東京都	2.10

(4) 地域別にみた主な行動の平均時刻

① 平日の就寝時刻が最も早いのは青森県及び秋田県で、最も遅い東京都との差は1時間6分

平日における主な行動の平均時刻を都道府県別にみると、起床時刻は、青森県が6時19分と最も早く、最も遅い東京都の6時52分との差は33分となっている。

朝食開始時刻は、静岡県が6時58分と最も早く、最も遅い沖縄県の7時21分との差は23分となっている。

夕食開始時刻は、青森県が18時39分と最も早く、最も遅い沖縄県の19時21分との差は42分となっている。

就寝時刻は、青森県及び秋田県が22時35分と最も早く、最も遅い東京都の23時41分との差は1時間6分となっている。(表7-5)

表7-5 都道府県別主な行動の平均時刻及び行動者率—平日

起床				朝食開始			
順位	都道府県	平均時刻 (時:分)	行動者率 (%)	順位	都道府県	平均時刻 (時:分)	行動者率 (%)
	全国	6:37	99.4		全国	7:10	84.0
1	青森県	6:19	99.6	1	静岡県	6:58	86.0
2	岩手県	6:22	98.8	2	青森県	7:00	86.7
2	新潟県	6:22	99.5	2	福島県	7:00	86.9
2	島根県	6:22	99.0	4	岐阜県	7:01	88.5
5	秋田県	6:23	99.2	4	宮崎県	7:01	87.1
43	福岡県	6:44	99.7	43	京都府	7:18	86.2
44	神奈川県	6:45	99.0	43	福岡県	7:18	82.9
45	大阪府	6:49	99.4	45	東京都	7:19	79.7
46	京都府	6:51	99.5	45	大阪府	7:19	81.8
47	東京都	6:52	99.2	47	沖縄県	7:21	79.8

夕食開始				就寝			
順位	都道府県	平均時刻 (時:分)	行動者率 (%)	順位	都道府県	平均時刻 (時:分)	行動者率 (%)
	全国	19:06	90.8		全国	23:15	99.5
1	青森県	18:39	92.0	1	青森県	22:35	99.9
2	北海道	18:46	89.0	1	秋田県	22:35	99.3
2	秋田県	18:46	91.7	3	山形県	22:43	99.2
4	和歌山県	18:48	93.0	4	岩手県	22:45	98.8
5	岐阜県	18:49	93.5	5	福島県	22:47	99.4
5	三重県	18:49	92.1	43	京都府	23:25	99.3
5	愛媛県	18:49	93.0	44	福岡県	23:26	99.8
5	高知県	18:49	93.5	45	大阪府	23:32	99.2
43	埼玉県	19:13	89.9	46	神奈川県	23:36	99.4
44	千葉県	19:16	89.3	47	東京都	23:41	99.3
45	神奈川県	19:18	90.5				
46	東京都	19:20	87.3				
47	沖縄県	19:21	87.8				

②平日の仕事からの帰宅時刻が最も遅いのは東京都で、最も早い徳島県との差は1時間43分

平日における有業者について、平均出勤時刻及び仕事からの平均帰宅時刻を都道府県別にみると、出勤時刻は、青森県が8時4分と最も早く、最も遅い京都府の8時43分との差は39分となっている。

仕事からの帰宅時刻は、徳島県が18時2分と最も早く、最も遅い東京都の19時45分との差は1時間43分となっている。(表7-6)

表7-6 都道府県別主な行動の平均時刻及び行動者率—平日、有業者

出勤				仕事からの帰宅			
順位	都道府県	平均時刻 (時:分)	行動者率 (%)	順位	都道府県	平均時刻 (時:分)	行動者率 (%)
	全国	8:26	84.7		全国	18:56	84.7
1	青森県	8:04	86.5	1	徳島県	18:02	85.6
2	静岡県	8:05	88.1	2	青森県	18:06	86.5
3	佐賀県	8:12	87.5	3	愛媛県	18:13	83.2
4	新潟県	8:13	88.1	4	島根県	18:14	85.0
4	和歌山県	8:13	86.5	5	和歌山県	18:17	86.5
4	徳島県	8:13	85.6	43	宮城県	19:06	86.7
4	香川県	8:13	87.7	44	埼玉県	19:18	83.6
4	大分県	8:13	87.5	45	千葉県	19:27	82.5
43	東京都	8:37	83.6	46	神奈川県	19:29	80.1
44	高知県	8:41	84.9	47	東京都	19:45	83.6
44	福岡県	8:41	86.3				
44	宮崎県	8:41	86.6				
47	京都府	8:43	85.2				